

Endeavor

Pro7000

ユーザーズマニュアル

ご使用
の前に

設置
・
準備

1

基本
操作

2

装置の
増設

3

BIOS
設定

4

再
インス
トール

5

困った
ときに

6

付録

Windows Vista


ご使用前に


- ご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

安全にお使いいただくために


このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
















障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
--	-------------------------------------

障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。

⚠ 警告

 	<p>交流100V以外の電源は、使用しないでください。 交流100V以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>
 	<p>雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。 ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。 ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。 <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
 	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。</p>
 	<p>破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを加工しない。 ・無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。 ・電源コードの上に重いものを載せない。 ・発熱器具の近くに配線しない。 <p>電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。</p>
 	<p>本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>
 	<p>通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>





警告

 	水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。
 	光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。飛び散って、けがをする危険があります。
 	本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。 けが・感電・火災の原因となります。
	装置の増設・交換などをするときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。 電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
 	小さなお子様の手の届く所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。 飲み込むと化学物質による被害の原因となります。 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
	電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。 接地しないで使用すると、感電の危険性があります。 アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
	アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。 火災の原因となります。
	アース端子は、コンセントに挿入または接触させないでください。 感電の危険があります。

⚠ 注意

 	<p>小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
 	<p>不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。</p>
 	<p>湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。</p>
 	<p>本機の通風孔をふさがしないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押し入れや本箱など風通しの悪い所に設置しない。 ・じゅうたんや布団の上などに設置しない。 ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
 	<p>各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。</p>
 	<p>装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。 本機の電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。</p>
 	<p>マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。 強い光により、視覚障害の原因となります。</p>
 	<p>ヘッドフォンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。 ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。</p>
 	<p>光ディスクドライブのディスクトレイに手を挟まれないようにしてください。 けがの原因となります。</p>
 	<p>長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。 肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。</p>
 	<p>本機は重いので、開梱や移動する場合は1人で行わないでください。 必ず2人以上で行ってください。</p>

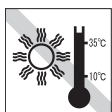
注意

	本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
	連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 	本機を廃棄する場合は、法律に従って正しい処理をしてください。

製品保護上の注意

▶使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は10℃～35℃です。



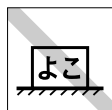
テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎざぎざの所など）に本機を置かないでください。電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリー上から消えてしまいます。



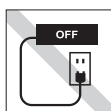
コンピューター本体を横置きにしないでください。故障、誤動作の原因となります。本機は縦置き専用に設計されています。



本機の上には重い物を載せないでください。重圧により、故障や誤動作の原因となります。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。電源を切っても、本機内部に微小な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



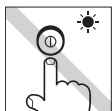
移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。内蔵の周辺機器（HDD、光ディスクドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



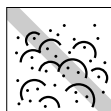
輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。配線ケーブルはすべて取り外し、光ディスクメディアなどは取り出してください。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



アクセスランプ点灯・点滅中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。

▶記録メディア

記録メディアは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、記録メディアに収録されているデータが破損するおそれがあります。

<記録メディアの種類>

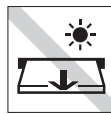
FD FD

CD 光ディスクメディア

記録メディアの種類を指定していない注意事項は、すべての記録メディアに適用されます。



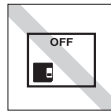
直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



上に物を載せないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



キズを付けないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属端子に触れたりしないでください。



磁性面あるいは金属端子にホコリや水を付けないでください。シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。



何度も読み書きしたFDは使わないでください。摩耗したFDを使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。



レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。



レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

CD



シールを貼らないでください。

CD



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

CD



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

CD

▶マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱いってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多い所で使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因となります。



持ち運びの際は、マウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。



落としたり、ぶついたりして強い衝撃を与えないでください。



レンズ部分に触れないでください。

目次

製品保護上の注意	7
使用・保管時の注意	7
記録メディア	8
マウス	9

はじめに

マニュアル中の表記	14
本製品の仕様とカスタマイズ	18

使い始めるまでの準備

ご使用の前に	20
本機を使い始めるまでの手順	20
ご使用前の確認事項	21
添付されているソフトウェア	22
本機でできること	24
各部の名称と働き	25
本体前面	25
本体背面	26
コンピューターの設置	28
電源の入れ方とWindowsのセットアップ	36
Windowsが使用できるようになるまでの作業	36
電源を入れる前に	37
電源の入れ方とWindowsの起動	38
Windowsのセットアップ	39
初期設定ツール	41
セットアップ完了後の作業	43
Windows使用時の確認事項	44
Windowsの使用方法	44
音量の調節	45
インフォメーションメニューを使う	45
Windowsの修復	47
復元ポイントを作成する	47
セキュリティー対策を行う	47
画面表示が消えたときは（省電力機能）	48
コントロールパネルの表示	48
フォルダーメニューの表示	49
ユーザーアカウントを作る	49
ユーザーアカウント制御画面	50
本機の終了方法	51
通常の終了（スリープ）	52
電源を切る（シャットダウン）	53
再起動	54
ハングアップしたときは	55

コンピューターの基本操作

キーボードを使う	58
キーの種類と役割	58
文字を入力するには	59
日本語を入力するには	59
キーロック表示ランプ	60
ホットキーを使用する	61
USBハブ機能	63
マウスを使う	64
マウスの操作	64
マウスの設定変更	64
HDDを使う	65
データのバックアップ	65
購入時のHDD領域	66
HDDを分割して使用する	67
HDDを増設・交換したら	67
HDDの暗号化	68
RAID機能	69
RAIDの構成・削除・修復	69
光ディスクドライブを使う	77
使用可能な光ディスクメディア	77
光ディスクメディアのセットと取り出し	78
CDメディアの読み込み・再生	79
DVDメディアの読み込み・再生	80
光ディスクメディアへの書き込み	81
Nero 8 Essentialsの使い方	82
USB機器を使う	83
USB機器の接続と取り外し	83
画面表示機能を使う	85
表示に関する各種設定	85
表示装置に関する設定	86
サウンド機能を使う	87
外部オーディオ機器などの接続	87
音量の調節	89
音声の再生・録音	89
サウンドユーティリティを使う	90
サウンドボードを使う	91
ネットワーク機能を使う	92
ネットワークの構築	92
インターネットへの接続	92
WakeUp On LAN	93
リモートブート	94
ネットワークボードを使う	94
インターネットに接続するには	95
接続するまでの流れ	95

接続方法の選択とプロバイダーとの契約 ...	95
インターネットに接続する	96
インターネットを使う上での注意	97
インターネットや電子メールを利用する ...	97
インターネットを使用する際のセキュリティ対策 ...	100
Windows Update	100
セキュリティソフトウェア	102
ファイアウォール	103
Windows Defender	104
フィッシング詐欺検出機能	104
Webフィルタリングソフトウェア (32ビット版のみ)	105
電源設定を行う (省電力機能を使う)	108
電源プランの設定	108
本機を省電力状態にする	109
省電力状態に移行する方法	112
そのほかの機能	115
シリアルコネクター (オプション)	115
HDDベイ用キーロック	115

システムの拡張

拡張できる装置	118
作業時の注意	119
拡張時の準備作業	120
本体カバーの取り外し・取り付け	120
メモリーの装着	123
メモリーの仕様	123
メモリー装着の組み合わせ	124
メモリーの取り付け・取り外し	125
メモリーの増設・交換後の作業	127
拡張ボードの装着	128
拡張スロットの仕様	128
拡張ボードの取り付け・取り外し	129
拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業 ...	132
ドライブ装置とコネクターの接続	133
マザーボード上のシリアルATAコネクター の仕様	133
ドライブ装置の接続例	134
5.25型ドライブの装着	137
5.25型ドライブの取り付け・取り外し ...	137
5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業 ...	140
HDDの装着	141
HDDの取り付け・取り外し	141
HDDの取り付け後の作業	146

BIOSの設定

BIOSの設定を始める前に	148
BIOS Setupユーティリティの操作	149
BIOS Setupユーティリティの起動 ...	149
BIOS Setupユーティリティの操作 ...	150
BIOS Setupユーティリティの終了 ...	153
設定値を元に戻す	153
パスワードを設定する	154
BIOS Setupユーティリティの設定項目	158
System Informationメニュー画面	159
Advanced BIOS Featuresメニュー画面 ...	160
Advanced Chipset Featuresメニュー画面 ...	161
Boot Configuration Featuresメニュー画面 ...	162
Power Management Setupメニュー画面 ...	163
EPSON Central Control Unitメニュー画面 ...	164
BIOS Security Featuresメニュー画面 ...	165
Load Optimal Defaults/Save & Exit Setup/Exit Without Saving	166
BIOSの設定値	167

ソフトウェアの再インストール

再インストールする前に必ずお読みください ...	170
再インストールが必要な場合	170
重要事項	170
ソフトウェアの再インストールを行う	172
必要なメディア	172
インストールの順番	172
インストール作業における確認事項	174
Windowsのインストール	175
Windowsをインストールする	176
本体ドライバーのインストール	180
ビデオドライバーのインストール	181
拡張ボードのドライバーのインストール ...	181
Adobe Readerのインストール	181
セキュリティソフトウェアのインストール ...	182
Webフィルタリングソフトウェアの インストール (32ビット版のみ)	182
Nero 8 Essentialsのインストール ...	184
WinDVDのインストール	185
109 USBキーボードユーティリティの インストール	185
JWord Pluginのインストール	185
gooスティックのインストール (32ビット版のみ)	186

マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版の インストール (32ビット版のみ)	186
そのほかのインストール	187
再インストール後の作業	188

こんなときは

トラブルが発生したら	190
困ったときに	191
コンピューター本体の不具合 (起動時) ...	192
コンピューター本体の不具合	200
メモリーの不具合	202
記憶装置の不具合	203
入力装置の不具合	207
表示装置の不具合	209
サウンドの不具合	211
ソフトウェアの不具合	211
システム診断ツールを使う	216
システム診断を実行する	216
トラブル時に役立つ機能	217
セーフモードでの起動	217
システムの復元	217
Windows回復環境 (Windows RE) を使う ...	219

警告メッセージが表示されたら	222
----------------------	-----

付録

お手入れ	224
本機のお手入れ	224
データのバックアップ	225
バックアップ方法	225
電子マニュアルのダウンロード	227
ダウンロードできるその他のデータ ...	227
HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成	228
HDD領域を分割して使用する (概要) ...	228
Cドライブを分割・変更する	229
Cドライブ以外のドライブを作成・変更する ...	232
Cドライブ以外のドライブを削除する ...	236
リチウム電池の交換	237
CMOS RAMの初期化	240
コンピューター内部のケーブル接続	242
コンピューターを廃棄するときは	243
HDDのデータを消去する	243
機能仕様一覧	245
索引	246

はじめに

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項について説明します。

「マニュアル中の表記」	14
「本製品の仕様とカスタマイズ」	18

マニュアル中の表記

本書では次のような記号を使用しています。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載しています。



参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。
例) 『梱包品の確認』: 本機に添付の『梱包品の確認』を示します。




参照先を示します。




1 2



操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。



 で困んだマークはキーボード上のキーを表します。



 はEnterキーを表します。また、 は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。

＋の前のキーを押したまま＋の後のキーを押します。
この例では、 を押したまま  を押します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CDメディア、DVDメディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称

オペレーティングシステム（OS）に関する記述

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows Vista 32ビット版	Windows Vista [®] Ultimate 32ビット版
	Windows Vista [®] Business 32ビット版
	Windows Vista [®] Home Premium 32ビット版
	Windows Vista [®] Home Basic 32ビット版
Windows Vista 64ビット版	Windows Vista [®] Ultimate 64ビット版
	Windows Vista [®] Business 64ビット版

HDD 容量の記述

本書では、HDD 容量を1GB（ギガバイト）=1000MBとして記載しています。

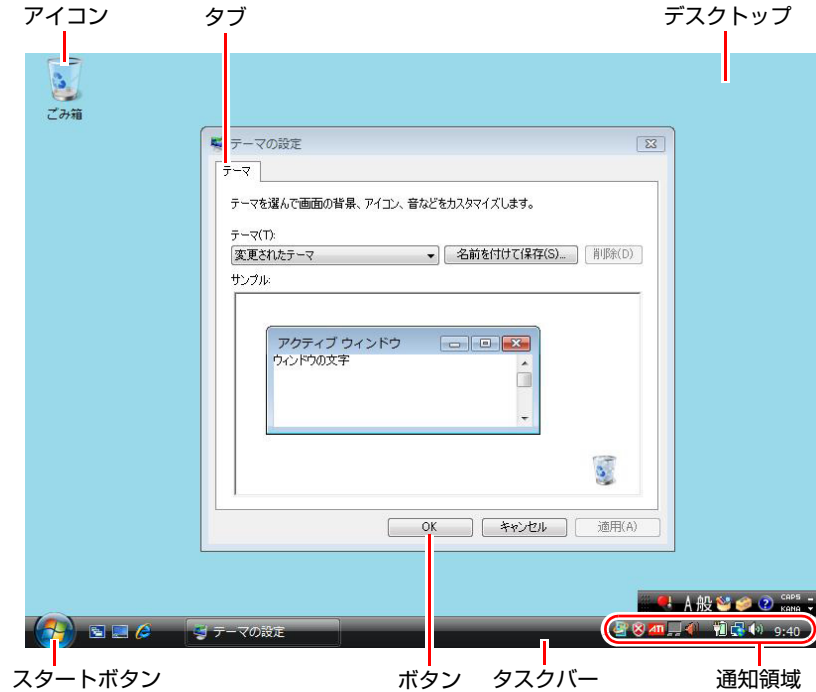
メモリー容量の記述

本書では、メモリー容量を1GB（ギガバイト）=1024MBとして記載しています。

Windowsの画面表示に関する記載方法

デスクトップ画面

本書では、Windowsの画面に表示される各箇所の名称を次のように記載します。



ボタン

ボタンは [] で囲んで記載します。

例)  : [OK]

スタートメニュー

スタートメニューのボタン類は、次のように記載します。



画面操作

本書では、Windowsの画面上で行う操作手順を次のように記載します。

● 記載例

[スタート] – [すべてのプログラム] – [Internet Explorer] をクリックします。

● 実際の操作

(1) [スタート] をクリックします。

(2) 表示されたメニューから [すべてのプログラム] をクリックします。

(3) 表示されたメニューから [Internet Explorer] をクリックします。



※表示される項目は、システム構成によって異なります。

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPUの種類・メモリー容量・ビデオボード・光ディスクドライブなど、選択した仕様に合わせて、お客様オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

本書で記載しているコンピューターの製品仕様

本書では特に記載がない限り、下記の製品仕様で説明を行っています。お客様が購入された製品の仕様が下記と異なる場合、それらの使用方法やドライバーのインストール方法などは、購入時に選択された各装置に添付のマニュアルを参照してください。

メモリー	: 1組 (3枚)
HDD	: 1台 (シリアルATA)
光ディスクドライブ	: 1台 (シリアルATA)
ディスプレイ機能	: 拡張スロットにビデオボード装着
ネットワーク機能	: マザーボードの機能を使用
サウンド機能	: マザーボードの機能を使用
キーボード	: 109 USBキーボード
マウス	: ホイール付USBオプティカルマウス

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、『ユーザーズマニュアル』（本書）とは別に添付されている場合があります。

お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で添付されています。ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- CD-ROMなどに収録されている電子マニュアル（PDFファイルなど）
- コンピューターに収録されている電子マニュアル（「マニュアルびゅーわ」から閲覧）

第1章 使い始めるまでの準備

本機の接続方法、電源の入れ方や切り方、Windowsのセットアップについて説明します。


「ご使用前に」	20
「添付されているソフトウェア」	22
「本機でできること」	24
「各部の名称と働き」	25
「コンピューターの設置」	28
「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」	36
「Windows使用時の確認事項」	44
「本機の終了方法」	51

ご使用前に

▶本機を使い始めるまでの手順


購入後にはじめて本機を使用する場合は、次の手順で作業を行ってください。


梱包品に不足や不良がないかを確認する


 『梱包品の確認』(別冊)





本機を使用する前に必要な情報を確認する


 p.2 「安全にお使いいただくために」


 p.7 「製品保護上の注意」


 p.14 「マニュアル中の表記」

 p.18 「本製品の仕様とカスタマイズ」

 p.20 「ご使用前に」


 p.22 「添付されているソフトウェア」

 p.24 「本機でできること」

 p.25 「各部の名称と働き」




コンピューターを設置し、各機器の接続を行う

 p.28 「コンピューターの設置」



電源を入れ、Windowsをセットアップする

 p.36 「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」



使用開始！

▶ご使用前の確認事項

貼付ラベルの確認

本機には、製品情報が記載された次のラベルが貼られています。本機をご使用前の前に、ラベルが貼られていることを確認してください。ラベルは絶対にはがさないでください。

- お問い合わせ情報シール

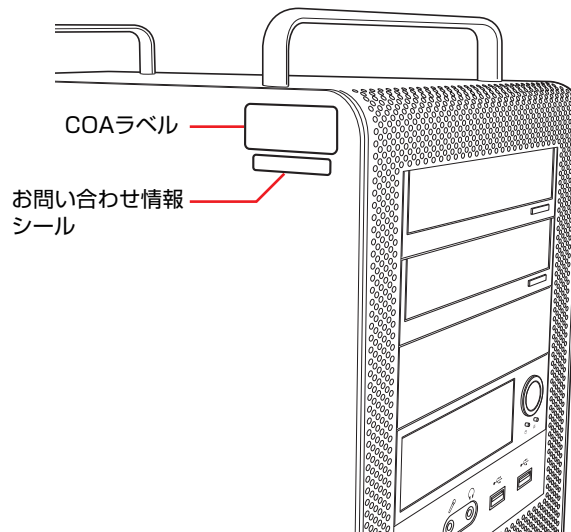
お問い合わせ情報シールには、型番や製造番号が記載されています。当社にサポート・サービスに関するお問い合わせをいただく際には、これらの番号が必要です。

お問い合わせ情報シールに記載されている製造番号は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）の表紙に書き写しておいてください。

- COAラベル

COAラベル（Certificate of Authenticityラベル）は、正規のWindows商品を購入されたことを証明するラベルです。

万一、COAラベルを紛失された場合、再発行はできません。



サポート・サービスのご案内

『サポート・サービスのご案内』には、当社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。

困ったときや、万一の場合に備えてお読みいただくことをおすすめします。

添付されているソフトウェア

購入時、本機にインストールされているソフトウェアと、購入後、必要に応じてインストールするソフトウェアは次のとおりです。


本機にインストールされているソフトウェア


購入時、次のソフトウェアは、本機にインストールされています。

本機にインストールされているソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● Windows 本機のおペレーティングシステム (OS) です。 	 WindowsリカバリDVD
<ul style="list-style-type: none"> ● チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。 ● Intel Matrix Storage Manager Windows 上でHDDの状態を確認するためのユーティリティです。 ● サウンドドライバー マザーボード上のサウンド機能を使用するためのドライバーです。 ● ネットワークドライバー ネットワーク機能 (有線LAN) を使用するためのドライバーです。 ● Java2 Runtime Environment (32ビット版のみ) Javaアプリケーションを実行するためのソフトウェアです。 ● インフォメーションメニュー 本機に添付のマニュアルやサポートページを閲覧するためのユーティリティです。 ● Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。 	 ドライバー CD
<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオドライバー Windowsを高解像度・多色で表示するためのドライバーです。CDの名称は、お使いになるビデオボードによって異なります。 	 ビデオドライバー CD
<ul style="list-style-type: none"> ● Nero 8 Essentials(書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時のみ) 光ディスクメディアに書き込みを行うためのソフトウェアです。 	 Nero 8 Essentials CD-ROM
<ul style="list-style-type: none"> ● WinDVD DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。DVD-ROMドライブを搭載している場合、購入時の選択によっては添付されていません。 	 WinDVD CD-ROM
<ul style="list-style-type: none"> ● 109 USBキーボードユーティリティ(109 USBキーボード選択時のみ) 109 USBキーボードのホットキーを使用するためのユーティリティです。 	 109 USBキーボードユーティリティ CD
<ul style="list-style-type: none"> ● マニュアルびゅーわ 本機に添付されている電子マニュアルを閲覧するためのツールです。マニュアルびゅーわのデータは、Cドライブの「お知らせ」フォルダーにあり、Windowsを再インストールすると削除されます。Windowsを再インストールする際は、必ずバックアップを取ってください。  p.43 「マニュアルびゅーわのバックアップ」 	—

必要に応じてインストールするソフトウェア


購入時、次のソフトウェアは、本機にインストールされていません。Windowsのセットアップ後に必要に応じてインストールしてください。


 p.41 「初期設定ツール」

本機にインストールされていないソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● Norton Internet Security 90日版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能、フィッシング詐欺検出機能などを備えたセキュリティーソフトウェアです。 	 ドライバー CD
<ul style="list-style-type: none"> ● i-フィルター 5 30日版 (32ビット版のみ) インターネット上の有害なWebページへのアクセスを防止するWebフィルタリングソフトウェアです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版 (32ビット版のみ) Webサイトの安全性評価を表示し、危険なサイトへのアクセスを防ぐWebセーフティツールです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● JWord Plugin Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索するためのソフトウェアです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● gooスティック (32ビット版のみ) Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するためのソフトウェアです。 	

その他のソフトウェア

次のソフトウェアは、CDから起動して実行します。インストールは必要ありません。

 p.216 「システム診断ツールを使う」

その他のソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> ● システム診断ツール 本機の調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD内のデータを消去することもできます。 	 ドライバー CD

本機でできること

本機は内蔵装置の増設・交換が可能なタワー型のハイエンドコンピューターです。
本機では、次のようなことができます。



インターネットやメールを利用する

 p.95

光ディスクを再生する
光ディスクにデータを保存する
(オプション)

 p.77

ネットワークに接続する

 p.92

USB機器を使う

 p.83

音声の入力・出力をする

 p.87

RAID機能を使う

 p.69

装置（メモリー・拡張ボード・ドライブ
装置）を増設・交換する

 p.117

省電力機能を使う

 p.108

セキュリティー対策を行う

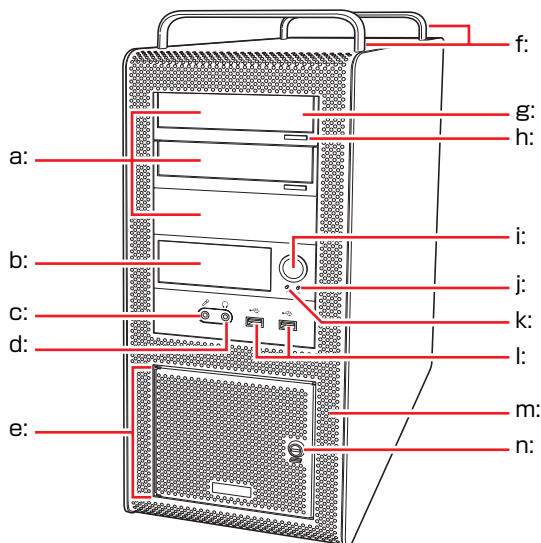
 p.100






シリアル接続の機器を使う

 p.115

各部の名称と働き

▶ 本体前面

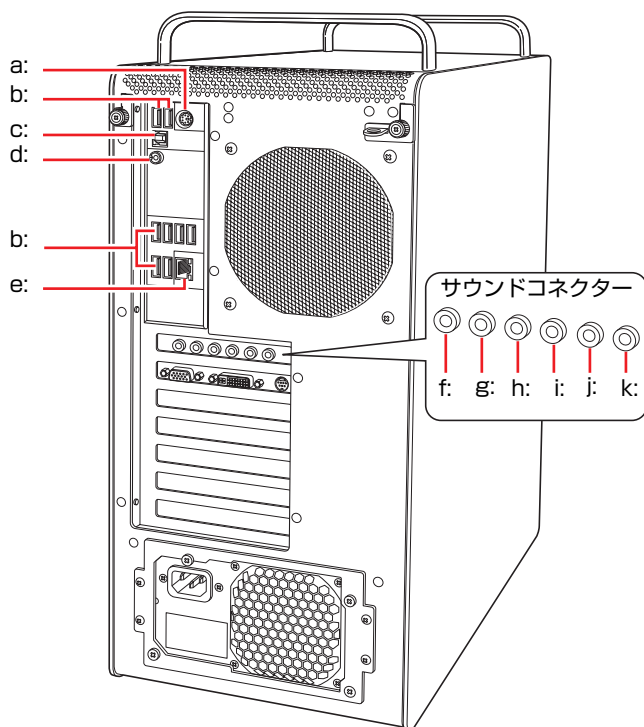







- a: 5.25型ドライブベイ
5.25型ドライブ用のベイです。
- b: 3.5型ドライブベイ
3.5型ドライブ用のベイです。
- c: マイク入力コネクタ 
マイクを接続して音声を入力します。
- d: ヘッドフォン出力コネクタ 
ヘッドフォンやスピーカーと接続して音声を出力します。
- e: HDDベイ
HDD用のベイです。
- f: ハンドル
本機を移動させるときに使用します。
- g: 光ディスクドライブ
光ディスクメディアの読み込みや書き込みを行います (光ディスクドライブにより使用できるメディアや機能は異なります)。
- h: 光ディスクドライブイジェクトボタン
ディスクトレイの開閉を行います。
- i: 電源スイッチ
本機の電源の入切を行います。
また、スリープ状態や休止状態からの復帰にも使用します。
- j: 電源ランプ 
電源を入れると緑色に点灯します (購入時の設定)。
- k: HDDアクセスランプ 
HDDへのアクセス中に点灯・点滅します。
- l: USBコネクタ 
USB対応機器を接続します。
- m: 通風孔
外気を取り入れます。
- n: HDDベイ用キーロック
HDDの盗難抑止に、鍵をかけることができます。

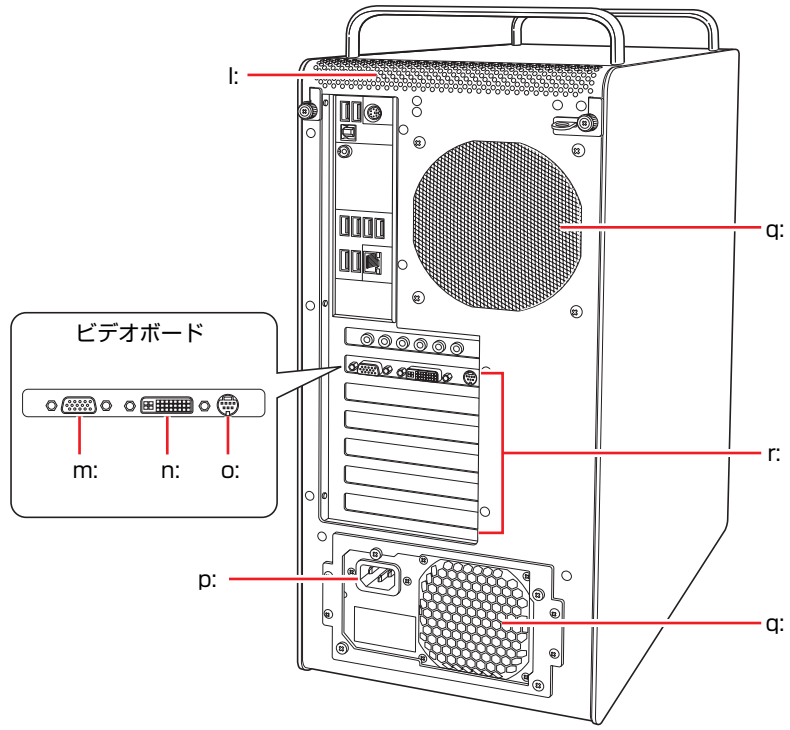


アクセスランプが点灯・点滅しているときに本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。データが破損するおそれがあります。

▶ 本体背面



- a: キーボードコネクター 
キーボードを接続します。
- b: USBコネクター 
USB対応機器を接続します。
- c: 光デジタルオーディオ出力 (S/P DIF) コネクター 
光デジタルオーディオ入力端子を持つ機器を接続します。
- d: 同軸デジタルオーディオ出力 (S/P DIF) コネクター 
同軸デジタルオーディオ入力端子を持つ機器を接続します。
- e: LANコネクター 
LANケーブルを接続します。
- f: サイドスピーカー出力コネクター(灰色)
サイドスピーカーと接続して音声を出力します。
- g: リアスピーカー出力コネクター(黒色)
リアスピーカーと接続して音声を出力します。
- h: センタースピーカー/サブウーファー出力コネクター(オレンジ色)
センタースピーカー、サブウーファーと接続して音声を出力します。
- i: マイク入力コネクター(ピンク色)
マイクと接続して音声を入力します。
- j: フロントスピーカー/ライン出力コネクター(黄緑色)
フロントスピーカーやヘッドフォンなどと接続して音声を出力します。
通常、スピーカーはこのコネクターに接続します。
- k: ライン入力コネクター(水色)
オーディオ機器と接続して音声を入力します。



l: 通風孔

外気を取り入れます。

ビデオボード

ビデオボードの仕様は、購入時の選択により異なります。コネクタの位置はビデオボードのマニュアルで確認してください。ここではビデオボードの一例を記載します。

m: VGAコネクタ

ディスプレイとVGAケーブルで接続します。

n: DVI-Iコネクタ

ディスプレイとDVI-DまたはDVI-Iケーブルで接続します。

o: S-ビデオ出力端子

ビデオのS入力端子と接続します。

p: 電源コネクタ

添付の電源コードを接続して電気を供給します。

q: 冷却ファン

内部で発生する熱を逃したり、冷ましたりします。

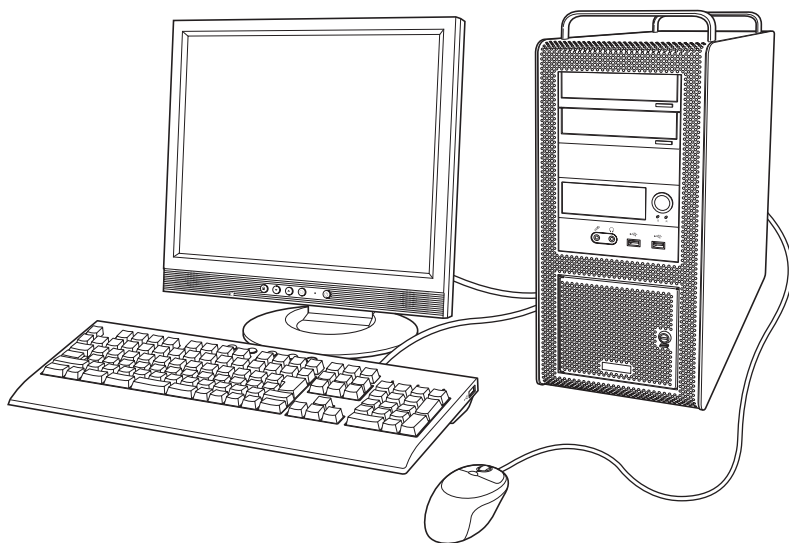
r: 拡張スロット

拡張ボードを装着します。購入時のシステム構成によっては、あらかじめ拡張ボードが装着されています。

コンピューターの設置

本機を安全な場所に設置し、キーボードやマウス、電源コードなどを接続して使用できる状態にする手順を説明します。


ここでの説明は、標準的なシステム構成で行っています。プリンターなどの周辺機器を接続する場合は、Windowsのセットアップ完了後に、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続してください。



設置における注意



- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。設置する際は、次の点を守ってください。
 - ・ 押し入れや本箱などの風通しの悪い所に設置しない。
 - ・ じゅうたんや布団の上に設置しない。
 - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

故障や誤動作を防ぐため、 p.7「製品保護上の注意」にある注意事項を守って設置場所を決めてください。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



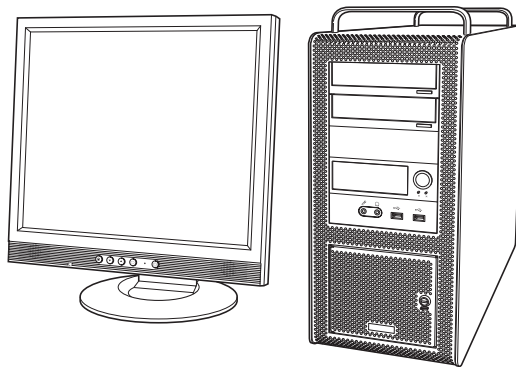
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。
- ヘッドフォンやスピーカーを使用するときは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

設置する

- 1 本機とディスプレイを設置場所（机などの丈夫で水平な台の上）に置きます。本機は横置きで使用できません。必ず縦置きでお使いください。設置した際に通風孔をふさがないようにしてください。



ディスプレイを接続する

ディスプレイ側の接続方法や注意事項などの詳細は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

2 ディ스플레이のケーブルを本機背面のビデオボードのコネクタに接続します。

ビデオボードのコネクタは、選択されたビデオボードにより異なります。ビデオボード側の接続方法や注意事項などの詳細は、ビデオボードに添付のマニュアルをご覧ください。

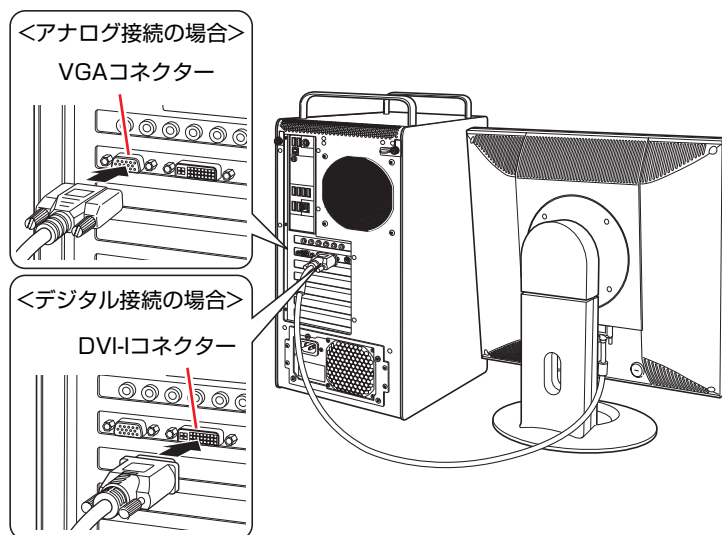
<アナログ接続の場合>

VGAケーブルをVGAコネクタに接続します。

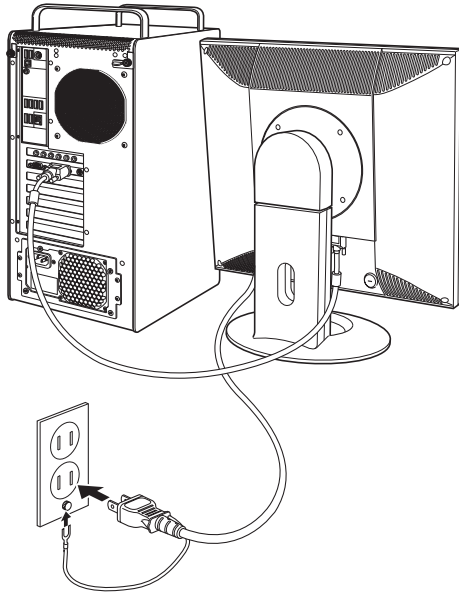
<デジタル接続の場合>

DVI-DまたはDVI-IケーブルをDVI-Iコネクタに接続します。

ディスプレイがデジタル/アナログ両用の場合は、デジタル接続で使します。



3 ディスプレイの電源コードを、家庭用電源コンセントに接続します。



キーボードを接続する


ここでは一般的な接続方法を説明しています。お使いになるキーボードにマニュアルが添付されている場合は、そちらをご覧ください。

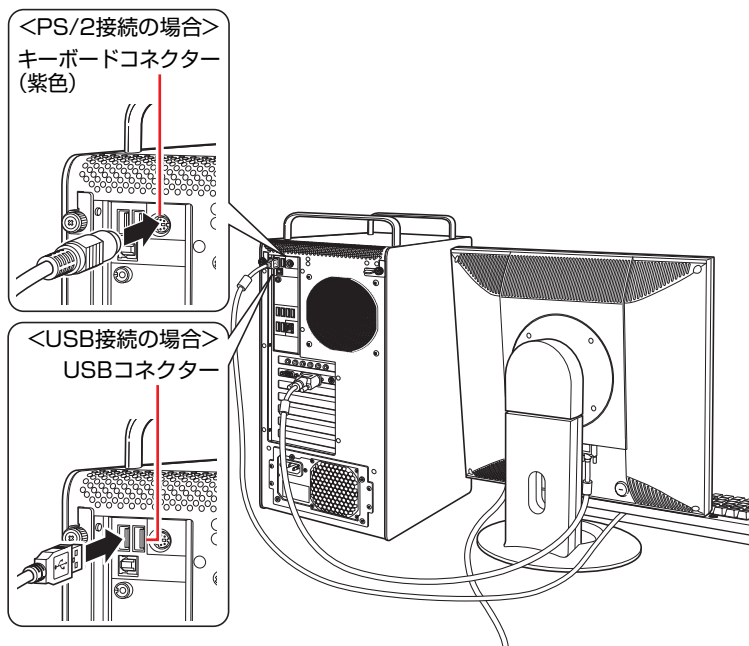
4 キーボードを接続します。

<PS/2接続の場合>

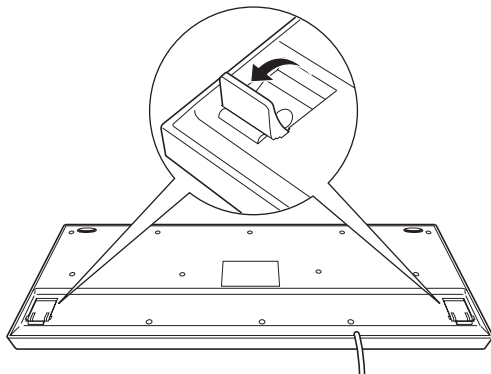
キーボードケーブルのコネクターを本機背面のキーボードコネクター（紫色）に接続します。

<USB接続の場合>

キーボードケーブルのコネクターを本機背面のUSBコネクター（)に接続します。背面にある8個のUSBコネクターは同じ機能ですので、どのコネクターを使用しても構いません。



キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときはキーボード底面の両端の脚を起こします。



マウスを接続する

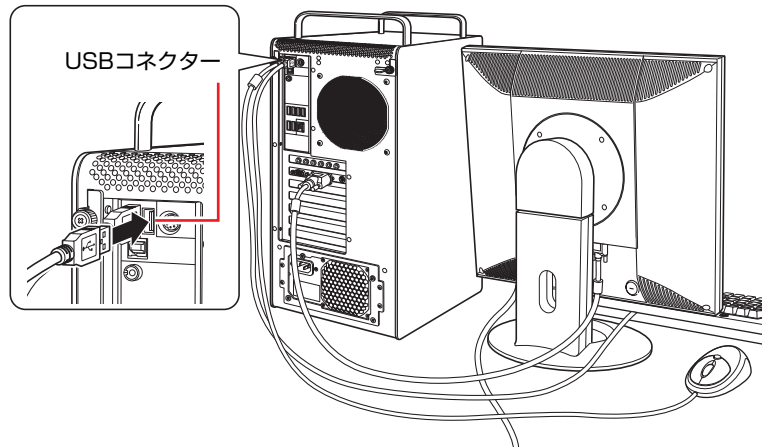
ここでは一般的な接続方法を説明しています。お使いになるマウスにマニュアルが添付されている場合は、そちらをご覧ください。

5 マウスを接続します。


マウスケーブルのコンネクターを本機背面のUSBコンネクター(●)に接続します。背面にある8個のUSBコンネクターは同じ機能ですので、どのコンネクターを使用しても構いません。



本機に PS/2 マウスは接続できません。



マウスを左利き用で使う場合は、Windowsのセットアップ後にマウスを左利き用に設定します。

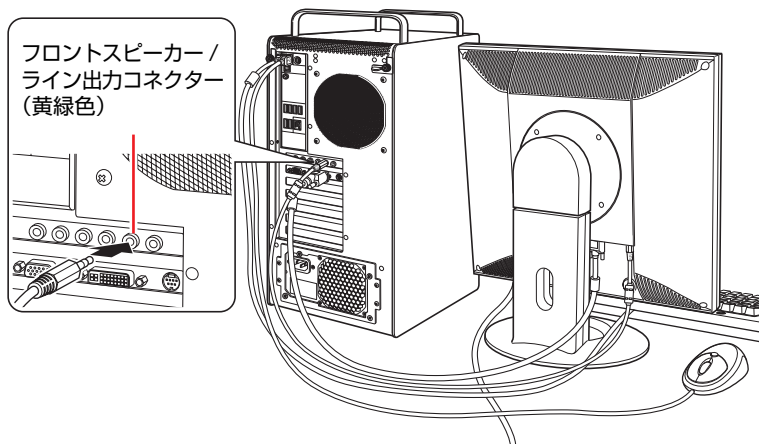
 p.64 「マウスの設定変更」

スピーカーを接続する

本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、スピーカーやスピーカーが搭載されているディスプレイなどを接続してください。ここでは一般的な接続方法を説明します。詳しくはディスプレイやスピーカーに添付のマニュアルをご覧ください。

6 ディスプレイやスピーカーのオーディオケーブルを本機背面のサウンドコネクタに接続します。

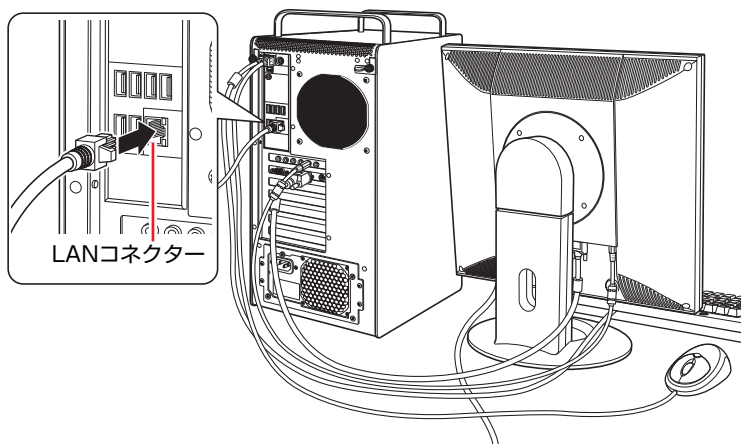
スピーカーにより、接続するケーブルの数は異なります。オーディオケーブルが1本の場合は、フロントスピーカー/ライン出力コネクタ（黄緑色）に接続します。



ネットワークへ接続する

7 ネットワーク機能を使用する場合は、市販のLANケーブルを本機背面のLANコネクタ（）に接続します。

インターネットへの接続作業は、Windowsのセットアップ後に行います。接続方法は、通信サービス会社やプロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。



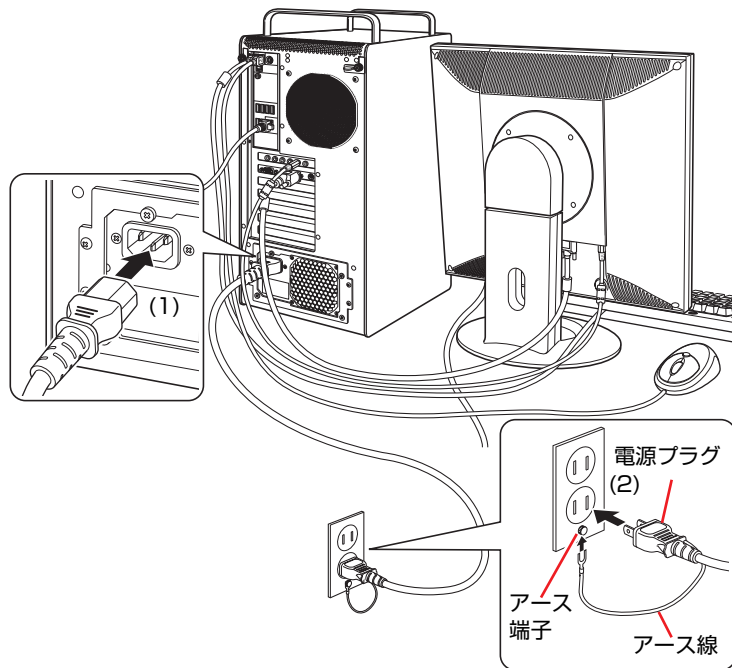
電源コードを接続する

8 電源コードを接続します。

(1) 電源コードを本機背面の電源コネクタに接続します。

(2) 電源プラグを家庭用電源コンセントに接続します。

アース線は、必ずコンセントのアース端子に接続してください。



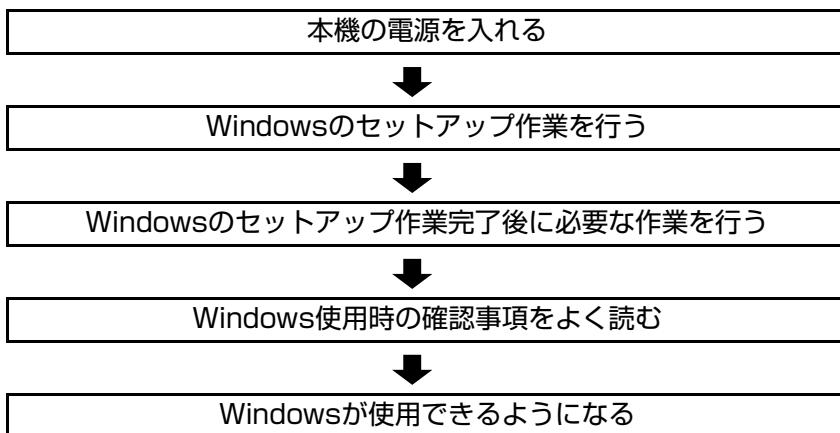
これでコンピューターの設置は完了です。

電源の入れ方とWindowsのセットアップ

ここでは、本機にはじめて電源を入れて、Windowsを使用できる状態にするまでの作業について説明します。

▶Windowsが使用できるようになるまでの作業

作業の流れは、次のとおりです。



▶電源を入れる前に

Windowsのセットアップとは

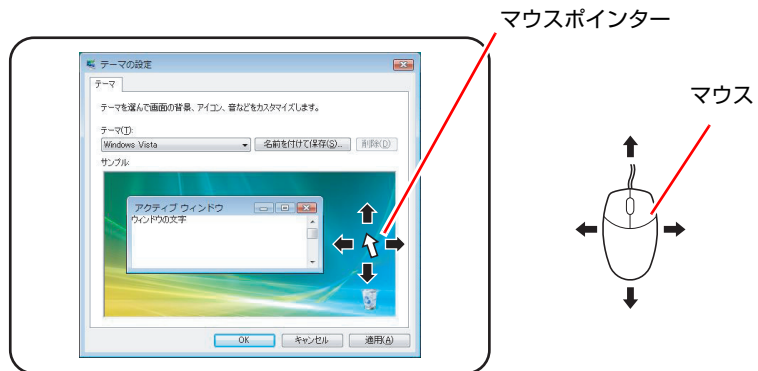
「Windowsのセットアップ」は、コンピューターが届いてから、はじめて電源を入れたときにユーザー情報などを設定するプログラムです。画面に表示されるメッセージに従って、セットアップを簡単に行うことができます。

マウスの使い方

Windowsのセットアップは、マウスを使用して行います。セットアップで必要なマウスの基本操作は、次のとおりです。

●マウスポインターを動かす

マウスを前後左右に動かすと、Windows画面に表示されているマウスポインターもマウスを動かした方向に動きます。

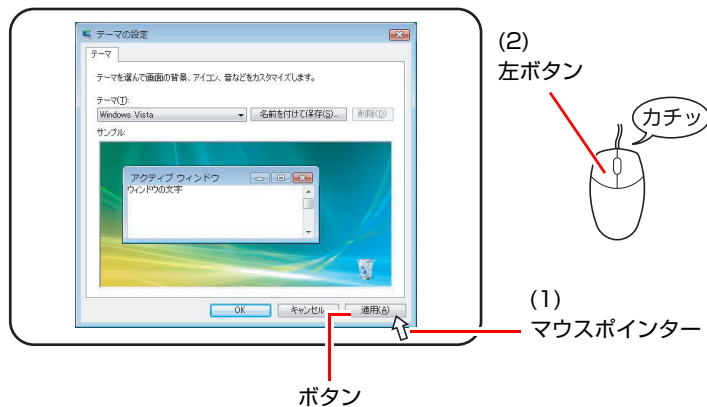


●ボタンをクリックする

- (1) マウスを動かして、マウスポインターを画面のボタンの上に重ねます。
- (2) マウスの左ボタンを、1回「カチッ」と押して離します。

この動作を「クリック」と言います。

画面のボタンをクリックすると、ボタンに表示されている操作が実行されます。



▶電源の入れ方とWindowsの起動

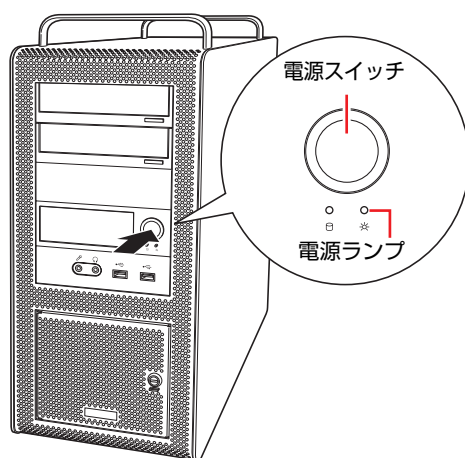
本機の電源の入れ方は、次のとおりです。

1 ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます。

2 電源スイッチを押して、本機の電源を入れます。

電源ランプ (※) が点灯します。


電源を入れたときに電源ランプが点灯しない場合は、電源コードが正しく接続されているか確認してください。



3 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、しばらくするとWindowsが起動します。

画面に何も表示されない場合は、ディスプレイが正しく接続されているか、ディスプレイの電源が入っているか確認してください。

続いて、Windowsのセットアップを行います。

 p.39 「Windowsのセットアップ」

▶Windowsのセットアップ

電源を入れたあと、しばらくすると自動的に「Windowsセットアップ」が実行されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。セットアップ作業の流れは、次のとおりです。

Windowsのセットアップ

次のように表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。
国または地域：日本
時刻と通貨の形式：日本語（日本）
キーボードレイアウト：Microsoft IME

ライセンス条項をお読みになってください

画面に表示された条項を確認し、「ライセンス条項に同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

ユーザー名と画像の選択

ユーザー名、パスワードを入力し、画像を選択したら、[次へ] をクリックします。

※「パスワード」は必要に応じて入力してください。
パスワードを設定すると、設定したユーザー名（アカウント）でログオン時にパスワードの入力が要求されます。パスワードを設定した場合は、絶対に忘れないようにしてください。

コンピュータ名を入力してデスクトップの背景を選択してください

コンピュータ名を入力し、背景を選択したら、[次へ] をクリックします。

※「コンピュータ名」は、本機をネットワーク（家庭内LANや社内LAN）に接続して使用する場合に必要です。


- ネットワークに接続しない場合は、セットアップ時にコンピュータ名を変更する必要はありません。
- ネットワークに接続する場合は、ネットワーク上にあるほかのコンピュータ名と重複しないように、コンピュータ名を変更してください。

Windowsを自動的に保護するよう設定してください

保護の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

※「推奨設定を使用します」を選択すると、Windows Updateが自動で行われるようになります。

 p.100 「Windows Update」

時刻と日付の設定の確認

「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定して、「次へ」をクリックします。



お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください

ネットワークに接続している場合、表示されます。
使用する場所を選択します。



ありがとうございます

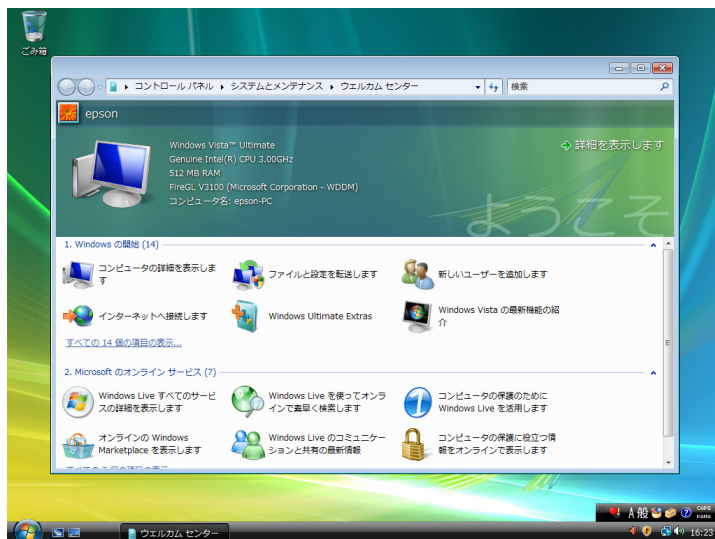
[開始] をクリックします。デスクトップ画面が表示されるまで、約5分かかります。



デスクトップ画面の表示


Windowsのデスクトップ画面が表示されます。

※パスワードを設定した場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、デスクトップ画面が表示されます。



<イメージ>

これでWindowsのセットアップは完了です。
続いて、初期設定ツールでソフトウェアのインストールなどを行います。

 p.41 「初期設定ツール」



ライセンス認証

購入時に本機にインストールされているWindowsや、「WindowsリカバリDVD」から再インストールを行ったWindowsは、ライセンス認証を行う必要はありません。

▶初期設定ツール

Windowsのセットアップが完了すると、「初期設定ツール」が自動的に起動します。初期設定ツールは、本機を使用する前に必要な設定を行ったり、ソフトウェアをインストールしたりするためのツールです。画面の指示に従って設定を行ってください。



<イメージ>

画面の記載項目はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、[次へ] はクリックできません。

「有害サイト対策」画面（32ビット版のみ）

「有害サイト対策」画面では、本機に標準添付の「i-フィルター 30日版」をインストールします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。次回Windowsを起動したときに「i-フィルター・・・」画面が表示されたら、ユーザー登録を行ってください。

 p.183 「i-フィルター 30日版のユーザー登録」


i-フィルター 30日版の使用方法は、 p.105 「i-フィルター 30日版を使う」をご覧ください。

本機購入時に、Webフィルタリングソフトウェアの製品版（オプション）を購入された場合は、画面の指示に従って製品版をインストールしてください。

「セキュリティ設定」画面

「セキュリティ設定」画面では、次のソフトウェアをインストールします。


● Norton Internet Security 90日版


本機に標準添付の「Norton Internet Security 90日版」をインストールします。Norton Internet Security 90日版の使用方法は、『セキュリティソフトウェアをご使用前に』（別冊）をご覧ください。

本機購入時に、セキュリティソフトウェアの製品版（オプション）を購入された場合は、画面の指示に従って製品版をインストールしてください。

● マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版（32ビット版のみ）

本機に標準添付の「マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版」をインストールします。マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版を使用するには、インストール完了後にユーザー登録を行う必要があります。

 p.187 「ユーザー登録」

「マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版」の使用方法は、 p.99 「Internet Explorerの便利な追加機能」をご覧ください。

「お薦めソフトウェア」画面

「お薦めソフトウェア」画面では、必要に応じて次のソフトウェアをインストールします。

● JWord

「JWord」を使うと、Internet Explorerのアドレスバーを利用して、日本語で簡単にインターネットを検索できます。

● gooスティック（32ビット版のみ）

「gooスティック」を使うと、検索機能や辞書機能をいつでも利用することができます。インストールすると、Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスが設定されます。



初期設定ツールの起動方法

初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合などは、次の方法で起動することができます。


【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【初期設定ツール】

▶セットアップ完了後の作業

Windows のセットアップと初期設定ツールの作業が完了したら、次の作業を行います。


ネットワークに接続する

ネットワーク機能（有線LAN）を使用する場合は、ネットワークに関する情報が必要です。お使いになるネットワーク機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。


 p.92 「ネットワーク機能を使う」

マニュアルびゅーわのバックアップ

「マニュアルびゅーわ」とは、本機に添付されているマニュアルやお知らせをコンピューター上で見ることができるソフトウェアです。「マニュアルびゅーわ」は、インフォメーションメニューから起動することができます。

 p.45 「インフォメーションメニューを使う」

「マニュアルびゅーわ」は、Windowsを再インストールすると消去されます。あらかじめバックアップを行ってください。

 p.226 「マニュアルびゅーわのバックアップ」

そのほかの設定

購入時にFAXモデムボードなどを選択している場合は、設定や接続を行います。詳しくは各機器に添付のマニュアルをご覧ください。

Windows使用時の確認事項


「セットアップ完了後の作業」が終わると、Windowsを使用できます。ご使用前に次の事項を確認してください。

▶ Windowsの使用方法

Windowsの使用方法は、次をご覧ください。

● ヘルプとサポート


「ヘルプとサポート」は次の場所から開きます。

[スタート] () - 「ヘルプとサポート」



● PCお役立ち情報

「PCお役立ち情報」は「インフォメーションメニュー」から開きます。

 p.45 「インフォメーションメニューを使う」



▶音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合には、音量を調節します。


 p.89 「音量の調節」


▶インフォメーションメニューを使う

本機には、本機に添付されているマニュアルを見たり、サポートページに簡単にリンクしたりすることができる「インフォメーションメニュー」が搭載されています。

起動方法

インフォメーションメニューの起動方法は、次のとおりです。

- キーボードのインフォメーションボタン  を押す

 p.58 「キーボードを使う」

- デスクトップ上の「インフォメーションメニュー」アイコンをダブルクリックする



- スタートメニューから起動する

インフォメーションメニューが起動すると次の画面が表示されます。





マニュアルびゅうわをご使用の前に

はじめて「マニュアルびゅうわ」からPDFマニュアルを起動する場合に、「使用許諾契約書」画面が表示されたときは、「同意する」をクリックしてください。

インフォメーションメニューの項目

インフォメーションメニューの各項目の内容は、次のとおりです。

- マニュアルびゅうわ

本機に添付されている電子マニュアルを閲覧するためのツールです。ユーザーズマニュアル（本書）のHTMLマニュアルや光ディスクドライブのPDFマニュアル、「Nero 8 Essentials」などのソフトウェアに添付されているマニュアルを見ることができます。

「マニュアルびゅうわ」はWindowsを再インストールすると削除されてしまいます。Windowsの再インストールをする際は、必ず「マニュアルびゅうわ」のバックアップを行ってください。

 p.226 「マニュアルびゅうわのバックアップ」



「警告」が表示された場合は

電子マニュアルを閲覧しようとする、情報バーと呼ばれるInternet Explorerのアドレスバーの下方に「セキュリティ保護のため、このコンピューターにアクセスする可能性のあるスクリプトやActiveXコントロールを実行しないよう・・・」と警告が表示される場合があります。

この場合は、情報バーをクリックし、「ブロックされているコンテンツを許可」をクリックしてください。

- PCお役立ち情報

コンピューターに関する便利で役立つ情報や用語集を掲載しています。マニュアルとあわせてご覧になり、コンピューターを使用する際の参考にしてください。

- とらぶる解決ナビ

技術的な情報やトラブルの解決方法を収録しています。本機の調子が悪い場合に、本書の「困ったときに」とあわせてご覧ください。

 p.190 「トラブルが発生したら」

- ユーザーサポート

技術的な情報やトラブルの解決方法、保証サービスなどについてご案内しています。マニュアルやドライバー、BIOSの最新バージョンもダウンロードできます。



p.227 「電子マニュアルのダウンロード」

「ユーザーサポートページ」を閲覧するには、インターネットへの接続が必要です。

- サポート情報検索

「とらぶる解決ナビ」に収録されていない最新のサポート情報を掲載しています。とらぶる解決ナビで本機の不具合が解決できなかった場合にご覧ください。

「サポート情報検索」を閲覧するには、インターネットへの接続が必要です。

- トラブルが解決しなかったら

技術的なご質問や修理依頼などの問い合わせ先を掲載しています。マニュアルや当社のユーザーサポートページを参照しても、トラブルが解決しない場合にご覧ください。

▶ Windowsの修復

本機のHDDには「Windows回復環境」が設定されています。これは、「Windowsが起動できない」などの不具合を修復する機能です。

Windowsが起動できないときなどに実行してみてください。



p.219 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

▶ 復元ポイントを作成する

Windowsの「システムの復元」機能で「復元ポイント」を作成しておくことで、本機の動作が不安定になった場合、システムの復元機能を使用して、作成しておいた復元ポイントまでシステムの状態を戻すことができます。

復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されますが、手動で作成しておくこともできます。



p.218 「復元ポイントを手動で作成する」

▶ セキュリティー対策を行う

本機には、外部と接続することで高まる危険から、本機を守るためのセキュリティー機能が搭載されています。


インターネットに接続する場合は、セキュリティー対策を行ってください。



p.100 「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

▶画面表示が消えたときは（省電力機能）

本機は、一定時間マウスやキーボードの操作をしないと、省電力機能が働いて画面表示が消えるように設定されています。画面表示が消えて、本機の電源ランプが消灯している場合は、スリープ状態になっています（購入時の設定）。この場合は、電源スイッチを押すと元に戻ります。

 p.114 「省電力状態からの復帰方法」

▶コントロールパネルの表示

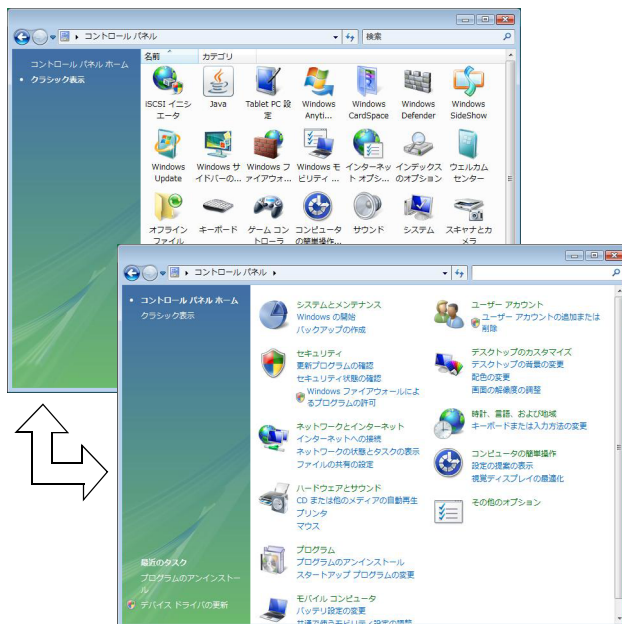
コントロールパネルの表示には、次の2種類があります。

- **カテゴリーの表示（コントロールパネルホーム）**
項目をカテゴリーごとにまとめて表示します（初期設定）。
- **クラシック表示**
項目をすべて表示します。

表示の切り替えは、画面左側にある、「クラシック表示」、「コントロールパネルホーム」をクリックして行います。

本書では、「カテゴリーの表示」形式を前提に記載しています。

<クラシック表示>

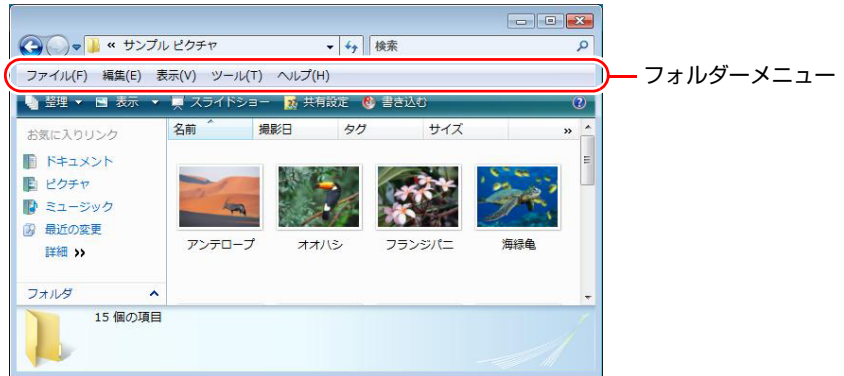


<カテゴリーの表示>

▶フォルダーメニューの表示

Windows Vistaでは、「ファイル」や「ツール」などのフォルダーメニューが標準では表示されません。

フォルダーメニューを表示したい場合は、**[Alt]**を押します。もう一度**[Alt]**を押すと、フォルダーメニューは表示されなくなります。



常にフォルダーメニューを表示する

常にフォルダーメニューを表示したい場合は、次の設定を行ってください。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「フォルダオプション」 - 「表示」タブ - 「常にメニューを表示する」にチェックを付けます。

▶ユーザーアカウントを作る

本機を何人かで共同で使用する場合は、ユーザーアカウントを作成します。ユーザーアカウントをいくつか作成すると、Windowsをユーザーごとに切り替えて、各ユーザーの構成で本機を使用することができます。

ユーザーアカウントの作成

ユーザーアカウントの作成は、次の場所で行います。

- [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「ユーザーアカウント (と家族のための安全設定)」 - 「ユーザーアカウント」 - 「別のアカウントの管理」 - 「新しいアカウントの作成」

ユーザーアカウントの種類 (権限) は、ユーザーに応じて設定してください。

ユーザーアカウントの種類

ユーザーアカウントの種類（権限）には、次の2つがあります。

- 管理者


すべてのシステム項目にアクセスし、設定を変更したり、ドライバー、ソフトウェアのインストールをすることができます。

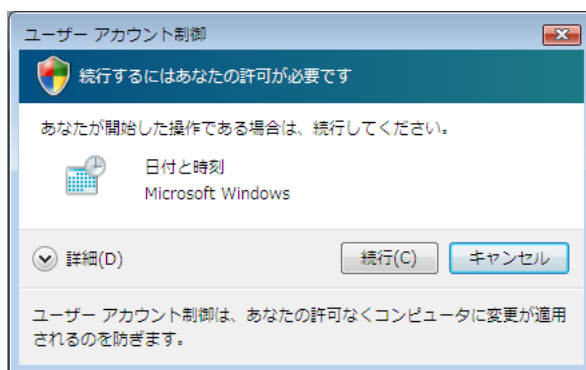
購入時やリカバリ時のWindowsのセットアップで入力したユーザー名（アカウント）は、「管理者」になります。

- 標準ユーザー

一部のシステム項目の変更や、ドライバー、ソフトウェアのインストールは行うことができません。管理者のパスワードを入力すれば、変更やインストールが可能になります。

▶ユーザーアカウント制御画面

コントロールパネルなどで  が表示されているシステム項目にアクセスしようとしたり、ドライバーやソフトウェアのインストールをしようとする、と、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。これは、項目にアクセス制限がかけられているためです。




表示される「ユーザーアカウント制御」画面は、ユーザーアカウント（管理者または標準ユーザー）により異なります。本書の手順は、管理者アカウントでログオンした状態を前提に記載しています。

本機の終了方法


ここでは、本機の終了方法や再起動方法について説明します。
本機の終了方法には次の2つがあります。

●通常の終了（スリープ）

通常は、本機を「スリープ状態」にして終了します。


 p.52 「通常の終了（スリープ）」

スリープ状態にすると、作業内容がメモリーとHDDに保存され、画面表示が消えて本機は低電力の状態になります。スリープ状態からは、数秒で通常の状態に復帰することができます。

スリープ状態についての詳しい説明は、 p.110 「省電力状態の種類」をご覧ください。

●電源を切る（シャットダウン）

次のような場合は、本機の電源を切って終了します。

 p.53 「電源を切る（シャットダウン）」

- 完全に電源を切りたいとき
- 数日使用しないとき
- 周辺機器の取り付け、取り外しをするとき



Windowsをロックする

一時的に席を外す場合は、[スタート] – [🔒] をクリックしてWindowsをロックしておくことで、コンピューターを他人に操作されるのを防ぐことができます。ロックをするには、事前にパスワードの設定が必要です。

ロックについての詳しい説明は、次をご覧ください。


[インフォメーションメニュー] – [PCお役立ち情報] – [コンピュータの基本操作]

▶通常の終了（スリープ）

本機をスリープ状態にして終了する方法、スリープ状態から復帰させる方法について説明します。

終了方法

本機をスリープ状態にして終了する方法は、次のとおりです。


1 [スタート] () - [⏻] をクリックします。

本機が「スリープ状態」になります。画面表示が消え、電源ランプが消灯します。



ほかの方法でスリープ状態にする

次の方法でも、本機をスリープ状態にすることができます。

- ・ [スタート] - [▶] - 「スリープ」をクリックする
- ・ キーボードのスリープボタン () を押す

復帰方法

本機をスリープ状態から復帰させる方法は、次のとおりです。



復帰の際、周辺機器はスリープ状態に入る前と同じ状態にしてください。スリープ中に周辺機器を取り外すなどして状態が異なると、正常に復帰できない場合があります。

1 電源スイッチを押します。

本機が通常状態に復帰します。

▶電源を切る（シャットダウン）

本機の電源の切り方、入れ方について説明します。

電源の切り方

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。



制限

- 電源を切って、もう一度入れる場合には、電源を入れるときに電気回路に与える電気的な負荷を減らし、HDDなどの動作を安定させるために、20秒程度の間隔を空けてください。
- HDDなどのアクセスランプ点灯中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

1 [スタート] - [▶] - 「シャットダウン」をクリックします。

Windowsが終了し、自動的に本機の電源が切れます。

2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。



参考

[⏻] をクリックしたときシャットダウンするように設定する

[スタート] - [⏻] をクリックしたときシャットダウンするようにボタンの機能を変更することができます。

設定は次の場所で行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 「プラン設定の変更」 - 「詳細な電源設定の変更」 - 「電源ボタンとLID」 - 「[スタート] メニューの電源ボタンの操作」

シャットダウン時の注意

Windowsを複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は [いいえ] をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーの画面に切り替えて、それぞれログオフを行ってからシャットダウンをしてください。

電源の入れ方

シャットダウン状態から本機の電源を入れる方法は、次のとおりです。



- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器に添付のマニュアルで確認してください。
電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、HDDなどの動作を安定させます。

1 電源スイッチを押します。

本機の電源が入り、Windowsが起動します。

▶再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」といいます。

再起動方法

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックします。

次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- 使用しているソフトウェアで指示があった場合
- Windowsの動作が不安定になった場合

再起動しても状態が改善されない場合は本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてみてください。

▶ハングアップしたときは

ソフトウェアやWindowsがキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」といいます。
ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。ソフトウェアの強制終了をしても状態が改善されない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1 **Ctrl + Alt + Delete** を押します。
- 2 表示された項目から「タスクマネージャの起動」をクリックします。
「Windowsタスクマネージャ」が起動します。
- 3 「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して「タスクの終了」をクリックします。
- 4 「プログラムの終了」画面が表示されたら、「すぐに終了」をクリックします。

強制的に電源を切る

Ctrl + Alt + Delete を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

強制的に電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1 本機の電源スイッチを5秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

第2章 コンピューターの基本操作

キーボードやマウス、光ディスクドライブの使い方など、コンピューターの基本的な操作方法について説明します。

「キーボードを使う」	58
「マウスを使う」	64
「HDDを使う」	65
「RAID機能」	69
「光ディスクドライブを使う」	77
「USB機器を使う」	83
「画面表示機能を使う」	85
「サウンド機能を使う」	87
「ネットワーク機能を使う」	92
「インターネットに接続するには」	95
「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」	100
「電源設定を行う（省電力機能を使う）」	108
「その他の機能」	115

キーボードを使う

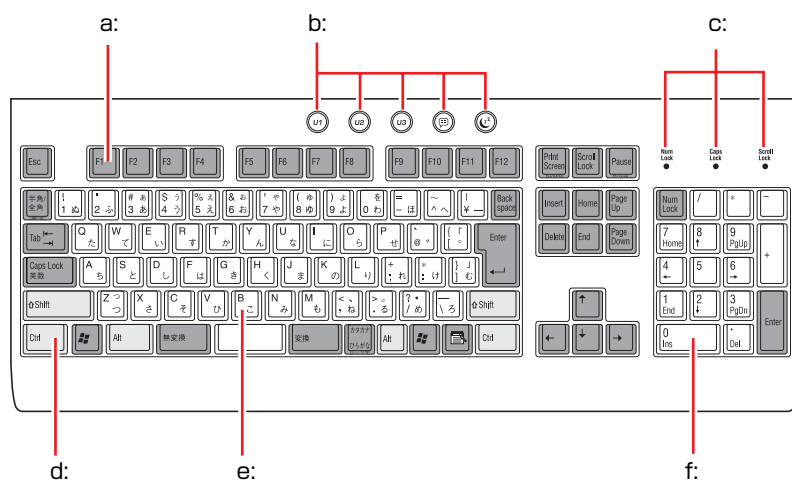
ここでは日本語対応109 USBキーボードについて説明します。キーボードの接続方法は、[p.28](#) 「コンピューターの設置」をご覧ください。

購入時にこのほかのキーボードを選択し、キーボードにマニュアルが添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

▶キーの種類と役割

109個のキーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。

入力キー



a: 機能キー

文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。機能キーの役割はソフトウェアによって異なります。

b: ホットキー

[p.61](#) 「ホットキーを使用する」

c: キーロック表示ランプ

[p.60](#) 「キーロック表示ランプ」

d: 制御キー


文字キーや機能キーの働きを変化させます。単独では機能しません。

e: 文字キー

英数字、記号の入力や日本語入力システムを利用して漢字やひらがななどの日本語を入力します。

f: 数値キー

数字、演算子などを入力します。


 の状態によりキーの機能が変わります。

▶文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

入力モードの切り替え

 を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。

日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

▶日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IMEの使い方

MS-IMEパネルの主要なボタンの名称と働きは、次のとおりです。ボタンをクリックして各設定を行ったり、ヘルプを参照したりします。



a: 入力モード

入力モード（ひらがな、カタカナ、英数字など）を選択します。

b: ヘルプ

MS-IMEの詳しい説明を見ることができます。

c: かなキーロック

日本語入力モードの切り替えを行います。








ボタンが押されていない状態：ローマ字入力

ボタンが押されている状態：かな入力

MS-IME以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムに添付されているマニュアルをご覧ください。

▶キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。


Num Lock	役割	数値キーの状態を切り替え
	切り替え	 を押します。
	点灯時	数値を入力
	消灯時	カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。
Caps Lock	役割	アルファベットの大文字/小文字の切り替え
	切り替え	 +  を押します。
	点灯時	大文字を入力
	消灯時	小文字を入力
Scroll Lock	役割	ソフトウェアによって異なります。
	切り替え	 を押します。

▶ホットキーを使用する


109 USBキーボードには、3種類のホットキーが搭載されています。


- Uボタン   

Uボタンには、お好きな機能を割り当てることができます。


 p.61 「Uボタンの設定」


Uボタンは、キーボードユーティリティが起動していないと使用できません。

 p.63 「キーボードユーティリティの起動」


- インフォメーションボタン 

押すと、インフォメーションメニューが開きます。

 p.45 「インフォメーションメニューを使う」

- スリープボタン 

押すと、本機がスリープ状態になります。

 p.109 「本機を省電力状態にする」

Uボタンの設定


Uボタンに機能を割り当てる方法は次のとおりです。

ここでは、U1ボタンに機能を割り当てる方法を説明します。U2、U3ボタンの場合も、割り当て方法は同様です。

- 1 画面右下の通知領域に表示されている「Hotkey Setup」アイコンを右クリックします。



<Hotkey Setupアイコン>

「Hotkey Setup」アイコンが表示されていない場合は、 p.63 「キーボードユーティリティの起動」をご覧ください。

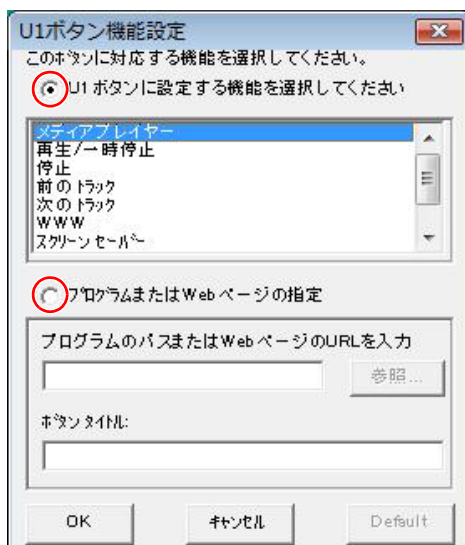
- 2 表示されたメニューから「Config」をクリックします。



- 3 「ホットキー設定ユーティリティ」画面が表示されたら、画面のU1ボタンをクリックします。



- 4** 「U1ボタン機能設定」画面が表示されたら、「U1ボタンに設定する機能を選択してください」か「プログラムまたはWebページの指定」を選択します。



< 「U1ボタンに設定する機能を選択してください」を選択した場合 >
「U1ボタン機能設定」画面に表示されている機能を選択します。

< 「プログラムまたはWebページの指定」を選択した場合 >
「プログラムのパスまたはWebページのURLを入力」欄に、直接パスまたはURLを入力するか、[参照] をクリックし、プログラムまたはURLのショートカットなどを選択します。

- 5** 設定が完了したら、[OK] をクリックします。
- 6** 「ホットキー設定ユーティリティ」画面を閉じます。
これで、ボタンの設定は完了です。ボタンを押すと、割り当てた機能を使用することができます。

キーボードユーティリティーの起動

通知領域に「Hotkey Setup」アイコンが表示されていない場合は、キーボードユーティリティーが起動していません。次の方法で、キーボードユーティリティーを起動します。

- 1 [スタート] – 「検索の開始」に「MHOTKEY」と入力し、を押します。通知領域にHotkey Setupアイコンが表示されます。

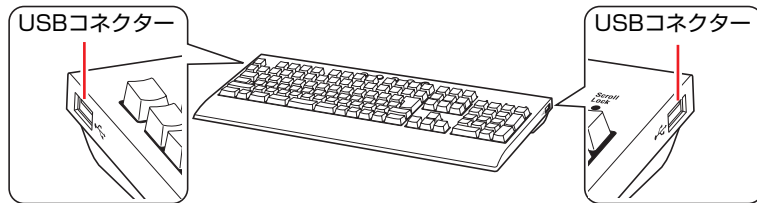


<Hotkey Setupアイコン>

以上の操作を行ってもアイコンが表示されない場合は、Windowsを再起動してみてください。

▶USBハブ機能

109 USBキーボードの側面には、USB1.1に対応した2個のUSBコネクタが搭載されています。キーボードをコンピューターに接続することにより、USBハブのようにキーボードのUSBコネクタを使用することができます。




片方のUSBコネクタには、マウスを接続します。もう一方には、USB機器を接続して使用することができます。



- キーボードのUSBコネクタは、USB1.1対応のため、USB2.0機器を接続した場合でも、USB1.1の転送速度で動作します。
- キーボードのUSBコネクタは、100mA以上の電力を必要とするUSB機器を接続して使用することはできません。USB機器に添付のマニュアルをご覧ください。

マウスを使う

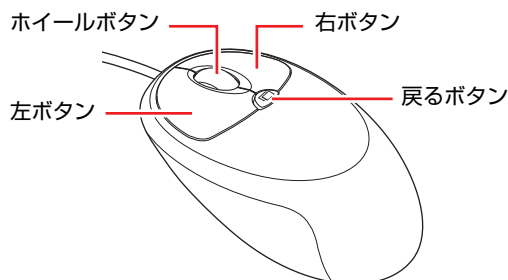
ここでは、ホイール付USB光学マウスについて説明します。マウスの接続方法は、 p.28 「コンピューターの設置」をご覧ください。購入時にこのほかのマウスを選択し、マウスにマニュアルが添付されている場合は、マウスに添付のマニュアルで使用方法をご確認ください。

▶マウスの操作



制限

- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用しないでください。マウスの動きがコンピューターに伝わりません。
- アプリケーションソフトによっては、ホイールボタン、戻るボタンが使用できない場合があります。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押します。
ダブルクリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押します。
右クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。
ドラッグアンドドロップ	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態でもうすを移動し、離します。
スクロール	ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うことができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオートスクロールを行うこともできます。
戻る	戻るボタンを押すと、Internet Explorerやエクスプローラーなどで [戻る] の操作を行うことができます。

▶マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「マウス」

HDDを使う

本機には、シリアルATA仕様のHDD（ハードディスクドライブ）が搭載されています。

HDDは、大容量のデータを高速に記録する記憶装置です。




制限

- HDDアクセスランプ点灯中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点灯中は、コンピューターがHDDに対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えるとHDDが故障するおそれがあります。衝撃を与えないように注意してください。
- HDDが故障した場合、HDDのデータを修復することはできません。

2

▶データのバックアップ

HDDに記録されている重要なデータは、CDメディアや外付けHDDなどにバックアップしておくことをおすすめします。万一HDDの故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの方法は、 p.225 「データのバックアップ」をご覧ください。

▶購入時のHDD領域

購入時のHDDは、お客様の選択により次のように設定されています。

<通常>

HDD		ドライブ (領域)	容量
1台またはRAIDモデルの場合		消去禁止領域	約700MB
		BitLocker : Dドライブ	約1.5GB
		Cドライブ	残り
複数台の場合	1台目	消去禁止領域	約700MB
		BitLocker : Dドライブ	約1.5GB
		Cドライブ	残り
	2台目以降	DまたはE〜*	1台につき1台すべて

<HDD設定変更サービスを選択された場合>

HDD		ドライブ (領域)	容量
1台またはRAIDモデルの場合		消去禁止領域	約700MB
		BitLocker : Dドライブ	約1.5GB
		Cドライブ	購入時に選択された容量
		DまたはE*	残り
複数台の場合	1台目	消去禁止領域	約700MB
		BitLocker : Dドライブ	約1.5GB
		Cドライブ	購入時に選択された容量
		DまたはE*	残り
	2台目以降	EまたはF〜*	1台につき1台すべて

*ドライブ名はWindowsの種類により異なります。

すべてのドライブはNTFSファイルシステムでフォーマットされています。



HDD設定変更サービス

HDD設定変更サービスとは、1台目のHDDの領域をCドライブ、Dドライブに分割した状態でコンピューターをお届けするサービスのことです。

消去禁止領域とは

「消去禁止領域」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。



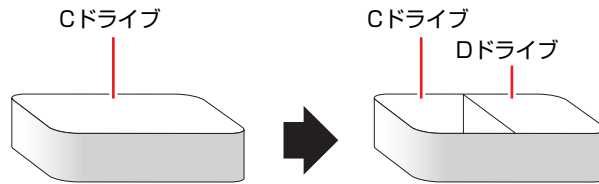
p.219 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

▶HDDを分割して使用する

1台のHDDは、いくつかに分割してそれぞれ別々のドライブとして使用することができます。

<1台のHDDを分割する>

例：1つのHDD領域（Cドライブ）を2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割することができます。



Cドライブを分割する場合は、Windowsの再インストールが必要です。詳しくは、[p.229](#) 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

▶HDDを増設・交換したら

HDDを増設・交換した場合は、[p.232](#) 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。

RAIDを構成する場合は、増設・交換したHDDにドライブを作成する必要はありません。



すでにデータが収録されているHDDにドライブを作成すると、そのHDDに収録されていたすべてのデータが消失します。ドライブを作成する前に、重要なデータが収録されていないことを確認してください。

▶HDDの暗号化

<Windows Vista Ultimate使用時>

Windows Vista Ultimateでは、HDD 暗号化機能「BitLocker」を使用することができます。

BitLocker の使用方法は、当社ユーザーサポートページのサポート情報をご覧ください。

アドレスは次のとおりです。

<http://www.epsondirect.co.jp/support/redirect.htm?content=BitLocker>



BitLocker とは

BitLockerは、HDD内のドライブを暗号化するツールです。Windows Vista UltimateとWindows Vista Enterpriseのみに搭載されています。

ドライブを暗号化することで、第三者がWindowsを不正に起動したり、HDD内のデータが漏洩したりすることを抑止することができます。

RAID機能

RAIDとは、同一容量のHDDを複数台組み合わせて使用するシステムのことで、ここでは、RAIDの種類やRAIDの構成・削除方法などについて説明します。本機では、次の場合にRAID機能を使用することができます。

- 購入時、RAIDモデルを選択された場合
RAIDモデルの場合、搭載のHDDであらかじめRAIDが構成されています。
- 同一容量のHDDを2台以上装着している場合
購入時、RAIDは構成されていません。必要に応じて、HDD 2台～4台でRAIDを構成して使用することができます。

RAIDの種類

本機で使用できるRAIDは、RAID0、RAID1、RAID10の3種類です。

種類	別名	HDD 必要台数	特徴
RAID0	ストライピング	最低2台	複数のHDDを1つに結合して使用。大容量のデータを高速に書き込むことができる。
RAID1	ミラーリング	2台	2台のHDDに同時に同じデータを書き込む。一方のHDDが破損しても、もう一方のHDDからデータを復旧することができる。
RAID10	ミラーリング + ストライピング	4台	ミラーリング (RAID1) したHDDをストライピング (RAID0) して使用。


▶ RAIDの構成・削除・修復

RAIDの構成・削除・修復方法を説明します。



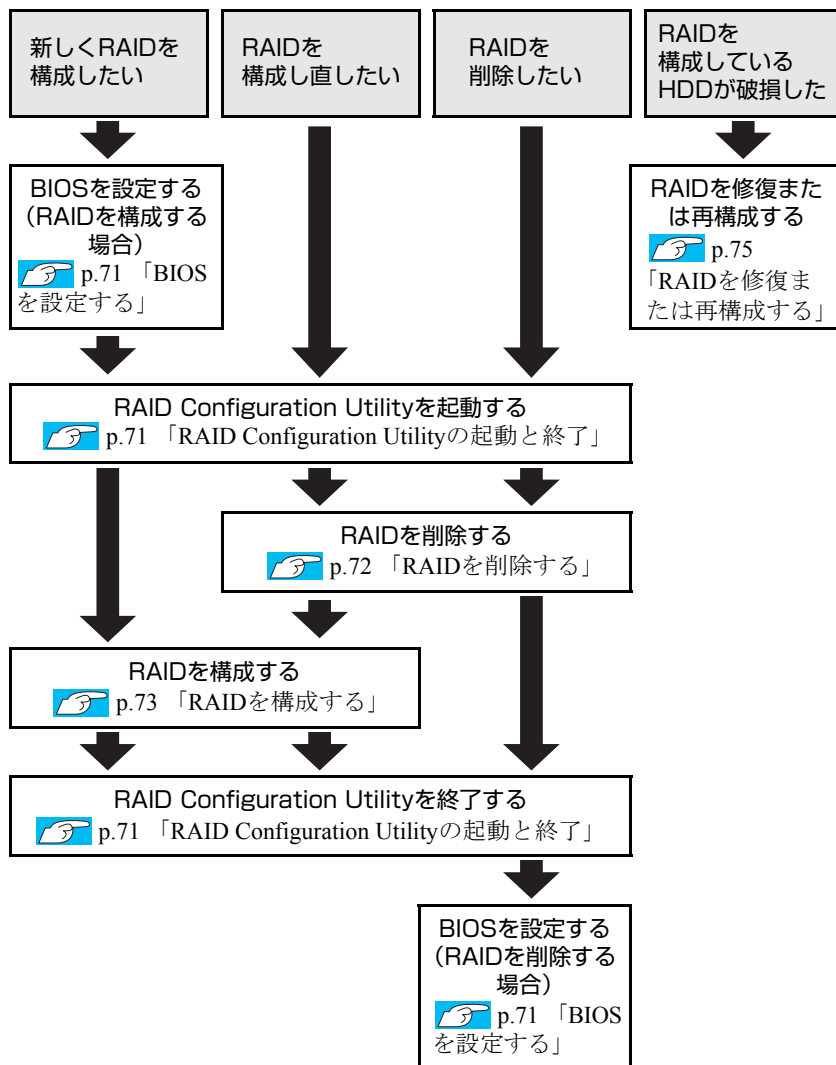
RAIDの構成・削除をすると、HDDに収録されているデータはすべて消失します。RAIDの構成・削除をする前に、重要なデータをバックアップしてください。また、RAIDを構成・削除すると、「消去禁止領域」も消失し、復元することはできません。

「消去禁止領域」には、Windows回復環境 (Windows RE) が設定されています。Windows REは、「WindowsリカバリDVD」から使用することができます。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。

 p.219 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

RAIDの構成・削除・修復の流れ

次の流れに従って、RAIDの構成・削除・修復を行ってください。




BIOSを設定する

RAIDを構成・削除する場合は、BIOSの設定が必要です。

RAIDを構成する場合

RAIDを構成する場合は、「BIOS Setupユーティリティ」で設定値を次のように変更してください。RAIDモデルの場合は、あらかじめ「RAID」に設定されています。

「Advanced BIOS Featuresメニュー画面」－「IDE Configuration」
Configure SATA#1 as : RAID


 p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」

 p.160 「Advanced BIOS Featuresメニュー画面」

RAIDを削除する場合

RAIDを削除した後、RAID機能を使用しない場合は、「BIOS Setupユーティリティ」で設定値を次のように変更します。

「Advanced BIOS Featuresメニュー画面」－「IDE Configuration」
Configure SATA#1 as : AHCI





 p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」

 p.160 「Advanced BIOS Featuresメニュー画面」

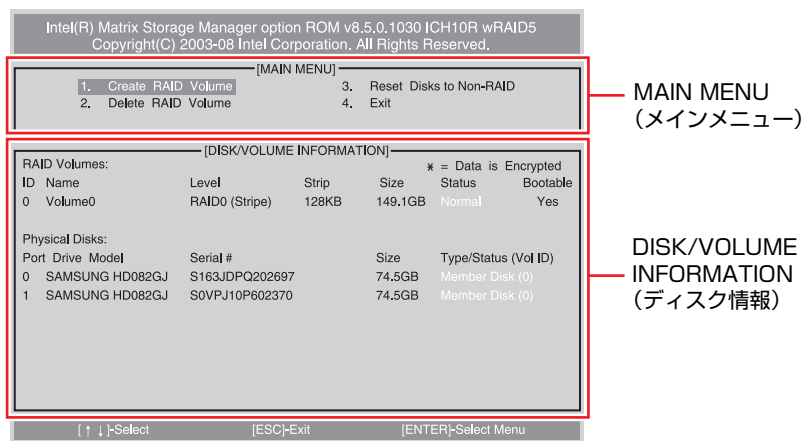
RAID Configuration Utilityの起動と終了

RAID Configuration Utilityの起動、終了方法は次のとおりです。

起動

- 1** キーボードの  と  の位置を確認します。
手順3では、「Press<CTRL-I>to…」のメッセージが表示されている間に、すばやく  +  を押す必要があります。
- 2** 本機の電源を入れます。
すでに電源が入っている場合は、再起動します。

- 3** 画面に「EPSON」と表示された直後に「Press <CTRL-I> to enter Configuration…」と表示されたら、すぐに **[Ctrl] + [I]** を押します。RAID Configuration Utilityが起動します。Windowsが起動した場合は、再起動してやりなおしてください。



<画面はイメージです>


終了

- 1** 「MAIN MENU」項目で「4.Exit」を選択し、**[←]** を押します。項目の移動は **[↑]** **[↓]** で行います。
- 2** 次の確認メッセージが表示されたら、**[Y]** を押します。
Are you sure you want to exit ? (Y/N)
RAID Configuration Utilityが終了します。


RAIDを削除する

RAIDを構成しなす場合や、RAID機能を使用しない場合は、RAIDを削除します。

RAIDを削除する手順は、次のとおりです。

- 1** RAID Configuration Utilityを起動します。
 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 2** 「MAIN MENU」画面で「2.Delete RAID Volume」を選択し、**[←]** を押します。
- 3** 「DELETE VOLUME MENU」画面で、削除したいRAIDを選択し、**[Delete]** を押します。
- 4** 次の確認メッセージが表示されたら、**[Y]** を押します。
Are you sure you want to delete "XXXX" ? (Y/N)
RAIDが削除され、「MAIN MENU」画面が表示されます。「DISK/VOLUME INFORMATION」の「RAID Volumes:」でRAIDが削除されたことを確認します。

5 RAID Configuration Utilityを終了します。

 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」

これで、RAIDの削除は完了です。

RAIDを構成する

本機で構成できるRAIDは、RAID0、RAID1、RAID10です。


RAIDを構成する手順は、次のとおりです。






RAID を構成すると、HDD に収録されているデータはすべて消失します。
RAID を構成する前に、重要なデータをバックアップしてください。


2

1 RAID Configuration Utilityを起動します。

 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」


2 「MAIN MENU」画面で「1.Create RAID Volume」を選択し、 を押します。**3 「CREATE VOLUME MENU」画面が表示されたら、[Name] に任意の名前を入力し、 を押します。**

RAIDの名前を変更しない場合は、そのまま  を押します。

4 「RAID Level」で「RAID0 (Stripe)」、「RAID1 (Mirror)」、「RAID10 (RAID0+1)」のいずれかを選択し、 を押します。**5 RAIDを作成するHDDを選択します。**

RAIDの種類やHDDの台数によっては、この手順はありません。


(1) 「Disks」で  を押します。


(2) 「SELECT DISKS」画面が表示されたら、 (スペースキー) で1台目のHDDを選択します。

(3) 手順 (2) と同様に2台目のHDDを選択します。



必ず手順 (2) で選択したHDDと同容量のHDDを選択してください。

RAID0で3台目、4台目を選択する場合は、同様にHDDを選択します。

(4)  を押してHDDを確定します。

6 「Strip Size」で  を押します。

RAIDの種類によっては、この手順はありません。


7 「Capacity」で  を押します。**8 「Create Volume」が選択されている状態で  を押します。**

9 次の確認メッセージが表示されたら、**[Y]** を押します。

Are you sure you want to create this volume? (Y/N)

RAIDが構成され、「MAIN MENU」画面が表示されます。構成したRAIDの情報を「DISK/VOLUME INFORMATION」で確認することができます。


10 RAID Configuration Utilityを終了します。

 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」

11 「BIOS Setup ユーティリティ」が表示されたら、「Boot Configuration Features」メニュー画面－「Boot Device Priority」で、「Boot Device」が「RAID:Intel XXXX*」になっていることを確認します。

* XXXXは、手順3で設定した名前です。


「BIOS Setupユーティリティ」が表示されない場合は、「BIOS Setupユーティリティ」を起動してから確認してください。

 p.149 「BIOS Setupユーティリティの起動」

12 **[Esc]** を押してメニュー画面に戻り、「Save & Exit Setup」で **[Ok]** を選択して「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

これでRAIDの構成は完了です。

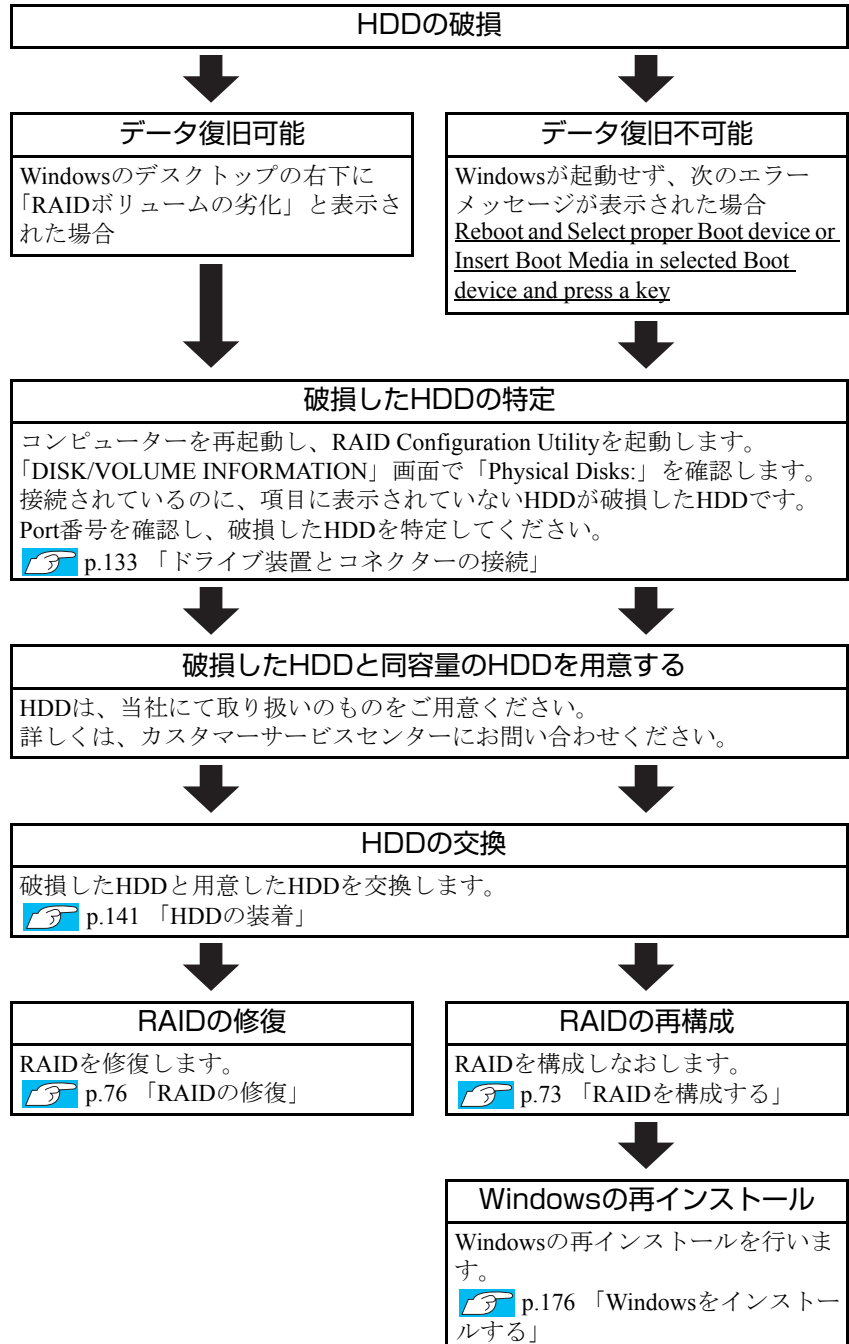
続いてWindowsのインストールを行います。

 p.176 「Windowsをインストールする」

RAIDを修復または再構成する

RAID構成時にHDDが破損した場合は、データの状況によってRAIDの修復または再構成が必要です。


次の流れに従って、RAIDを修復または再構成してください。




RAIDの修復

RAIDの修復は、RAID Configuration Utilityで行います。
RAIDの修復方法は、次のとおりです。


1 RAID Configuration Utilityを起動します。

 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」

2 「DEGRADED VOLUME DETECTED」画面が表示されたら、新しく接続したHDDを選択し、を押します。

3 「DISK/VOLUME INFORMATION」項目で、「RAID Volumes:」の「Status」項目が「Rebuild」になっていることを確認します。

4 RAID Configuration Utilityを終了します。

 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」

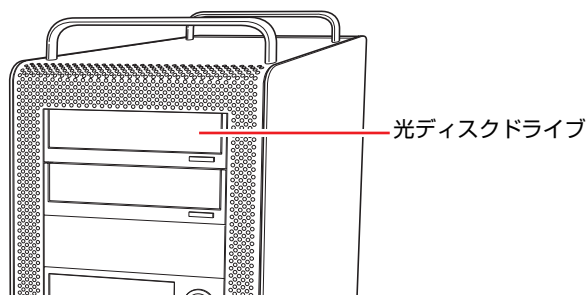
これでRAIDの修復は完了です。

Windowsが起動すると、画面右下に「RAIDボリュームの復元」と表示されます。

光ディスクドライブを使う

本機には、購入時に選択されたシリアルATA仕様の光ディスクドライブが搭載されています。光ディスクドライブは、CD-ROMなどの光ディスクメディアを使用するための機器です。

ここでは、光ディスクドライブの基本的な使い方について説明します。



光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。飛び散って、けがをする危険があります。



光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れないでください。挟まれると、けがの原因になります。



本機では、CD（コンパクトディスク）の規格に準拠しない「コピーコントロールCD」などの特殊ディスクは、動作保証していません。本機で動作しない特殊ディスクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

▶使用可能な光ディスクメディア

光ディスクドライブの種類によって、メディアへの書き込みやDVDの再生など、使える機能が異なります。

お使いの光ディスクドライブで使える機能とメディアの種類は、光ディスクドライブのマニュアル（PDF）をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「マニュアルびゅうわ」

光ディスクメディアの違いについての簡単な説明は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」

▶光ディスクメディアのセットと取り出し

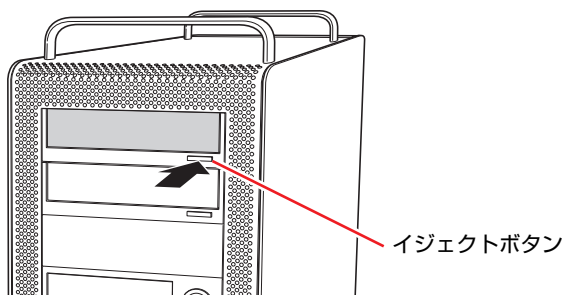
光ディスクメディアのセットと取り出し方法について説明します。



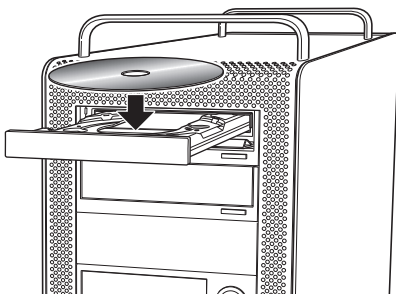
- 光ディスクドライブアクセス中にメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。
- メディアの出し入れのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- 結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）します。使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本機では、楕円などの通常と異なった形状のメディアは使用できません。

セット方法

- 1 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。



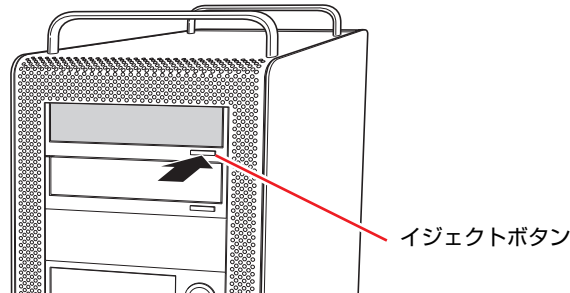
- 2 印刷面を上にして、光ディスクメディアをディスクトレイのくぼみにセットします。



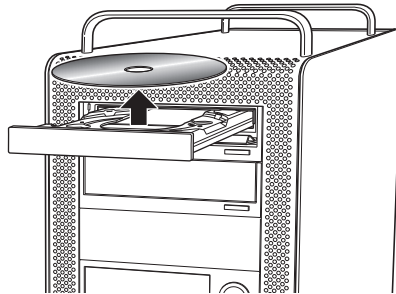
- 3 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。

取り出し方法

- 1 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。



- 2 光ディスクメディアをディスクトレイから取り出します。



- 3 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。



イジェクトボタンを押してもメディアが取り出せない場合

ソフトウェアによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくはお使いのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

▶CDメディアの読み込み・再生

光ディスクドライブでは、データCDを読み込めるほかに、音楽CDやビデオCD、フォトCDなどの再生を行うことができます。これらのメディアの中には、再生時に別途専用ソフトウェアが必要なものもあります。

▶DVDメディアの読み込み・再生

光ディスクドライブでは、データが収録されたDVDメディアを読み込めるほかに、DVD VIDEOなどの再生ができます。

DVD VIDEOの再生には、専用のソフトウェアが必要です。

DVD VIDEO再生ソフト

DVD VIDEOの再生には、「WinDVD」を使用します。



DVD-ROM ドライブを搭載している場合、購入時の選択によっては WinDVD は添付されていません。

WinDVDは、次の場所から起動します。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「InterVideo WinDVD」 - 「InterVideo WinDVD for EPSON」

WinDVDの詳しい使用方法は、WinDVDのヘルプをご覧ください。

DVD VIDEO再生時の不具合

WinDVDでDVD VIDEOの再生をすると、次のような不具合が発生する場合があります。

- 解像度や色数、リフレッシュレートの設定により、DVD VIDEOの再生ができないことがあります。

DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度や色数、リフレッシュレートを調節してみてください。



p.85 「表示に関する各種設定」



p.86 「リフレッシュレートの設定」

- ディスプレイを2台接続して、クローン表示をしていると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断される場合があります。その場合は、クローン表示を無効にしてください。

▶光ディスクメディアへの書き込み

＜書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時＞

書き込み機能のある光ディスクドライブでは、データ、音楽、画像などを光ディスクメディアに書き込むことができます。

書き込み可能なメディアは、お使いの光ディスクドライブにより異なります。書き込み可能なメディアについては、光ディスクドライブのマニュアル（PDF）をご覧ください。


「インフォメーションメニュー」－「マニュアルびゅうわ」



作成した DVD VIDEO は、一部の DVD プレイヤーでは再生できない場合があります。

ライティングソフト

光ディスクメディアに書き込みを行う場合は、専用のライティングソフトが必要です。本機にはライティングソフト「Nero 8 Essentials」がインストールされています。

 p.82 「Nero 8 Essentialsの使い方」


書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

- 省電力機能を無効にする

メディアへの書き込み時に、Windowsが省電力状態に切り替わると、データ転送エラーが起き、書き込みに失敗して、メディアに記録したデータが失われたり、メディアが使用できなくなる可能性があります。

書き込みを始める前に、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.112 「時間経過で移行させない」

省電力状態に移行する場合は、必ず光ディスクドライブからメディアを取り出してから行ってください。

- 速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、光ディスクドライブのマニュアル（PDF）をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「マニュアルびゅうわ」

▶ Nero 8 Essentialsの使い方

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

ライティングソフト「Nero 8 Essentials」を使用すると、CDメディアやDVDメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。



Nero 8 Essentials と Windows Vista 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。

使い方

Nero 8 Essentialsを起動するには、デスクトップ上の「Nero」アイコンをダブルクリックします。



<Neroアイコン>

Nero 8 Essentialsの詳しい使用方法是、次をご覧ください。

- 「インフォメーションメニュー」 - 「PCお役立ち情報」 - 「CD/DVD/BDを使う」
- 「インフォメーションメニュー」 - 「マニュアルびゅうわ」 - 「Neroユーザーガイド」

USB機器を使う

本機にはUSB2.0に対応したUSBコネクタが、前面に2個、背面に8個、合計10個搭載されています。


USBコネクタにはUSB対応の機器を接続します。10個のUSBコネクタは同じ機能ですので、どのコネクタを使用しても構いません。

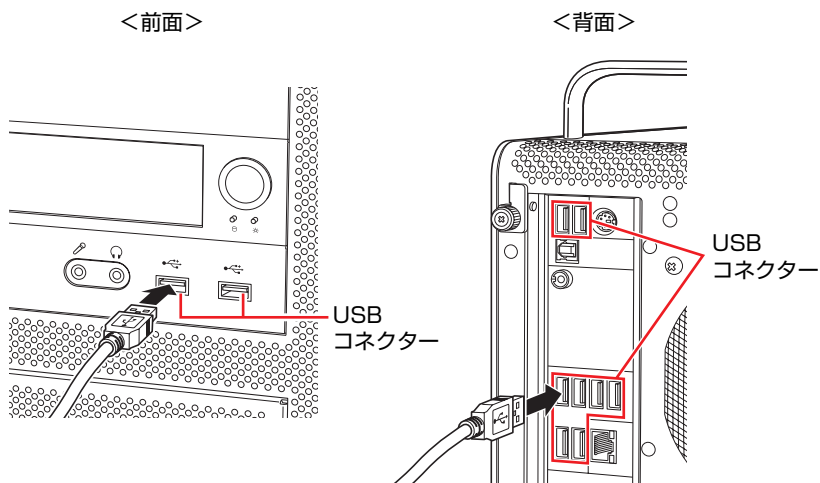
▶USB機器の接続と取り外し

USB機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

接続

USB機器の接続方法は、次のとおりです。

- 1 USB機器のUSBコネクタを、本機前面または背面のUSBコネクタ（)に接続します。



- 2 USB機器によっては、通知領域に「取り外し」アイコンが表示されます。



<取り外しアイコン>

接続するUSB機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくはUSB機器に添付のマニュアルをご覧ください。

参考

接続したUSB機器の確認

接続したUSB機器を確認するには、「取り外し」アイコンをダブルクリックし、「ハードウェアの安全な取り外し」画面で[プロパティ]をクリックします。

USB機器の取り外し

USB機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

- そのまま取り外す

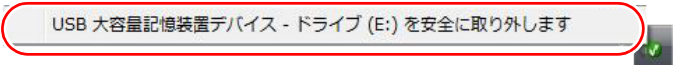
「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

- USB機器の終了処理をして取り外す

「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB機器の終了処理の方法は次のとおりです。

- 1 開いているファイルを閉じます。**
ファイルを閉じないと、終了処理ができません。
- 2 通知領域の「取り外し」アイコンをクリックします。**
- 3 表示されたメニューから「(取り外したいUSB機器) - - - を安全に取り外します」を選択します。**
複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します

- 4 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、[OK] をクリックし、USB機器を本機から取り外します。**

画面表示機能を使う

ここでは、表示するディスプレイや解像度などの設定方法について説明します。

画面表示機能


本機のマザーボード上には、画面表示機能は搭載されていません。本機では、オプション選択されたビデオボードの画面表示機能を使用します。設定画面や解像度、表示色数などは、お使いになるビデオボードやディスプレイにより異なります。詳細は、ビデオボードおよびディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



参考

セーフモードでの起動

接続しているディスプレイの設定が正しくない場合や、本機の画面表示機能では表示できない解像度を選択した場合、Windowsが再起動したときに画面が乱れる、何も表示されないなどの現象が起こることがあります。このような場合は、セーフモードで再起動して再設定を行ってください。

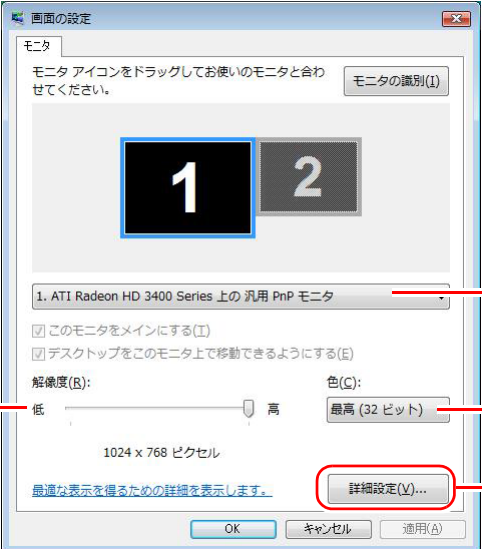
 p.217 「セーフモードでの起動」

2

▶表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は「画面の設定」の「モニタ」タブで行います。「画面の設定」は次の場所にあります。

【スタート】－【コントロールパネル】－【デスクトップのカスタマイズ】
－【個人設定】－【画面の設定】



解像度を設定します。

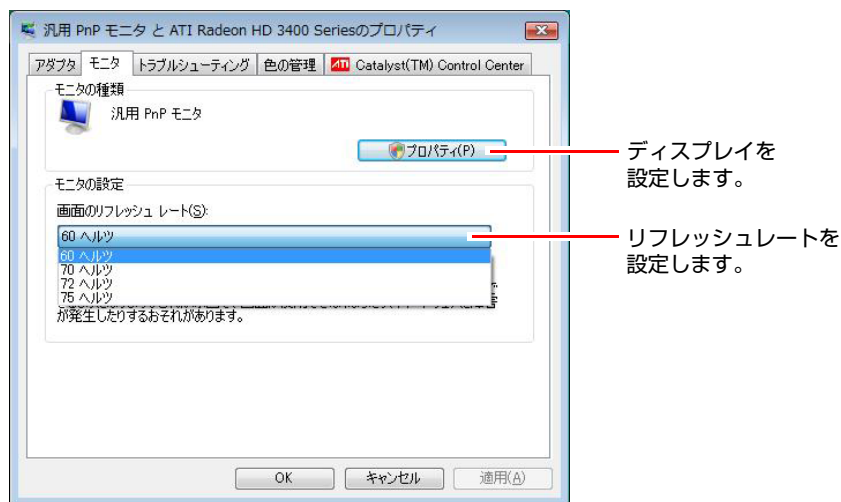
使用しているディスプレイの名称

色を設定します。

表示装置に関する設定を行います。

▶表示装置に関する設定

画面の設定の[詳細設定]－「モニタ」タブでは次の設定を行うことができます。



ディスプレイの設定

通常、接続しているディスプレイは自動的に検出されて設定されますが、接続しているディスプレイによっては正しく設定されない場合があります。その場合は [プロパティ] をクリックして設定を行ってください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

リフレッシュレートの設定

画面がちらつく、文字がにじむといった現象が起こるときは、リフレッシュレートを変更すると問題が解決することがあります。ディスプレイによっては、リフレッシュレートの変更ができない場合もあります。

サウンド機能を使う

本機のマザーボード上には、7.1chサラウンド対応のサウンド機能が搭載されています。7.1chに対応したスピーカーを接続すると、臨場感のあるサウンドを楽しむことができます。

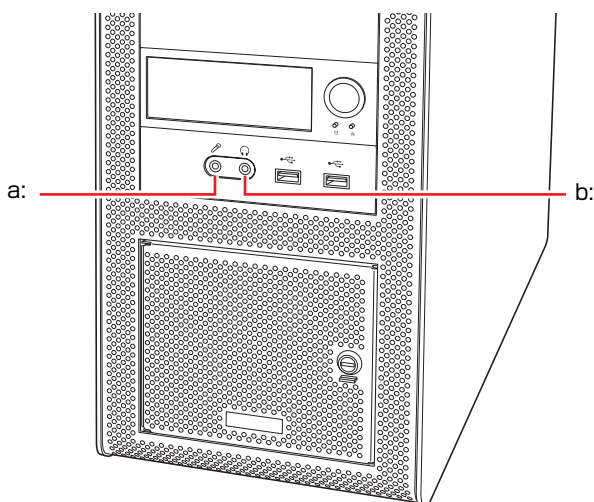
本機にスピーカーは内蔵されていません。本機からの音声を出力するには、スピーカーを接続する必要があります。


▶外部オーディオ機器などの接続


本機には、スピーカーやマイクなどを接続するためのサウンドコネクタが装備されています。各コネクタの位置は、次のとおりです。

2

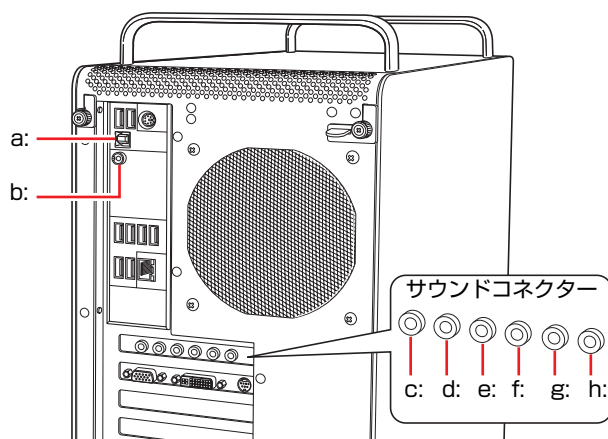
前面側



a: マイク入力コネクタ 
マイクを接続して音声を入力します。

b: ヘッドフォン出力コネクタ 
スピーカーやヘッドフォンと接続して音声を出力します。

背面側



- a: 光デジタルオーディオ出力 (S/P DIF) コネクター **[S/PDIF]**
光デジタルオーディオ入力端子を持つ機器を接続します。
- b: 同軸デジタルオーディオ出力 (S/P DIF) コネクター **[S/PDIF]**
同軸デジタルオーディオ入力端子を持つ機器を接続します。
- c: サイドスピーカー出力コネクター (灰色)
サイドスピーカーと接続して音声を出力します。
- d: リアスピーカー出力コネクター (黒色)
リアスピーカーと接続して音声を出力します。
- e: センタースピーカー / サブウーファー出力コネクター (オレンジ色)
センタースピーカー、サブウーファーと接続して音声を出力します。
- f: マイク入力コネクター (ピンク色)
マイクと接続して音声を入力します。
- g: フロントスピーカー / ライン出力コネクター (黄緑色)
フロントスピーカーやヘッドフォンなどと接続して音声を出力します。通常、スピーカーはこのコネクターに接続します。
- h: ライン入力コネクター (水色)
オーディオ機器と接続して、音声を入力します。

オーディオ機器の接続方法については、オーディオ機器に添付されているマニュアルをご覧ください。

参考

使用できるマイク

マイク入力コネクターに接続して使用できるマイクは、電源を必要とするコンデンサーマイクです。

コンデンサーマイクには、次の2種類があります。

- ・ コンセントなどから、電源供給するタイプ
- ・ 乾電池やコンピューターから、電源供給するタイプ

▶ 音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコンをクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。



▶ 音声の再生・録音

Windows標準のサウンドユーティリティを使うと、音声の再生・録音をすることができます。

音声の再生

音声の再生は、「Windows Media Player」を使用します。Windows Media Playerは、次の場所から実行します。


[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「Windows Media Player」

音声の録音

音声の録音は、「サウンドレコーダー」を使用します。サウンドレコーダーの起動方法は次のとおりです。

- 1** 本機にマイクを接続します。
- 2** 「デバイスを選択してください。」と表示された場合は、「マイク入力」にチェックを入れて [OK] をクリックします。
- 3** [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「サウンドレコーダー」をクリックします。

録音ボリュームの変更は、「サウンドユーティリティ」の「マイク」タブで行います。

 p.91 「マイク使用時の音量調節」

▶サウンドユーティリティを使う

サウンドユーティリティを使用すると、スピーカの設定やマイク音量の設定、音響効果の設定などができます。

サウンドユーティリティを起動するには、通知領域の「Realtek HDオーディオマネージャ」アイコン（赤色）をダブルクリックします。

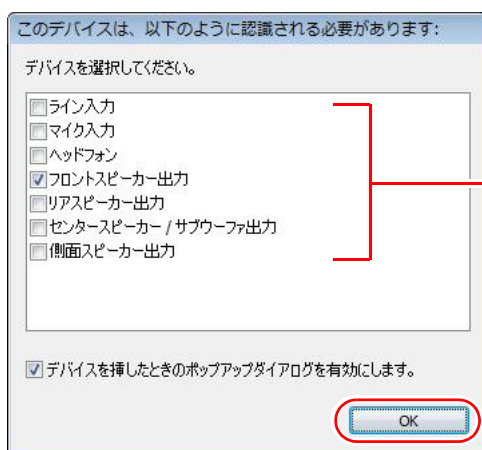


<Realtek HDオーディオマネージャアイコン>

次の画面が表示されます。



外部オーディオ機器を本機のサウンドコネクタに接続すると、「デバイスを選択してください。」と表示される場合があります。画面が表示された場合は、接続したオーディオ機器を選択して [OK] をクリックしてください。



接続したオーディオ機器を選択

マイク使用時の音量調節

本機にマイクを接続して使用する場合、マイクの音量調節はサウンドユーティリティの「マイク」タブで行います。

マイクで録音・再生時の
音量を調節

マイクブーストの設定




※「マイク」タブは、マイク接続時のみ表示されます。

録音時に音量を調節しても音が小さいときは、マイクブーストのつまみを右へスライドさせて、音量を上げてください。

▶サウンドボードを使う

サウンドボードを装着した場合は、「BIOS Setupユーティリティ」の設定値を次のように変更してください。

「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「OnBoardDevice Configuration」
HDA Controller : Disabled (無効)

 p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」

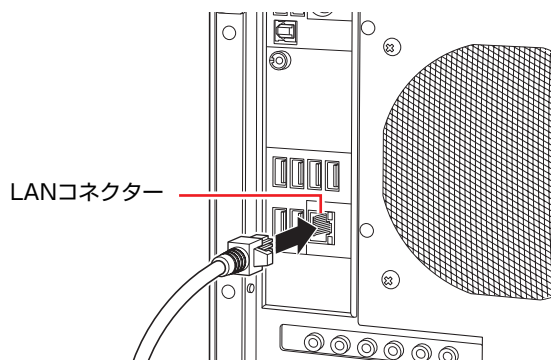
 p.160 「Advanced BIOS Featuresメニュー画面」

ネットワーク機能を使う

本機のマザーボード上には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-Tに対応したネットワーク機能（LAN機能）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面のLANコネクタに市販のLANケーブルを接続します。




▶ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LANケーブルやハブ（サーバー）などが必要です。そのほかに、Windows上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定なども必要になります。ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。



制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - ・ 再起動する
 - ・ 省電力状態に移行しないように設定する
 p.112 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。
- 本機のネットワーク機能（有線LAN）では、リピーター・ハブを使用できません。

▶インターネットへの接続



インターネットへ接続する場合は、 p.95 「インターネットに接続するには」をご覧ください。

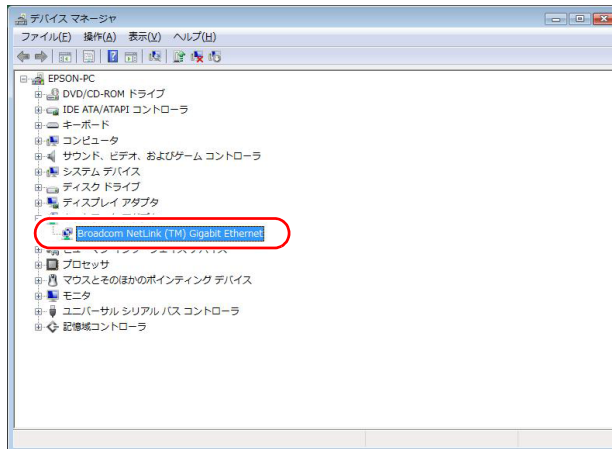
▶ Wakeup On LAN

Wakeup On LANとは、電源切断時にネットワークからの信号により本機を復帰させることができる機能です。電源切断時は、正常にシャットダウンした状態でのみ使用可能です。

Wakeup On LANを有効に設定する

本機のマザーボード上のネットワーク機能で、「Wakeup On LAN」を有効にする場合は、次の設定が必要です。


- 1 「BIOS Setupユーティリティ」の「Power Management Setup」メニュー画面－「Resume On PME#」を「Enabled」に設定します。
 p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」
 p.163 「Power Management Setupメニュー画面」
- 2 Windowsを起動して、[スタート]－「コントロールパネル」－「システムとメンテナンス」－「デバイスマネージャ」をクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。
- 4 表示された「デバイスマネージャ」の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「Broadcom NetLink (TM)・・・」をダブルクリックします。



- 5 表示された「Broadcom NetLink (TM)・・・」画面の「電源の管理」タブをクリックします。

- 6 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを入れて [OK] をクリックします。



- 7  をクリックし、開いている画面をすべて閉じます。
以上で、設定は完了です。

▶リモートブート

本機では、リモートブートを使用できます。

リモートブートを使用すると、コンピューター側のHDDにWindowsがインストールされていない場合でも、ネットワークを介して、サーバー上からWindowsをインストールすることができます。

▶ネットワークボードを使う

ネットワークボード（無線LANボードを除く）を装着した場合は、「BIOS Setupユーティリティー」の次の項目を変更してください。

「Advanced BIOS Features」メニュー画面 - 「OnBoardDevice Configuration」
Broadcom5786 LAN Controller : Disabled (無効)



p.149 「BIOS Setupユーティリティーの操作」



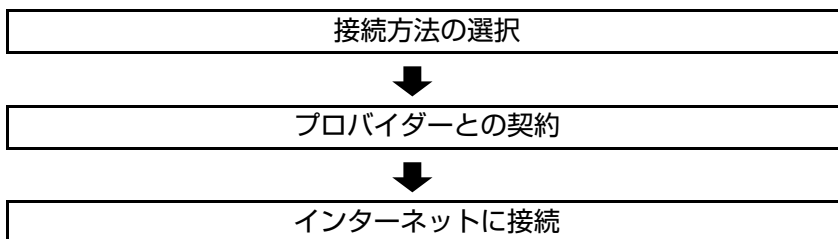
p.160 「Advanced BIOS Featuresメニュー画面」

インターネットに接続するには

ホームページを見たり、電子メールをやり取りしたりするためには、インターネットへの接続が必要です。ここではインターネットへの接続の概要や、インターネットを利用するためのソフトウェアについて説明します。

▶接続するまでの流れ

インターネット接続までの流れは次のとおりです。



2

▶接続方法の選択とプロバイダーとの契約

インターネットへ接続するには、接続方法を決め、その接続方法でサービスを提供しているプロバイダー（インターネットサービスプロバイダー、ISP）と契約します。

接続方法は、目的や使い方に合わせて選択しましょう。また、同じ接続方法でも、通信速度や料金、サポート内容はプロバイダーによって異なります。詳しい内容はプロバイダーにお問い合わせください。

接続方法の種類

高速なインターネット接続をブロードバンドと言い、光ファイバー、ADSL、CATVなどを利用した接続がそれにあたります。また、アナログ電話回線、ISDNなどでの低速な接続をナローバンドと言います。

接続方法	接続環境	インターネットでの通信速度イメージ
光ファイバー	ブロードバンド	速い
ADSL		速い
CATV		速い
ISDN	ナローバンド	遅い
PHS		遅い
携帯		遅い
アナログ		遅い

インターネット接続の方法には、主に次のようなものがあります。

- **光ファイバー (FTTH)**

ほかのブロードバンド接続と比べても、数段に速く安定しているため、映像などの大量のデータ転送も無理なくできます。また、インターネットと合わせてテレビや電話も利用することができます。

ただし、接続料金が高く、非対応の地域があります。

- **ADSL**

電話回線を利用します。インターネットをストレスなく使えます。通信速度は、プロバイダーのプランから使い方に合わせて選ぶことができます。

利用電話局からの距離が遠くなるにつれ速度が遅くなってしまいますので、事前に速さの確認をする必要があります。

- **CATV**

ケーブルテレビのケーブルを利用します。インターネットをストレスなく使えます。

- **そのほかの接続方法 (ナローバンド)**

アナログ電話回線やISDN回線などを使った低速な接続方法があります。



ダイヤルアップ接続

ブロードバンドは常時接続が一般的ですが、ナローバンドでは、必要時に電話回線を通じてインターネットに接続します。この作業をダイヤルアップ接続と言います。

必要な機器

インターネット接続に必要な機器は接続方法によって異なります。詳しくは各プロバイダーにお問い合わせください。

▶インターネットに接続する

プロバイダーと契約すると、メールアドレスやパスワードなどインターネットへの接続に必要な情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダーより提供されます。説明書に従って接続作業を行ってください。



再インストール後のインターネット接続

Windowsを再インストールした場合は、インターネットに接続するための設定作業が再度必要になります。プロバイダーからの説明書はなくさないように大切に保管してください。


▶インターネットを使う上での注意

インターネットを使用すると、簡単に情報を得ることができたり、手軽にメッセージを送ったりすることができますが、その反面注意しなければならないことがあります。次の点に気を付けてインターネットを使用してください。

- 電子メールは途中経路の障害などにより、届かない場合もあります。
- 電子メールは世界中の多くのコンピューターを経由して届けられるため、第三者に内容を見られる可能性があります。
- インターネット上の情報は、必ずしも正しいとは限りません。正しい情報であるかどうかを十分に見極めて、有効に活用する必要があります。
- 安易に個人情報をホームページに掲載したり、電子メールで送ったりすると、悪用されることがあります。また、他人の個人情報を断りなくホームページに掲載したり、電子メールで送ったりすると法律で罰せられます。
- ホームページからダウンロードするデータによっては、本機が障害を被る可能性があります。
- コンピューターウイルスに感染すると、本機が障害を被る可能性があります。また、無許可のユーザーにインターネットを介して本機にアクセスされる可能性もあります。

ウイルスに感染する主な原因は次のとおりです。

- ・ ウイルスが添付されたメールを受信する
- ・ 悪質なプログラムが起動するホームページを閲覧する

これらの危険から本機を守る方法は、 p.100 「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」をご覧ください。

▶インターネットや電子メールを利用する

本機では、次のソフトウェアを使用してインターネットや、電子メールを利用します。

- ホームページの閲覧：Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）
- 電子メールの利用：Windowsメール

各ソフトウェアの使用方法は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」

参考

Officeをインストールしているときは

Officeをインストールしている場合は、電子メールソフトOutlookを使用します。

Outlookの使用方法は、Outlookのヘルプをご覧ください。

Windowsメールの初期設定

Windowsメールをはじめて起動する場合は、初期設定を行います。初期設定では、メールアドレスなどの接続に必要な情報を入力します。これらの情報は、プロバイダーから提供された説明書をご覧ください。

初期設定方法は次のとおりです。

- 1** 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「Windowsメール」をクリックします。
- 2** 「名前」と表示されたら、名前を入力して「次へ」をクリックします。
- 3** 「インターネット電子メールアドレス」と表示されたら、プロバイダーから取得したメールアドレスを入力して「次へ」をクリックします。
- 4** 「電子メールサーバーのセットアップ」と表示されたら、プロバイダーから指定されている受信メールサーバーと送信メールサーバーを入力して「次へ」をクリックします。
- 5** 「インターネットメールログオン」と表示されたら、プロバイダーから指定されているユーザー名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。
- 6** 「設定完了」と表示されたら、「完了」をクリックします。



参考

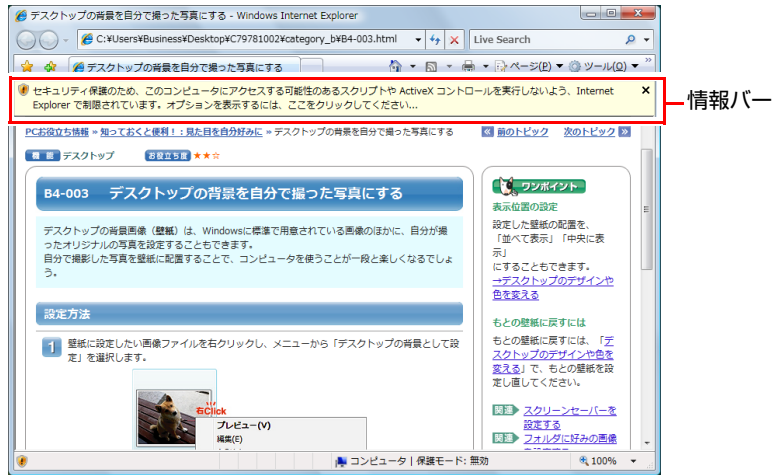
設定を変更する

一度行った設定は、次の場所から変更することができます。

「ツール」メニュー - 「アカウント」 - 「追加」 - 「電子メールアカウント」

Internet Explorerで情報バーが表示されたら

購入時のInternet Explorerは、セキュリティ強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう設定されています。Internet Explorer使用时、情報バーに警告が表示されたら、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処をしてください。



<画面はイメージです>

Internet Explorerの便利な追加機能

本機にはInternet Explorerの便利な機能として、次のソフトウェアが添付されています。購入時にはインストールされていませんので、必要に応じてインストールを行ってください。

- JWord

「JWord」を使うと、アドレスバーを利用して、日本語で簡単にインターネットを検索できます。

- gooスティック (32ビット版のみ)

「gooスティック」を使うと、検索機能や辞書機能をいつでも利用することができます。インストールすると、Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスが設定されます。

- マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版 (32ビット版のみ)

Internet Explorerのツールバーに、「McAfee SiteAdvisor」ボタンが設定され、Webサイトの安全性評価を確認できます。マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版の詳しい使い方は、ボタンから「ヘルプ」をご覧ください。

インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうるコンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対するセキュリティー機能が備えられています。ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

▶ Windows Update

「Windows Update」は、本機のWindowsの状態を確認し、Windowsの更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。Windowsを最新の状態にするため、Windows Updateを行ってください。

自動更新の設定

本機を使用する際は、自動でWindows Updateが行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

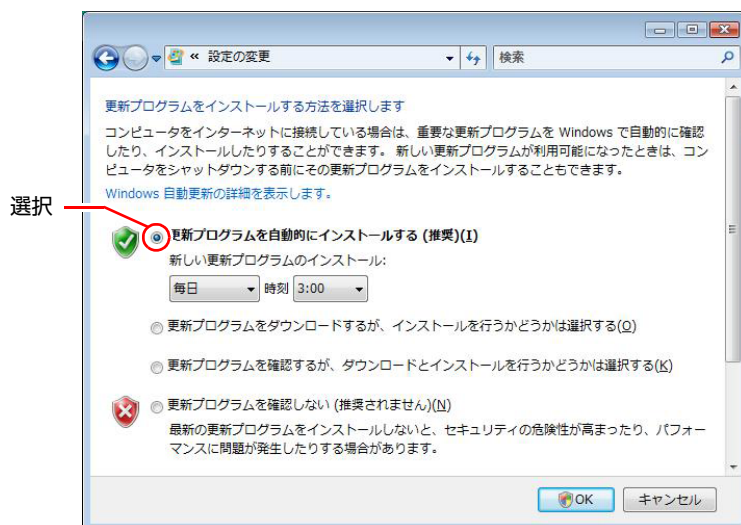
自動更新の設定がされていると、次の作業が自動で行われます。

- 重要な更新プログラムのダウンロード（インターネット接続時）
- 重要な更新プログラムのインストール（設定した時刻または設定した時刻より前にシャットダウンする際）

Windowsのセットアップ時に「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」画面で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

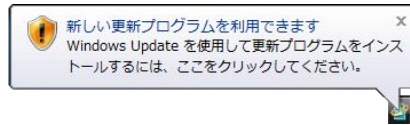
自動更新の設定は、次の場所で行います。

[スタート]－[すべてのプログラム]－[Windows Update]－[設定の変更]



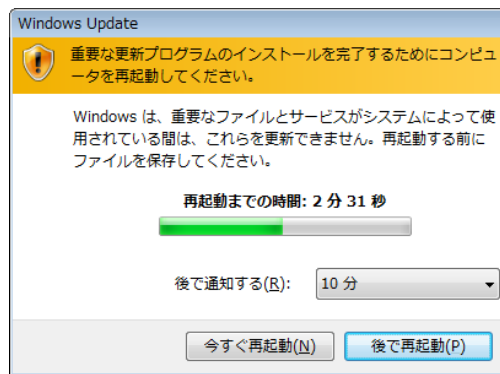
「新しい更新プログラムを利用できます」と表示されたら

重要な更新プログラムがダウンロードされると、画面右下に「新しい更新プログラムを利用できます」と表示されます。すぐに重要な更新プログラムをインストールしたい場合は、通知アイコンをクリックし、インストールをしてください。



再起動を促す画面が表示されたら

重要な更新プログラムのインストールが行われると、再起動を促す画面が表示されることがあります。作業中の場合はデータを保存してください。本機が再起動したら、インストールは完了です。



▶セキュリティーソフトウェア

コンピューターウイルスは、インターネット上やメールの添付ファイルなどから感染する悪意のあるプログラムです。

コンピューターウイルスに感染すると、本機の動作が不安定になったり、保存してあるファイルが破壊されるなどの被害が発生します。

ウイルス感染を防ぐために、必ずウイルス対策を行ってください。

Norton Internet Security 90日版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能、フィッシング詐欺検出機能を備えた「Norton Internet Security 90日版」が添付されています。購入時にNorton Internet Security 90日版はインストールされていませんので、必要に応じてインストールを行ってください。詳しくは、『セキュリティーソフトウェアをご使用の前に』（別冊）をご覧ください。



更新サービスの有効期限

本機に添付のNorton Internet Security 90日版は、製品版ではありません。更新サービスの有効期限は、セットアップ後90日間です。90日経過後は、更新サービスの延長キー（有償）を購入すると、1年間使用可能です。更新サービスの詳細は、『セキュリティーソフトウェアをご使用の前に』をご覧ください。

市販のセキュリティーソフトウェアを使う

市販のセキュリティーソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、Norton Internet Security 90日版はインストールしないでください。インストールしていた場合は、アンインストール（削除）してください。アンインストール方法は、『セキュリティーソフトウェアをご使用の前に』をご覧ください。

▶ファイアウォール

インターネットに接続していると、不正なアクセスにより、本機のデータやプログラムを勝手に見られたり、改ざんされたり、破壊されたりする可能性があります。「ファイアウォール」は、これらの不正アクセスを検出し、遮断する機能です。不正アクセスを遮断するため、必ずファイアウォール機能を使用してください。

Norton Internet Security 90日版のファイアウォール機能

本機に添付の「Norton Internet Security 90日版」には、ファイアウォール機能が備えられています。Norton Internet Security 90日版のインストールを行うと、自動的にファイアウォール機能が有効になりますので、そのままお使いください。

Windowsファイアウォールの設定

本機には、Windowsのファイアウォール機能が備えられています。本機の状態によって、Windowsファイアウォールを次のように設定してください。

<ファイアウォール機能を持つソフトウェアを使用している場合>

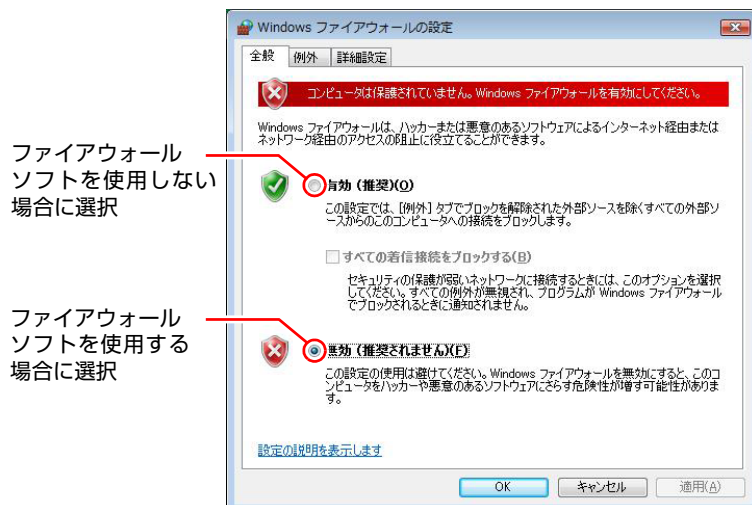
ファイアウォール同士の競合を防ぐため、Windowsファイアウォールを「無効」に設定してください。ソフトウェアによっては、Windowsファイアウォールが自動で「無効」に設定される場合があります。

<ファイアウォール機能を持つソフトウェアを使用しない場合>

Windowsファイアウォールを「有効」に設定してください。

Windowsファイアウォールの有効/無効の設定は、次の場所から行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「セキュリティ」 - 「Windows
ファイアウォール」 - 「設定の変更」



▶Windows Defender

Windows Vistaには、スパイウェアやそのほかのマルウェア（悪意のあるソフトウェア）を検出したり、駆除したりするツール「Windows Defender」が備えられています。

「Norton Internet Security 90日版」などのスパイウェア対策機能を持つソフトウェアを使用している場合は、機能が重複するため、Windows Defenderが自動で「無効」に設定される場合があります。この場合は、そのまま使用してください。スパイウェア対策機能を持つソフトウェアなどを使用しない場合は、Windows Defenderを使用してください。

Windows Defenderは次の場所から起動します。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「セキュリティ」 - 「Windows Defender」

▶フィッシング詐欺検出機能

フィッシング詐欺とは、金融機関などのメールやホームページを装い、ユーザーに暗証番号やクレジットカード番号を入力させて、個人情報盗み取る犯罪のことです。

本機には、「フィッシング詐欺検出機能」が搭載されています。セキュリティーを守るため、機能を使用してください。

Norton Internet Security 90日版のフィッシング詐欺検出機能

本機に添付のセキュリティーソフト「Norton Internet Security 90日版」には、フィッシング詐欺検出機能が備えられています。Norton Internet Security 90日版のインストールを行うと、自動的にフィッシング詐欺検出機能が有効になります。そのままお使いください。

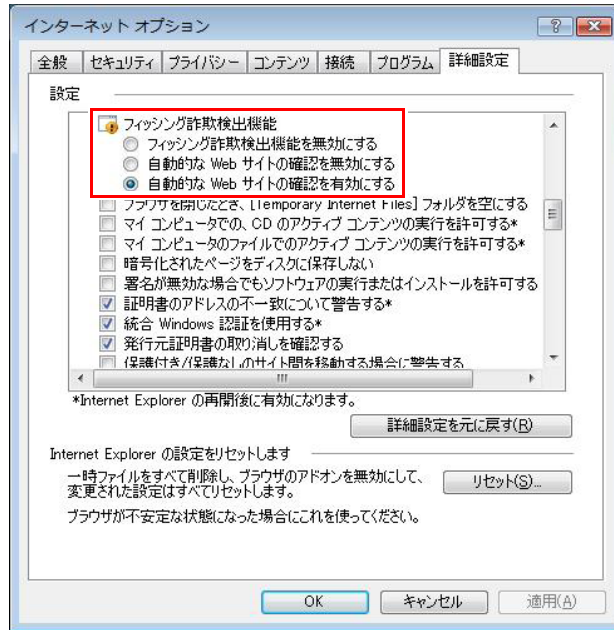
Internet Explorerのフィッシング詐欺検出機能

ホームページ閲覧ソフト「Internet Explorer」には、フィッシング詐欺検出機能が備えられています。そのまま使用してください。

フィッシング詐欺検出機能を持つソフトウェアなどを使用しない場合は、Internet Explorerの機能を「有効」で使用してください。

Internet Explorerのフィッシング詐欺検出機能の有効/無効の設定は、次の場所で行います。

Internet Explorerの「ツール」－「フィッシング詐欺検出機能」－「フィッシング詐欺検出機能の設定」－「詳細設定」タブ－「フィッシング詐欺検出機能」



2

▶ Webフィルタリングソフトウェア（32ビット版のみ）


Webフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを見せないようにするための技術です。Webフィルタリングは万全ではありません。ただし、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

i-フィルター 30日版を使う

本機には、「Webフィルタリング」機能を持つ「i-フィルター 30日版」が添付されています。

家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへのアクセスを制限したいときなどは、i-フィルター 30日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30日版のインストール

購入時、本機にはi-フィルター 30日版はインストールされていません。インストール方法は、 p.182 「i-フィルター 30日版のインストール」をご覧ください。

市販のWebフィルタリングソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30日版はインストールしないでください。

i-フィルター 30日版の使用方法

i-フィルター 30日版をインストールすると、フィルター設定が有効になり、有害サイトにアクセスしようとする時、自動的にブロックされます。

初期設定では、フィルター強度は中学生向けです。フィルター強度は、ユーザー別に設定できます。必要に応じて、「フィルタリング設定」画面で設定を変更してください。


「フィルタリング設定」画面の表示方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。



<i-フィルターアイコン>

「i-フィルター…」画面が表示された場合は、ユーザー登録が完了していません。ユーザー登録を行ってから再度設定を行ってください。

 p.183 「i-フィルター 30日版のユーザー登録」

2 「管理パスワードの入力」画面が表示されたら、管理パスワードを入力して [OK] をクリックします。

3 「i-フィルター」の「トップページ」が表示されたら、「フィルタリング設定」をクリックします。

「フィルタリング設定」画面が表示されます。

i-フィルター 30日版の詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。



 参考

ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は
セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を有効にしている場合、
インターネット閲覧時に「i-フィルター 30日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。
この場合は、「i-フィルター 30日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30日版の利用期限

i-フィルター 30日版の利用期限は、ユーザー登録後30日間です。利用期限が過ぎると、フィルター機能が停止します。

<継続して利用する場合>

継続利用の手続き（有償）をオンラインで行ってください。



p.107 「i-フィルター 30日版のサポート」



本機に添付のi-フィルター 30日版は、「i-フィルター更新パック」で継続利用手続きを行うことはできません。

<継続して利用しない場合>

i-フィルター 30日版のアンインストールを行ってください。

i-フィルター 30日版のアンインストール方法は、デジタルアーツ社のホームページの「よくある質問」をご覧ください。



p.107 「i-フィルター 30日版のサポート」

i-フィルター 30日版のサポート

i-フィルター 30日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。
よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。
なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

http://www.daj.jp/cs/ifpe/sup_dl.htm

電源設定を行う（省電力機能を使う）

ここでは、本機の電源の設定について説明します。

▶電源プランの設定

本機には、次の3つの電源プランが用意されています。電源プランの選択により電力消費を抑えたり、パフォーマンスを優先させたりすることができます。使い方に合わせた電源プランを選択して本機を使用してください。

- バランス

パフォーマンスと電力消費のバランスを考えたプランです。

- 省電力

コンピューターの電力消費を抑えるプランです。パフォーマンスは低下します。

- 高パフォーマンス

電力消費は抑えずに、パフォーマンスを優先させるプランです。

電源プランの選択は、次の場所から行います。

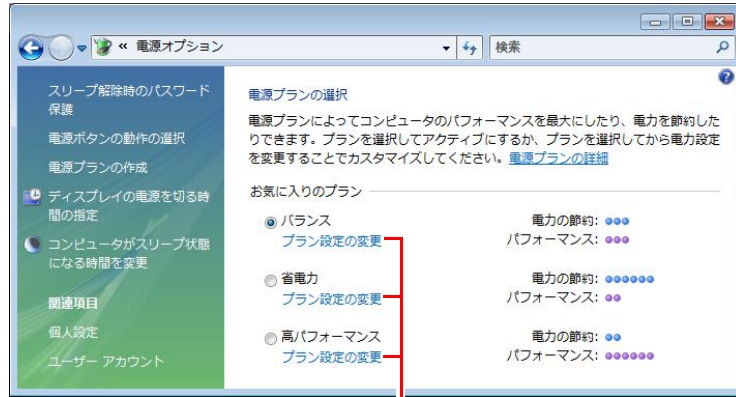
[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」



購入時は「バランス」に設定されています。


電源プランの内容変更

電源プランの内容（省電力の設定など）は、変更することができます。変更は、各プランの「プラン設定の変更」から行います。



プラン内容の変更

「プラン設定の変更」では、本機が省電力状態に移行するまでの時間の設定などを行うことができます。

 p.112 「省電力状態に移行する方法」

▶本機を省電力状態にする

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。ここでは、省電力状態に移行する方法や、省電力状態からの復帰方法について説明します。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような制限事項があります。移行する前に、確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・ 周辺機器を接続している
 - ・ ソフトウェアを起動している

- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。



p.112 「時間経過で移行させない」

- 光ディスクメディアへの書き込み時：書き込みに失敗する可能性
 - サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - 外部接続記憶装置（USB FDDなど）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ネットワーク機能などを使っての通信時：通信が切断される可能性
 - 動画再生時：コマ落ちしたりソフトウェアの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - 省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
 - ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する



p.112 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類


省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- **ディスプレイの電源を切る**
省電力の効果はスリープ状態より低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。
- **スリープ状態**
作業中の内容を一時的に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが消灯します。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。
スリープ状態には次の2つがあり、作業中の内容の保存方法が異なります。
 - **ハイブリッドスリープ（初期値）**
普通のスリープと休止状態を合わせたスリープです。
作業中の内容はメモリーとHDDの両方に保存されます。
 - **普通のスリープ**
作業中の内容はメモリーのみに保存されます。
- **休止状態**
作業内容をHDDに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが消灯します。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。


休止状態を有効にする

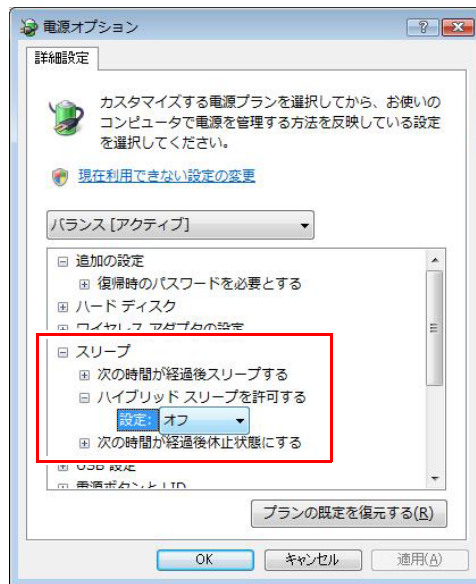
本機では、休止状態が無効に設定されています。休止状態を有効にするには設定を行ってください。



- 休止状態を有効にすると、スリープ状態がハイブリッドスリープから普通のスリープに変わります。
 p.110 「省電力状態の種類」
- Windows Vista 64ビット版で、メモリーを4GB以上搭載している場合、休止状態の設定はできません。

休止状態を有効にする方法は次のとおりです。

- 1  p.109 「電源プランの内容変更」で、休止状態を有効にしたいプランの「プラン設定の変更」をクリックし、「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
- 2 「スリープ」－「ハイブリッドスリープを許可する」を「オフ」に設定します。
- 3 [OK] をクリックします。



▶省電力状態に移行する方法

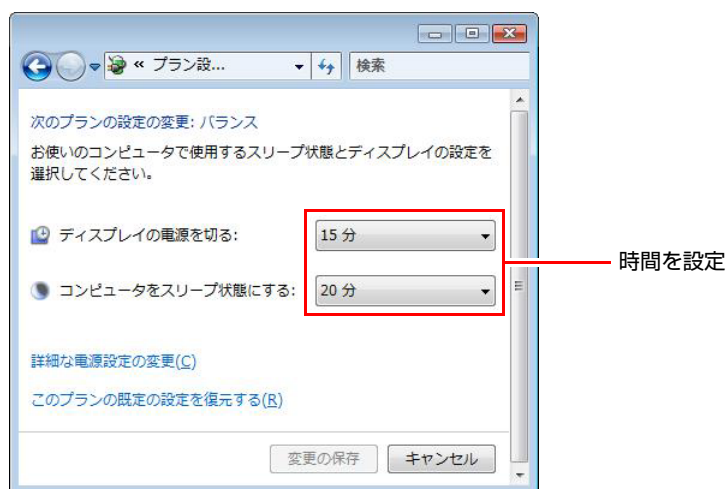
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で、「電源プラン」で設定されている時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープ状態になります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 各プランの「プラン設定の変更」



時間経過で移行させない

光ディスクメディアへ書き込みを行う場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間を全て「なし」に設定してください。

直ちに移行する

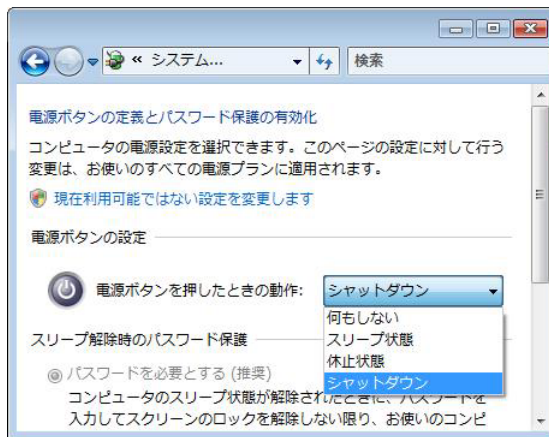
次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。


操作	省電力状態の種類
[スタート] - [⏻] をクリックする	スリープ状態 (初期値)
キーボードのスリープボタン (Ⓜ) を押す	スリープ状態
[スタート] - [▶] から項目を選択する	スリープ状態、休止状態*、シャットダウン

*購入時は表示されません。


各操作を行ったときに移行する省電力状態の種類は、次の場所を変更することができます。初期値はすべて「スリープ状態」に設定されています。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 「電源ボタンの動作を選択する」



休止状態を選択したい場合は、 p.111 「休止状態を有効にする」を参照して設定を有効にしてください。

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ（)で確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示
通常の状態	点灯（緑色）
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯（緑色）
スリープ状態	消灯
休止状態	消灯
電源切断時（シャットダウン時）	消灯

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯（緑色）	マウスやキーボードを操作する
スリープ状態	消灯	・電源スイッチを押す ・キーボードを操作またはマウスをクリックする（USB接続の場合のみ）
休止状態	消灯	電源スイッチを押す

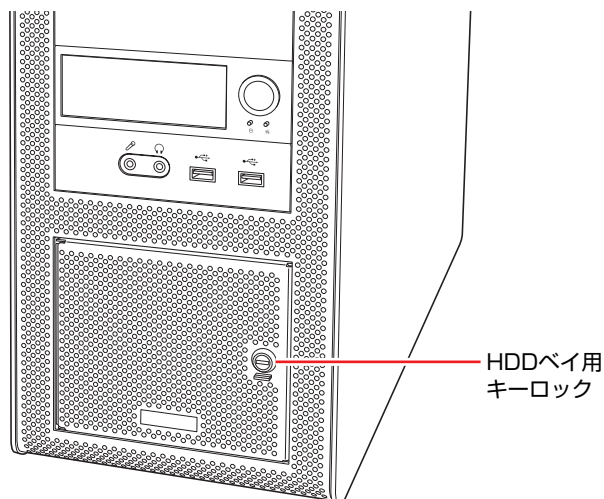
そのほかの機能

▶シリアルコネクター（オプション）

本機購入時にオプション選択された場合、本機背面にはシリアルコネクターが1個搭載されています。シリアルコネクターには、シリアルコネクターに対応した機器（マウスやFAXモデム、ターミナルアダプターなど）を接続します。

▶HDDベイ用キーロック

本機前面には、「HDDベイ用キーロック」が搭載されています。通常は、HDDの不正持ち出しや盗難の抑止に、鍵をかけることをおすすめします。HDDを増設・交換する際は、鍵をはずしてから行ってください。



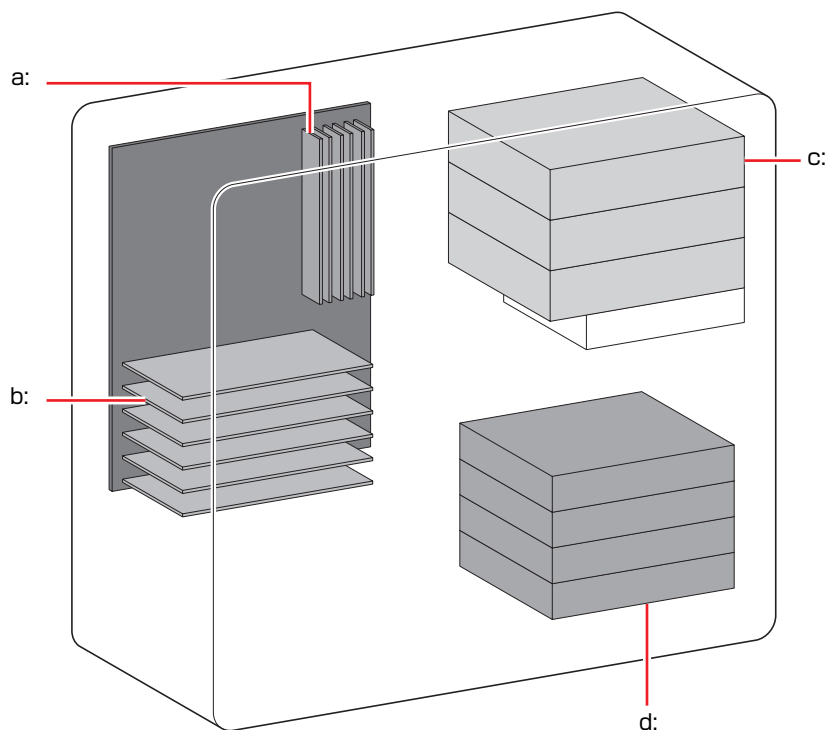
第3章 システムの拡張

装置の増設・交換方法について説明します。

「拡張できる装置」	118
「作業時の注意」	119
「拡張時の準備作業」	120
「メモリーの装着」	123
「拡張ボードの装着」	128
「ドライブ装置とコネクタの接続」	133
「5.25型ドライブの装着」	137
「HDDの装着」	141

拡張できる装置

本機では、次の各部に装置を増設・交換して、機能を拡張することができます。ただし、購入時にいくつかの装置がすでに装着されているため、実際に拡張できる装置の数は異なります。




a: メモリスロット

メモリスロットが6つ装備されており、次の容量まで搭載することができます。

Windows Vista 32ビット版：最大3GBまで


Windows Vista 64ビット版：最大12GBまで

 p.123 「メモリーの装着」

b: 拡張スロット


次の拡張ボードを装着することができます。

- ・ PCI Express x16ボード：2枚
- ・ PCI Express x8ボード：2枚
- ・ PCI Express x4ボード：1枚
- ・ PCIボード：1枚

 p.128 「拡張ボードの装着」


c: 5.25型ドライブベイ

5.25型装置（光ディスクドライブなど）を3台装着できます。

 p.137 「5.25型ドライブの装着」

d: HDDベイ

3.5型HDDを4台装着できます。

 p.141 「HDDの装着」

作業時の注意

本機内部に装置を装着する場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



- 作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



- 装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- メモリーの切り欠きとメモリスロット内の仕切りは、確実に合わせてください。メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。



- 本機から周辺機器を必ず取り外してください。
- 取り付けを行う際は、取り付ける装置に添付されているマニュアルを必ず参照してください。
- 本機内部のケースや基板には突起があります。装着作業の際には、けがをしないよう注意してください。
- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリーや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーや拡張ボードを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 固定プラグが確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。再度、メモリーの向きを確認し、固定プラグが確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。
- 装置は落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーや拡張ボードの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

拡張時の準備作業

装置の拡張作業を行う場合は次の準備作業が必要です。各装置の拡張手順に従って、必要に応じて作業を行ってください。



作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。

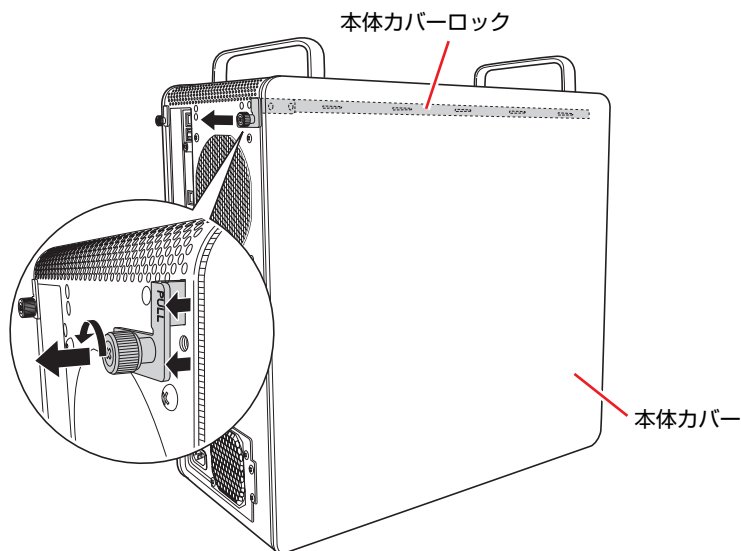
▶ 本体カバーの取り外し・取り付け

本機の内部に装置を装着する場合は、本体カバーを外してください。

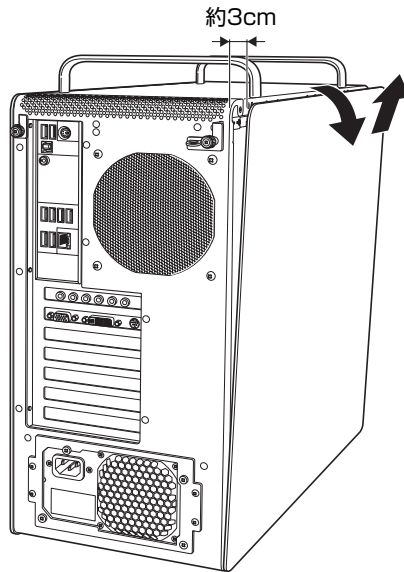
取り外し

本体カバーの取り外し方法は次のとおりです。ここでは、本体左側面の本体カバーを取り外す方法を説明します。本体右側面の本体カバーも、手順は同様です。

- 1** コンピューター本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピューター本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本体背面右側のネジ（1本）を緩めてから、ネジごと本体カバーロックを引きます。
本体カバーのロックが解除されます。



4 本体カバー上側を約3cm開いて、上に引き上げます。



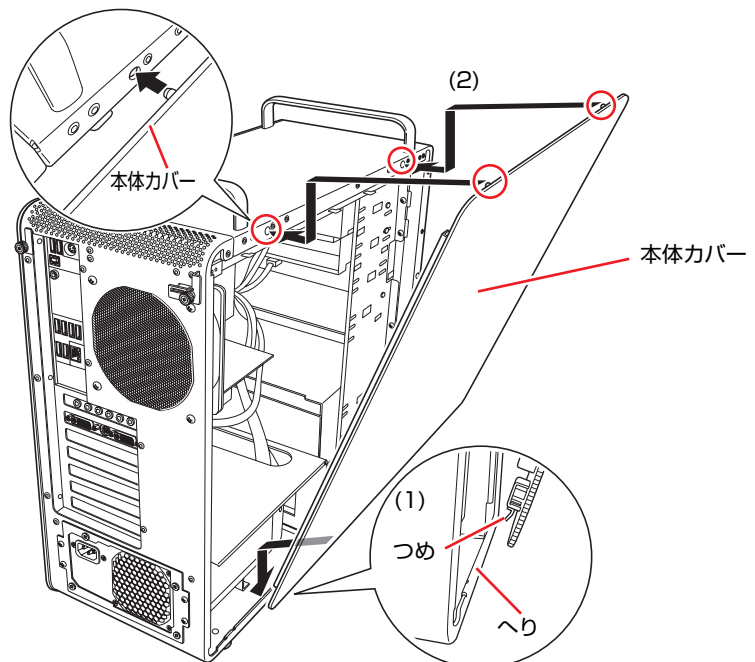
3

取り付け

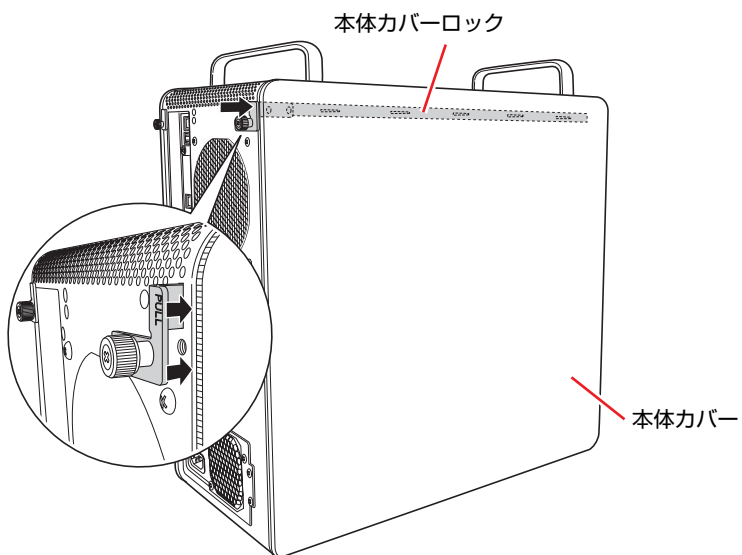
本体カバーの取り付け方法は次のとおりです。ここでは、本体左側面の本体カバーを取り付ける方法を説明します。本体右側面の本体カバーも、手順は同様です。

1 本体カバーを本体に合わせます。

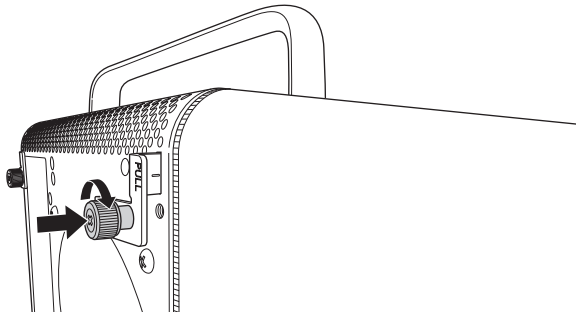
- (1) 本体カバーの下側のつめの端をコンピューター下側のへの端に合わせ、はめ込みます。
- (2) 本体カバーの上側の突起（2箇所）をコンピューター上側の穴（2箇所）に差し込みます。



- 2** 本体背面右側の本体カバーロックを押し込みます。
本体カバーがロックされます。



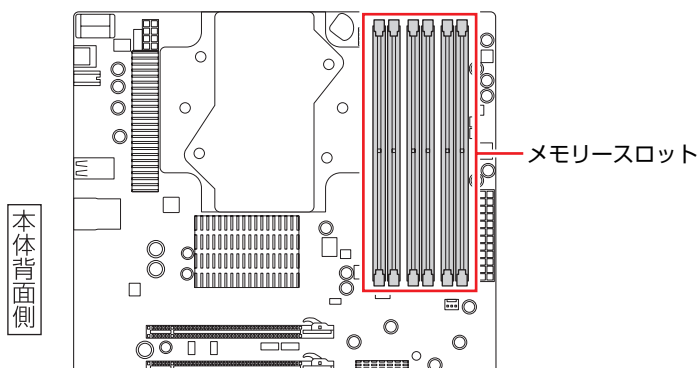
- 3** 本体背面右側のネジ（1本）を押しながら締めます。



メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、増設・交換方法について説明します。
本機にはメモリースロットが6つあり、メモリーを増設・交換することにより
拡張が可能です。

マザーボード上のメモリースロットの位置は、次のとおりです。



3

▶メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC3-8500 DIMM (DDR3-1066 SDRAM使用)
- メモリー容量 1GB、2GB
- Non ECC
- 240ピン
- CL=7



Windows Vista 32ビット版の場合、本機で合計 3GB を超えるメモリーを搭載しても、システム上利用できるメモリーの最大容量は約 3GB です。

最新メモリー情報

今後、新しいメモリーを取り扱う場合があります。
本機で使用可能な最新のメモリーは、当社ホームページでご確認ください。
ホームページのアドレスは、次のとおりです。

<http://shop.epson.jp/>

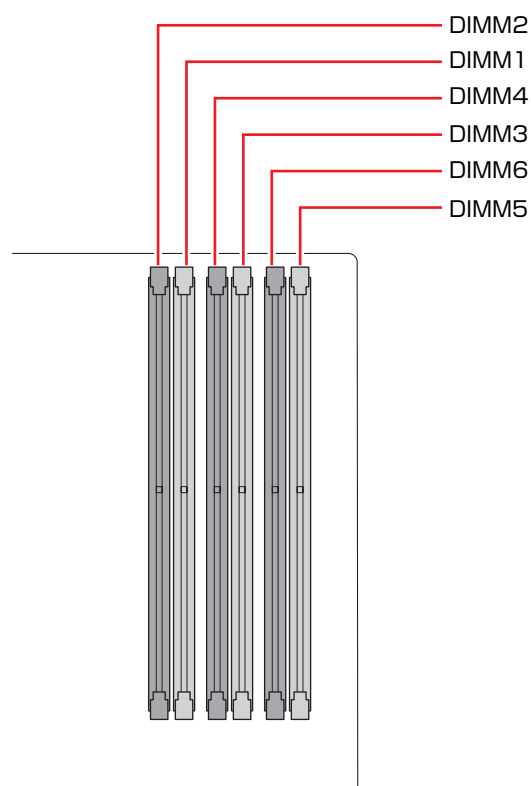
▶メモリー装着の組み合わせ

本機はトリプルチャネルに対応しているため、同一容量のメモリーを3枚1組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。


トリプルチャネルで動作させる場合は、次の組み合わせで装着してください。

順位	メモリースロットの組み合わせ
1	DIMM1+DIMM3+DIMM5
2	DIMM2+DIMM4+DIMM6

メモリースロットの名称は次のとおりです。




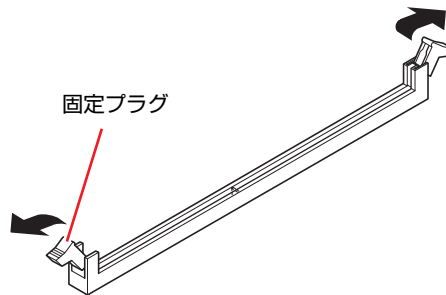
▶メモリーの取り付け・取り外し

作業を始める前に  p.119 「作業時の注意」を必ずお読みください。
作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

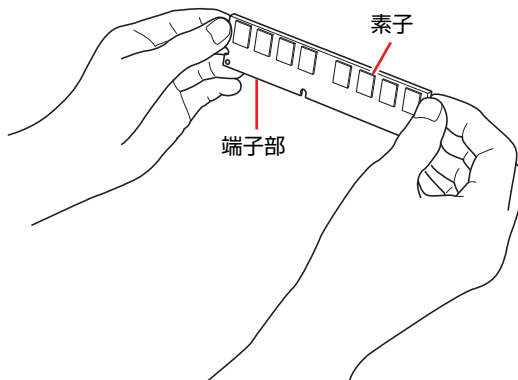
取り付け

メモリーの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** コンピューター本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで、10分以上放置してください。
- 2** コンピューター本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本体左側の本体カバーを取り外します。
 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4** メモリスロットの固定プラグを開きます。

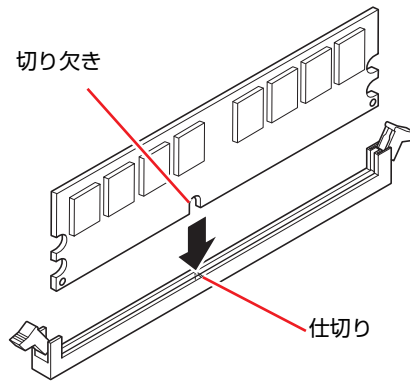


- 5** メモリーを静電防止袋から取り出します。
メモリーの端子部や素子に触れないように注意します。



6 メモリースロットにメモリーを差し込みます。

(1) メモリーの切り欠きをメモリースロット内の仕切りに合わせます。

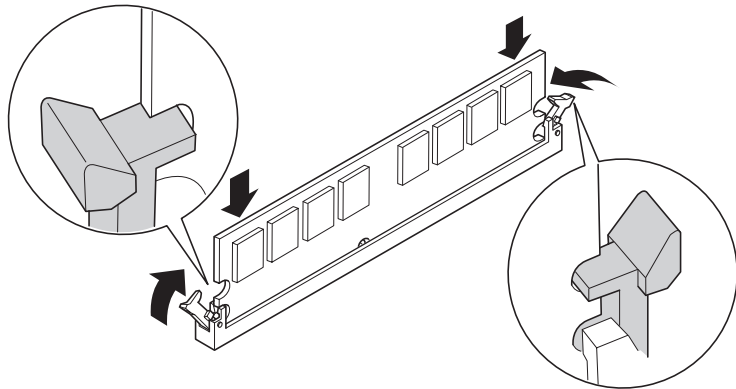


メモリーの切り欠きとメモリースロット内の仕切りは、確実に合わせてください。

メモリーの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。

(2) メモリーを押し込むと、カチッと自動的に固定プラグが閉じてメモリーが固定されます。


メモリースロット両端の固定プラグが確実に閉じて、メモリーが固定されたことを必ず確認してください。




固定プラグが確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。


再度、メモリーの向きを確認し、固定プラグが確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。

7 本体カバーを取り付けます。

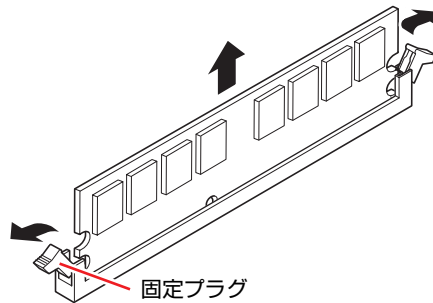
 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」

- 8 コンピューターを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 9 コンピューターの電源を入れて、メモリーの容量を確認します。
 p.127 「メモリーの増設・交換後の作業」

取り外し

メモリーの取り外しは、 p.125 「取り付け」の手順4～6を次の手順に読み替えて行ってください。



- 1 メモリーの両端を固定している固定プラグを開きます。



- 2 メモリーが外れたら、静かに取り外します。
静電気防止袋に入れて保管してください。
- 3 固定プラグを閉じておきます。

▶メモリーの増設・交換後の作業

メモリーの増設・交換をしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリーの容量を確認します。
メモリー容量の確認方法は次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を入れたら、すぐにキーボードの **[Delete]** を「トン、トン、トン…」と連続的に押して「BIOS Setupユーティリティー」を実行します。
 p.149 「BIOS Setupユーティリティーの操作」
- 2 「System Information」メニュー画面－「System Memory」－「System Memory Size」に表示されている総メモリー容量を確認します。
- 3 **[F10]** を押してBIOS Setupユーティリティーを終了します。
 p.153 「BIOS Setupユーティリティーの終了」

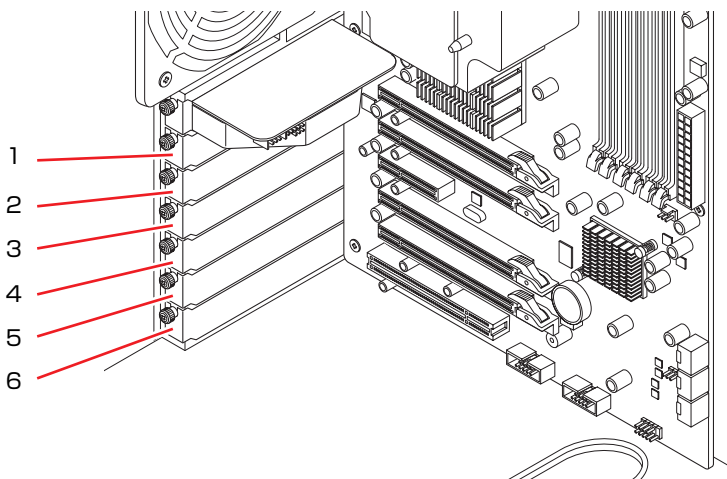
手順2で総メモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、正しく取り付けなおしてください。

拡張ボードの装着

拡張スロットの仕様と、拡張ボードの取り付け・取り外し方法について説明します。

▶ 拡張スロットの仕様

本機には拡張スロットが6つあります。各スロットの仕様は次のとおりです。



スロット番号	コネクタ仕様	装着可能な拡張ボードサイズ
1	PCI Express x16	ボード長312mmまで
2	PCI Express x8	ボード長312mmまで
3	PCI Express x4	ボード長312mmまで
4	PCI Express x16	ボード長312mmまで
5	PCI Express x8	ボード長240mmまで
6	PCI	ボード長240mmまで




制限

- PCI Express x8のスロットに拡張ボードが装着されている場合、PCI Express x16のスロットに装着されている拡張ボードはPCI Express x8の動作になります。
- 拡張ボードの形状によっては、拡張スロットに装着できない場合があります。

▶ 拡張ボードの取り付け・取り外し



拡張スロットには機器の性能を維持するため鋭いエッジがあります。手を傷つけないように作業してください。


作業を始める前に  p.119 「作業時の注意」と「拡張ボードに添付のマニュアル」を必ずお読みください。

作業を行う場合は、必要に応じて本体を横置きにしても構いません。



コンピューター内部のコネクターとの接続について


拡張ボードによっては、コンピューター内部のコネクターとの接続が必要な場合があります。

 拡張ボードに添付のマニュアル

3

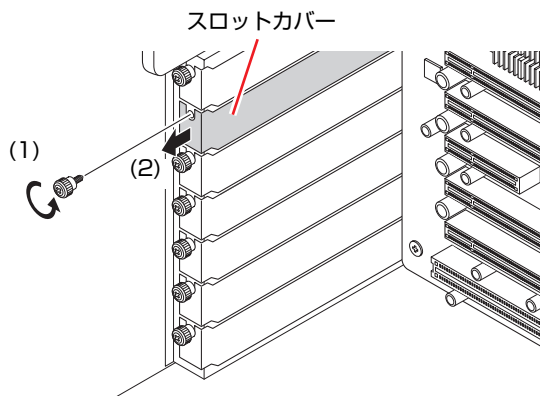
取り付け

拡張ボードの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** コンピューター本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピューター本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本体左側の本体カバーを取り外します。
 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」

4 拡張ボードを装着するスロットの-slotカバーを外します。

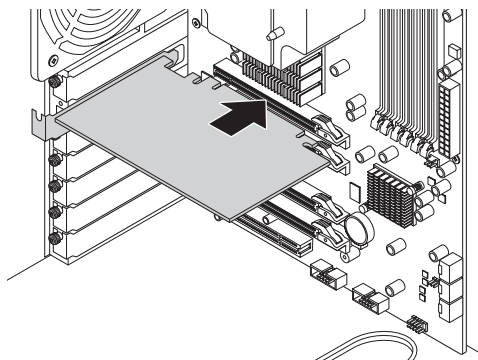
- (1) スロットカバーを固定しているネジを外します。
- (2) スロットカバーを手前に引き抜きます。



外したスロットカバーは、大切に保管してください。拡張ボードを外したあと、別の拡張ボードを装着しない場合は、本体内部にホコリなどが入らないように、再びスロットカバーを装着します。

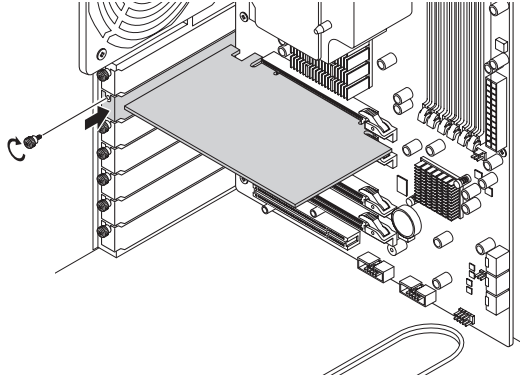
5 拡張ボードを取り付けます。


拡張ボードの端子部を、コネクタに軽く触れる程度に差し込みます。コネクタに無理な力がかかっていることを確認して、ゆっくり押し込みます。




6 拡張ボードをネジで固定します。

拡張ボードによっては、コンピューター内部のコネクターとの接続が必要な場合があります。詳しくは、拡張ボードに添付のマニュアルをご覧ください。


**7** 本体カバーを取り付けます。

 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」

8 コンピューターを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

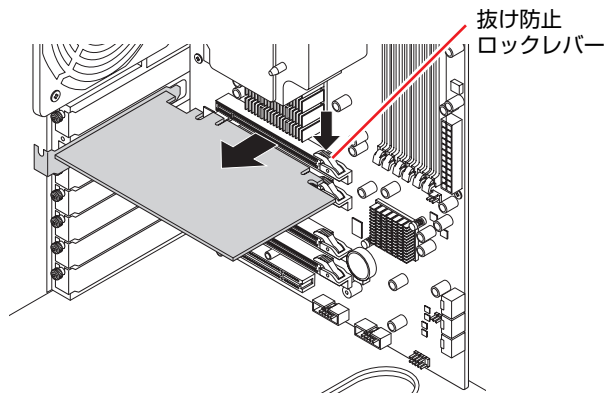
続いて  p.132 「拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

拡張ボードの取り外しは、 p.129 「取り付け」の手順5～6を、次の手順に読み替えて行ってください。

1 拡張ボードを固定しているネジを外します。**2** 拡張ボードを引き抜きます。

PCI Express x16またはPCI Express x8の場合は、抜け防止ロックレバーを押しながら、拡張ボードを引き抜きます。

**3** 拡張ボードを取り外したスロットに別の拡張ボードを装着しないときは、スロットカバーを取り付けておきます。

▶ 拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業

拡張ボードの取り付け・取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

<ビデオボードの場合>

ビデオボードの取り付け・取り外しを行った場合は、BIOSなどの設定は必要ありませんが、ボードによってはドライバーのインストール、アンインストールが必要です。詳しくは、ボードに添付のマニュアルをご覧ください。

<サウンドボードの場合>

サウンドボードの取り付け・取り外しを行った場合は、「BIOS Setupユーティリティ」の設定値を次のように変更してください。

「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「OnBoardDevice Configuration」－「HDA Controller」

ボード	マザーボード上のサウンド機能
取り付けした場合	Disabled（無効）
取り外した場合	Enabled（有効）

p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」

ボードによってはドライバーのインストール、アンインストールが必要です。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

<ネットワークボードの場合（無線LANボードを除く）>

ネットワークボードの取り付け・取り外しを行った場合は、「BIOS Setupユーティリティ」の設定値を次のように変更してください。

「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「OnBoardDevice Configuration」－「Broadcom5786 Lan Controller」

ボード	マザーボード上のネットワーク機能
取り付けした場合	Disabled（無効）
取り外した場合	Enabled（有効）

p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」

ボードによってはドライバーのインストール、アンインストールが必要です。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

<その他のボードの場合>

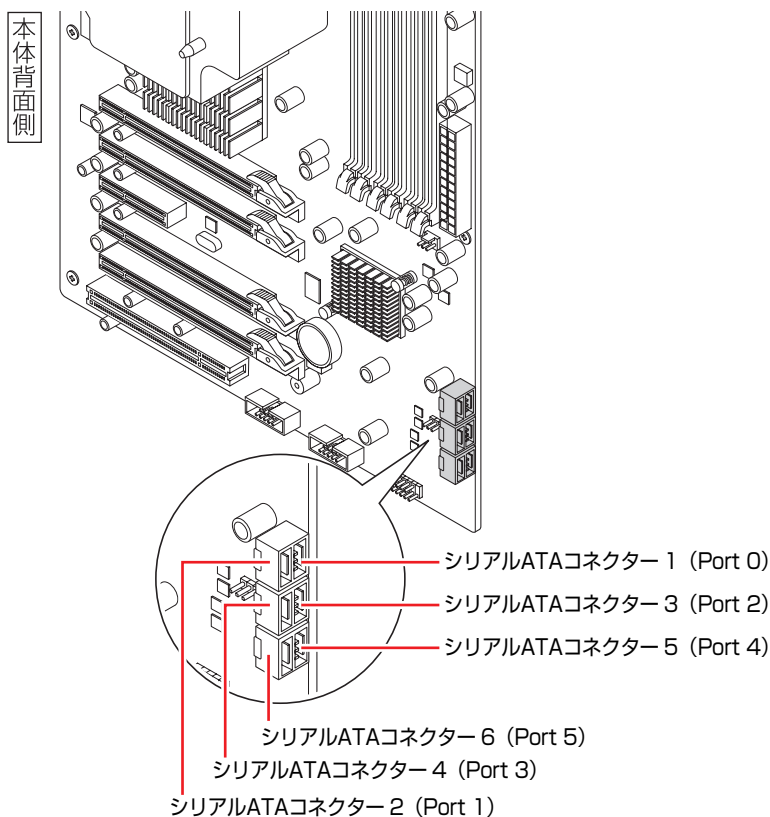
拡張ボードによっては作業が必要な場合があります。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

ドライブ装置とコネクタの接続

ここでは、マザーボード上のシリアルATAコネクタの仕様とドライブ装置の接続方法について説明します。

▶マザーボード上のシリアルATAコネクタの仕様

マザーボード上のシリアルATAコネクタの位置は次のとおりです。



3

接続できる装置と順位

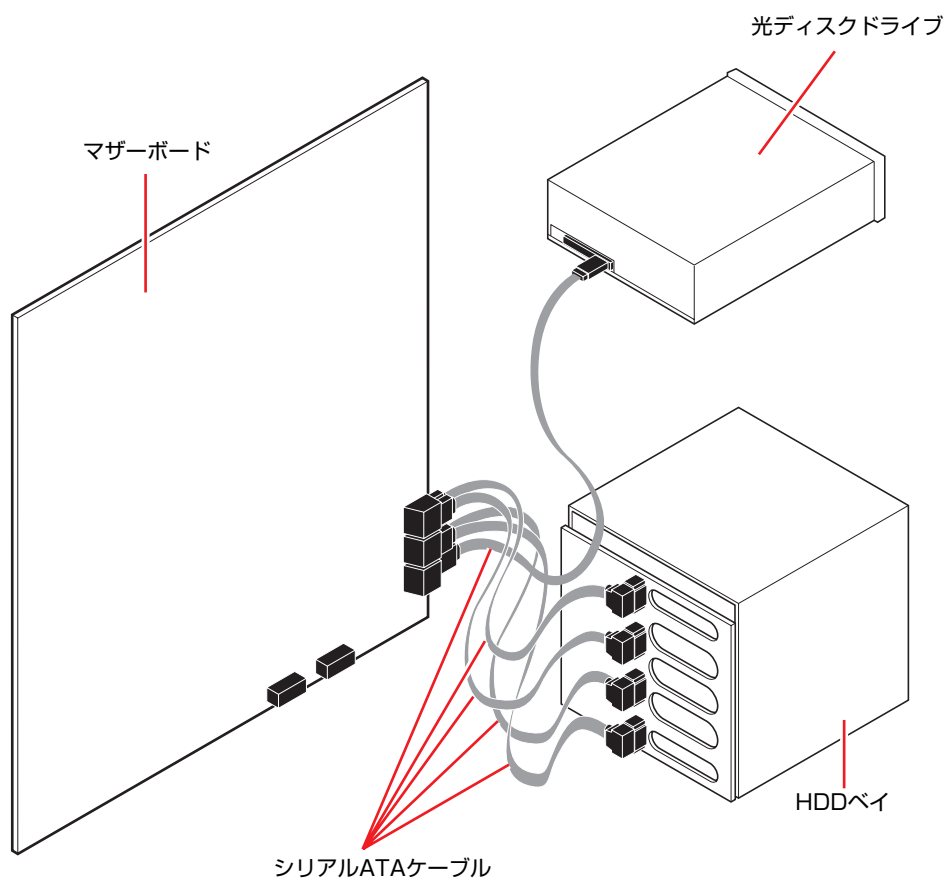
マザーボード上のシリアルATAコネクタには、シリアルATA仕様のHDDを4台と光ディスクドライブを2台接続できます。コネクタの優先順位は、次のとおりです。

コネクタ	Port	順位	接続できる装置
シリアルATAコネクタ 1	Port 0	1	HDD
シリアルATAコネクタ 2	Port 1	2	
シリアルATAコネクタ 3	Port 2	3	
シリアルATAコネクタ 4	Port 3	4	
シリアルATAコネクタ 5	Port 4	1	光ディスクドライブ
シリアルATAコネクタ 6	Port 5	2	

▶ ドライブ装置の接続例

マザーボードとの接続

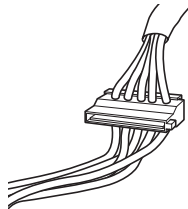
ドライブ装置とマザーボードを接続する方法は、次のとおりです。
ドライブ装置を増設または交換する際には、ドライブ装置に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。



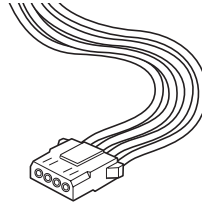
周辺機器用電源ケーブル

電源ユニットには、ドライブベイに装着する装置に電源を供給するための、周辺機器用電源ケーブルが付いています。周辺機器用電源ケーブルの各コネクタの形状と、接続するドライブ装置は次のとおりです。

HDDベイの電源ケーブルや光ディスクドライブには、購入時に接続されています。



シリアルATA光ディスク
ドライブなど



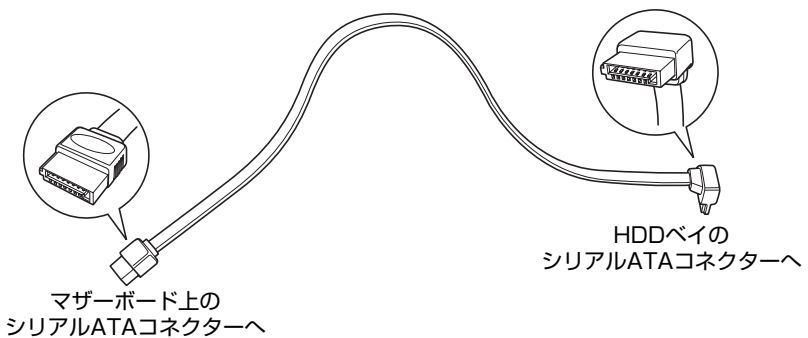
HDDベイなど

シリアルATAケーブル

HDDベイと光ディスクドライブは、マザーボード上のシリアルATAコネクタに「シリアルATAケーブル」で接続します。

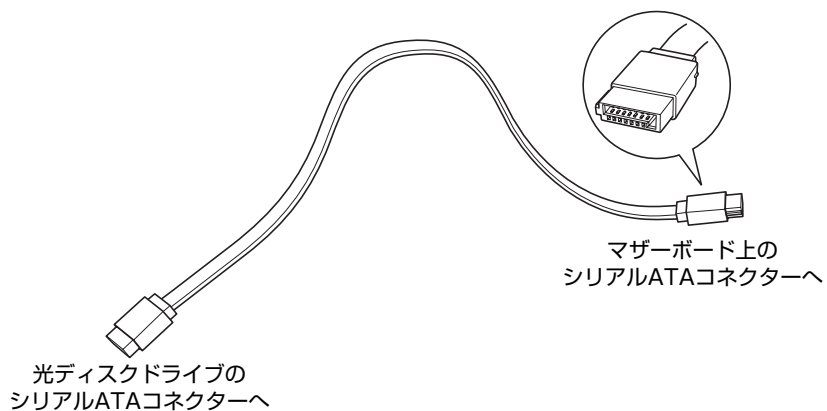
● HDDベイ用シリアルATAケーブル

マザーボードのシリアルATAコネクタ1～4に接続するケーブルは次のとおりです。ケーブル両端の形状と各コネクタの向きを確認して接続してください。HDDベイのシリアルATAコネクタは、4つとも購入時に接続されています。



● 光ディスクドライブ用シリアルATAケーブル

マザーボードのシリアルATAコネクタ5～6に接続するケーブルは次のとおりです。光ディスクドライブとマザーボード上のシリアルATAコネクタへ接続します。




5.25型ドライブの装着

5.25型ドライブ（光ディスクドライブなど）の取り付け・取り外し方法について説明します。

基本的に、上2つのベイへは光ディスクドライブを取り付けます。そのほかの装置は、3番目のベイへ取り付けてください。

▶5.25型ドライブの取り付け・取り外し

作業を始める前に  p.119 「作業時の注意」と、「機器に添付のマニュアル」を必ずお読みください。

作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。


本機には5.25型ドライブ増設用のネジとケーブルは添付されていません。

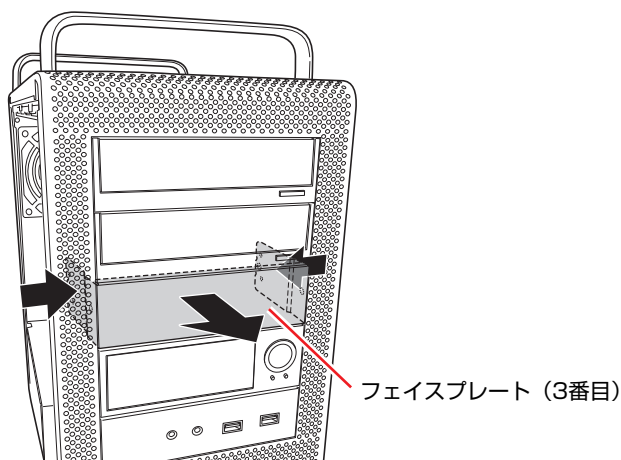
ネジ、ケーブルは当社から購入することができます。『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧になり、「カスタマーサービスセンター」までご連絡ください。

3

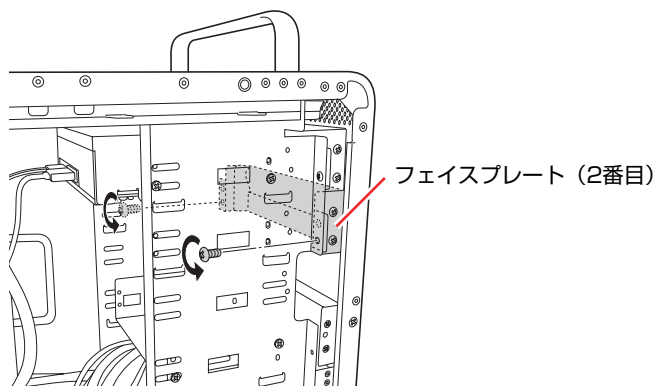
取り付け

5.25型ドライブの取り付け方法は次のとおりです。ここでは、2台目の光ディスクドライブを取り付ける方法を説明します。

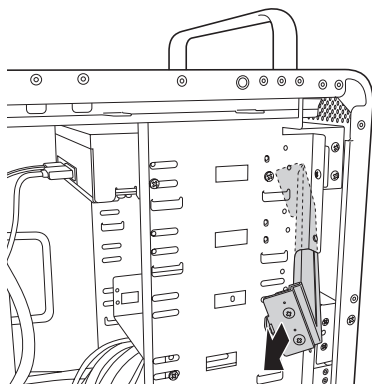
- 1** コンピューター本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピューター本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 左右の本体カバーを取り外します。
 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4** 3番目のフェイスプレートの左右を押しながら、本体前面側へ外します。



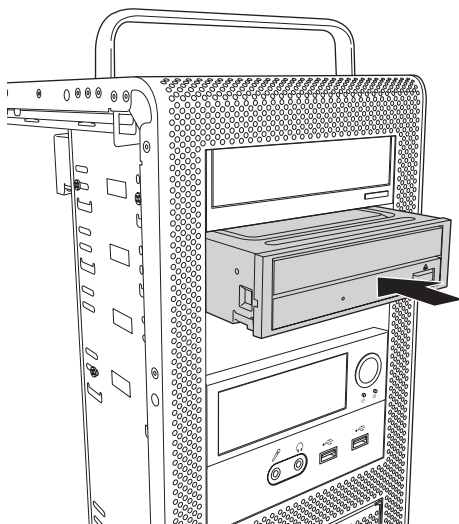
- 5** 2番目のフェイスプレートの、左右のネジ（各1本）を外します。



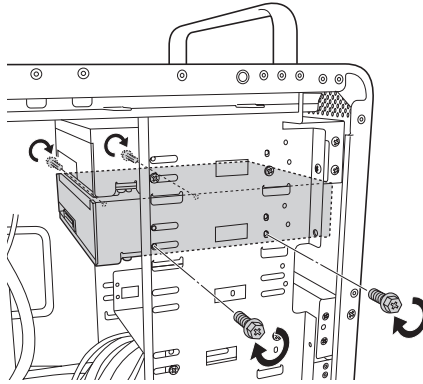
- 6** 2番目のフェイスプレートを、3番目のフェイスプレートが取り付けられているベイのすき間から取り出します。



- 7** 装置を5.25型ドライブベイに押し込みます。




- 8** 装置のネジ穴をドライブキャリアのネジ穴に合わせて、左右をネジ（各2本）で固定します。

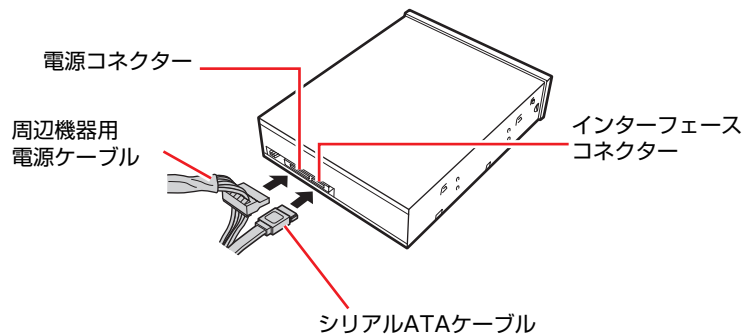


- 9** ケーブル類を接続します。

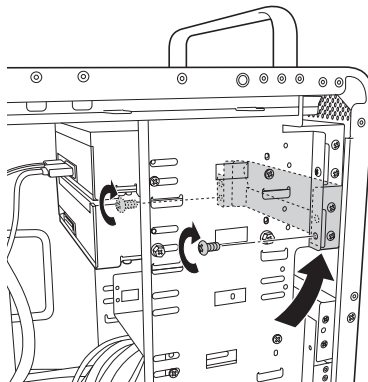
(1) 周辺機器用電源ケーブルを電源コネクタに接続します。

(2) シリアルATAケーブルをドライブ装置のインターフェースコネクタとマザーボード上のシリアルATAコネクタに接続します。

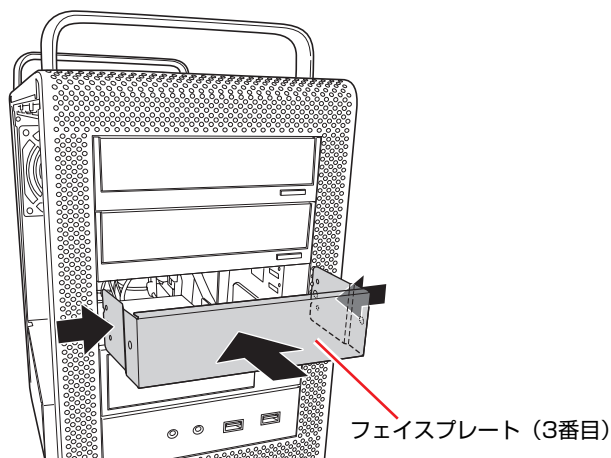
マザーボード上のコネクタ位置は  p.133「ドライブ装置とコネクタの接続」で確認してください。





- 10** 3番目のベイのすき間から2番目のフェイスプレートを入れてセットし、左右をネジ（各1本）で固定します。




- 11** 3番目のフェイスプレートの左右を押しながら本体前面より入れ、5.25型ドライブベイの内側にはめ込みます。



- 12** 左右の本体カバーを取り付けます。
 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 13** コンピューターを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて  p.140 「5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

取り外し

5.25型ドライブの取り外しは、 p.137 「取り付け」の手順7～9を、次の手順に読み替えて行ってください。

- 1** 取り外す装置に接続しているケーブル類を外します。
- 2** 装置を固定している左右のネジ（各2本）を外します。
- 3** 装置を本体前面側から引き抜きます。

▶5.25型ドライブの取り付け・取り外し後の作業

5.25型ドライブの取り付け・取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

<光ディスクドライブを取り付けた場合>


光ディスクドライブによっては、ライティングソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、光ディスクドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

このほか、5.25型ドライブによっては作業が必要な場合があります。詳しくは、ドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

HDDの装着

HDDの取り付け・取り外し方法について説明します。

▶HDDの取り付け・取り外し

作業を始める前に  p.119 「作業時の注意」と、「機器に添付のマニュアル」を必ずお読みください。

HDDの取り付け・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます（RAID構成時を除く）。

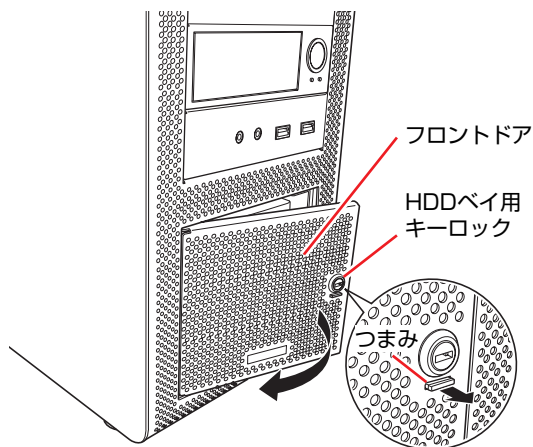


RAID を構成している場合は、本機の電源が入っている状態での取り付け・取り外しを行うことはできません。本機の電源を切ってから取り付け・取り外しを行ってください。

取り付け

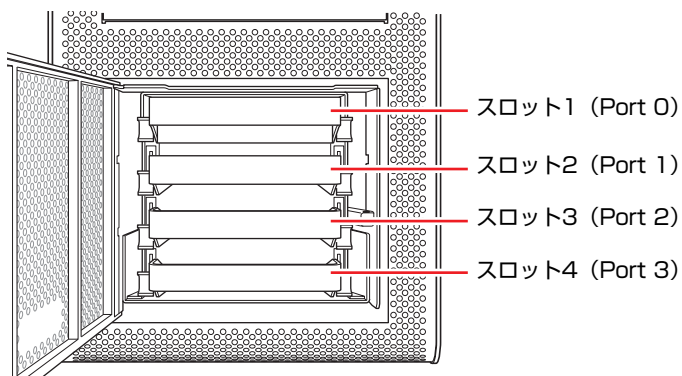
HDDの取り付け方法は次のとおりです。

- 1 RAIDを構成している場合は、次の作業を行います。**
 - (1) コンピューター本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
 - (2) コンピューター本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 2 HDDベイ用キーロックに鍵をかけている場合は、鍵を外します。**
- 3 HDDベイのフロントドアを開きます。**
フロントドアのつまみを引きながら開いてください。



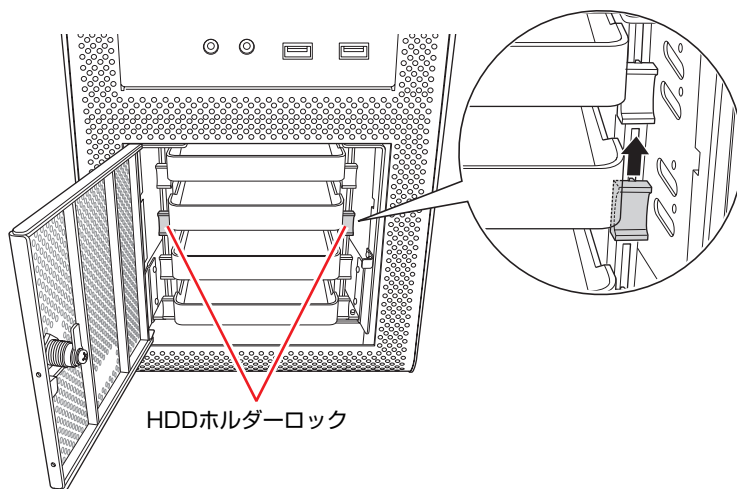
4 HDDの位置を確認します。

HDDを取り付けるときは、スロット1（上側）から順に取り付けてください。

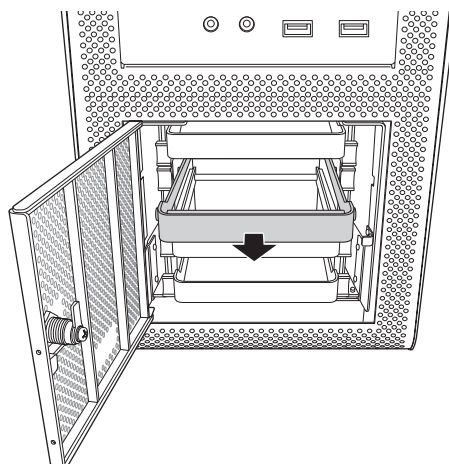


5 HDDホルダーをHDDベイから取り外します。

(1) HDDを取り付けるドライブキャリアの、両側のHDDホルダーロックを上げて外します。

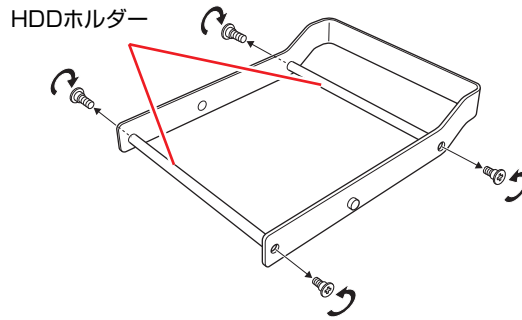


(2) HDDホルダーを引き出します。

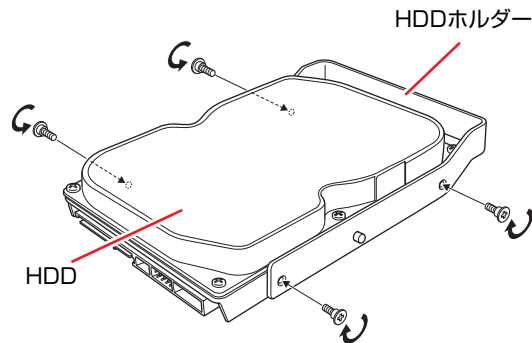


6 HDDをHDDホルダーに取り付けます。

- (1) HDDホルダーのネジ（4本）を外し、ネジ留め棒（2本）を取り外します。
取り外したネジ留め棒は大切に保管してください。
購入時にHDDが取り付けられていたHDDホルダーには、ネジ留め棒はありません。

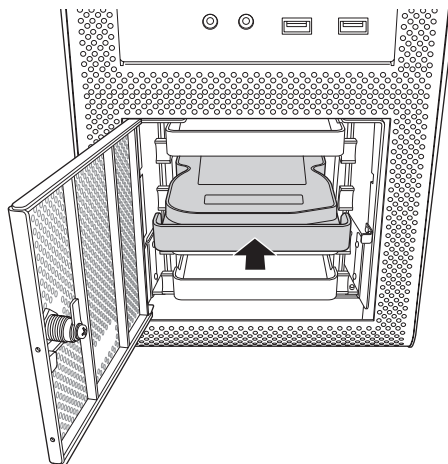


- (2) HDDホルダーにHDDをセットし、HDDホルダーとHDDをネジ（4本）で固定します。



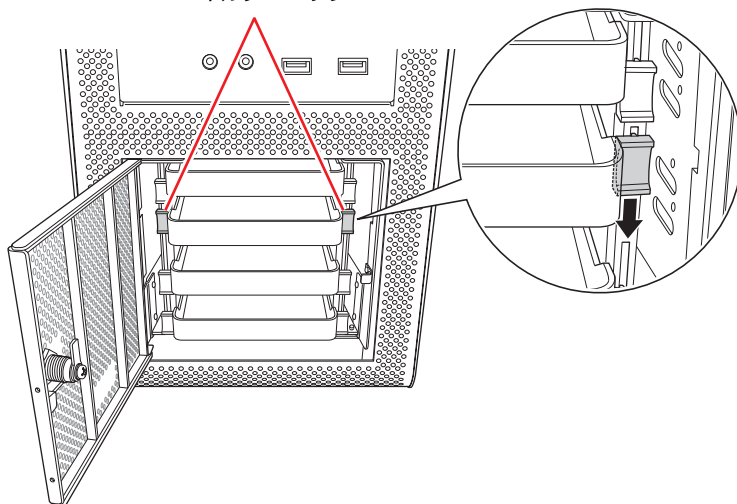
7 HDDをHDDベイに取り付けます。

- (1) HDDをHDDベイに入れます。
HDDを奥のコネクターまでしっかり押し込みます。

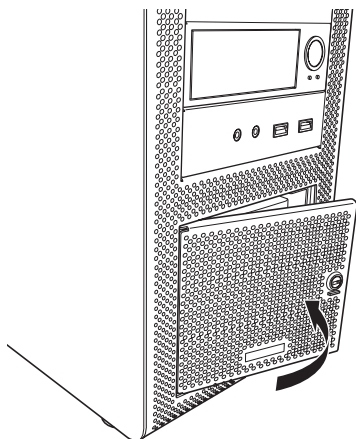


(2) 両側のHDDホルダーロックを下げてロックします。

HDDホルダーロック




8 HDDベイのフロントドアを閉じます。




9 必要に応じて、HDDベイ用キーロックに鍵をかけます。

10 RAIDを構成している場合は、コンピューターを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて  p.146 「HDDの取り付け後の作業」を行います。

取り外し

HDDの取り外しは、 p.141 「取り付け」の手順4～7を次の手順に読み替えて行ってください。




制限

RAID を構成している HDD を取り外す場合は、RAID を削除してから取り外してください。ただし、RAID 構成時に破損した HDD を交換する場合は、RAID の削除は不要です。

 p.72 「RAID を削除する」

1 Windows上でHDDの取り外し作業を行います。

RAIDを構成している場合は、この作業は必要ありません。

WindowsがインストールされているHDDを取り外す場合は、Windows上からの取り外しはできません。Windowsを終了し、 p.141 「取り付け」手順1を行ってから手順2に進んでください。

(1) 開いているファイルを閉じます。

ファイルを閉じないと、終了処理ができません。

(2) 通知領域の「取り外し」アイコンをクリックします。



<取り外しアイコン>


(3) 表示されたメニューから「(取り外したいHDD) を安全に取り外します」を選択します。

(4) 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

2 HDDをHDDベイから取り外します。

(1) HDDホルダーのロックを上げて外します。

(2) HDDを引き出します。

 p.141 「取り付け」手順5

3 HDDホルダーからHDDを取り外します。

(1) HDDホルダーとHDDを固定しているネジ（4本）を外します。

(2) HDDをHDDホルダーから取り外します。

4 取り外した HDD スロットに別の HDD を取り付けないときは、HDD ホルダーをHDDベイに戻しておきます。

購入時にHDDが取り付けられていたHDDホルダーには、ネジ留め棒はありません。その場合は、HDDホルダーを大切に保管してください。


(1) HDDを固定していたネジ（4本）で、HDDホルダーにネジ留め棒（2本）を取り付けます。

(2) HDDホルダーをHDDベイに戻し、HDDホルダーロックを下げてもロックします。


▶HDDの取り付け後の作業

HDDの取り付けをしたら、次の作業を行ってください。


<HDDを取り付けた場合>

 p.232 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧になり、ドライブの作成を行ってください。

<新しくRAIDを作成する場合>

 p.69 「RAIDの構成・削除・修復」をご覧になり、RAIDの作成を行ってください。

<RAID構成時に破損したHDDを取り替えた場合>

 p.69 「RAIDの構成・削除・修復」 をご覧になり、RAIDの再構成またはRAIDの修復を行ってください。

第4章 BIOSの設定

コンピューターの基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更する方法について説明します。

「BIOSの設定を始める前に」	148
「BIOS Setupユーティリティーの操作」	149
「BIOS Setupユーティリティーの設定項目」	158

BIOSの設定を始める前に



当社製以外の BIOS を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対に行わないでください。

BIOSは、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上にROMとして搭載されています。

BIOSの設定は「BIOS Setupユーティリティー」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。BIOSの設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効/無効にする場合

BIOSの設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

BIOS Setupユーティリティーで変更した内容はCMOS RAMと呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。

参考

リチウム電池の寿命

BIOS Setupユーティリティーの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約3年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。


 p.237 「リチウム電池の交換」

動作が不安定になったら


設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、次の方法で設定値を戻すことができます。

- 購入時の設定と変更後の設定をあらかじめ記録しておき、手動で戻す。

万一来に備え、設定値を記録しておくことをおすすめします。

 p.158 「BIOS Setupユーティリティーの設定項目」

- 初期値や、前回保存した設定値に戻す。

 p.153 「設定値を元に戻す」

BIOS Setupユーティリティの操作

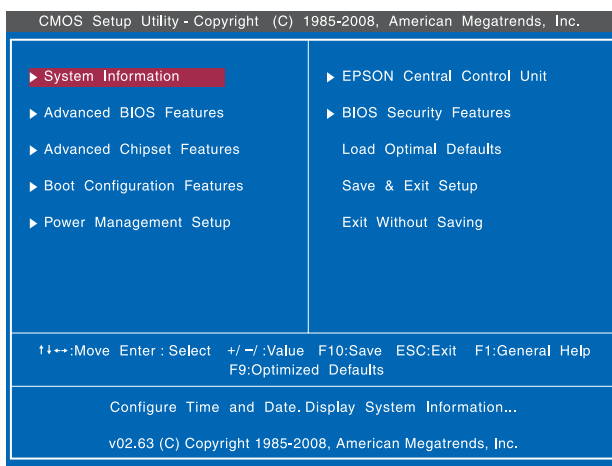
ここでは、「BIOS Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- 起動（Boot）デバイスの順番を変更する

▶ BIOS Setupユーティリティの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **Delete** の位置を確認してください。
手順2ではすばやく **Delete** を押す必要があります。

- 1 本機の電源を入れます。**
すでにWindowsが起動している場合は再起動します。
- 2 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐにキーボードの **Delete** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。**
Windowsが起動してしまった場合は、再起動して手順2をもう1度実行してください。
- 3 「BIOS Setupユーティリティ」が起動してメニュー画面が表示されます。**




<BIOS Setupユーティリティ画面(イメージ)>

仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合は、本機の電源を入れたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

CMOS Settings Wrong
Press F1 to Resume または Press F1 to Run SETUP

このメッセージが表示されたら **[F1]** を押してBIOS Setupユーティリティを起動します。通常は、そのまま「Save & Exit Setup」を実行してBIOS Setupユーティリティを終了します。

 p.153 「BIOS Setupユーティリティの終了」

▶ BIOS Setupユーティリティの操作





「BIOS Setupユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

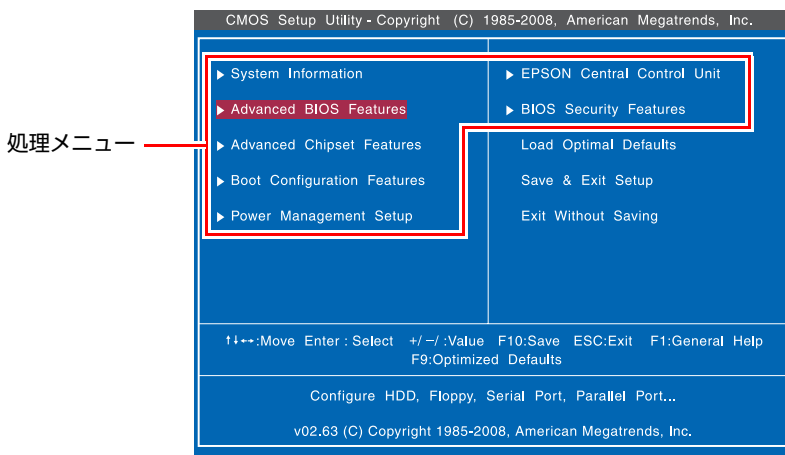
操作方法

ここでは、BIOS Setupユーティリティのメニューの中にある項目を変更する方法について説明します。操作は、キーボードで行います。

BIOS Setupユーティリティの操作方法は次のとおりです。

1 処理メニューで設定を変更したい項目のあるメニューに移動します。

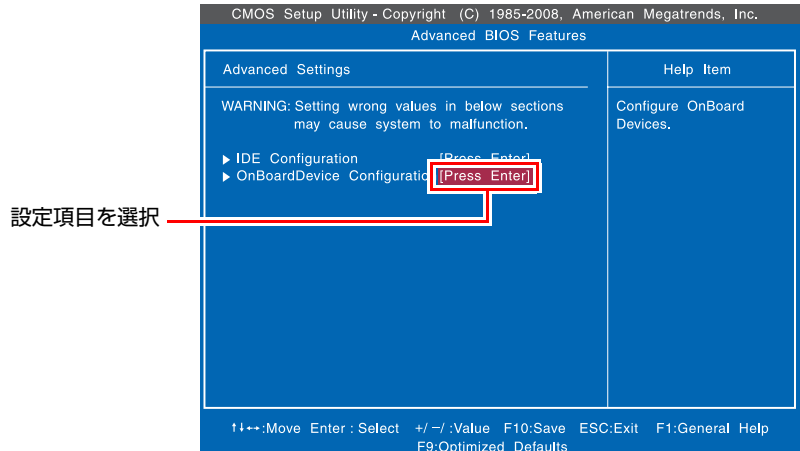
    でメニュー間を移動します。



<メニュー画面 (イメージ) >

2 選択したメニュー画面が表示されたら、設定値を変更したい項目まで移動します。

↓ ↑ で設定値を変更したい項目まで移動します。

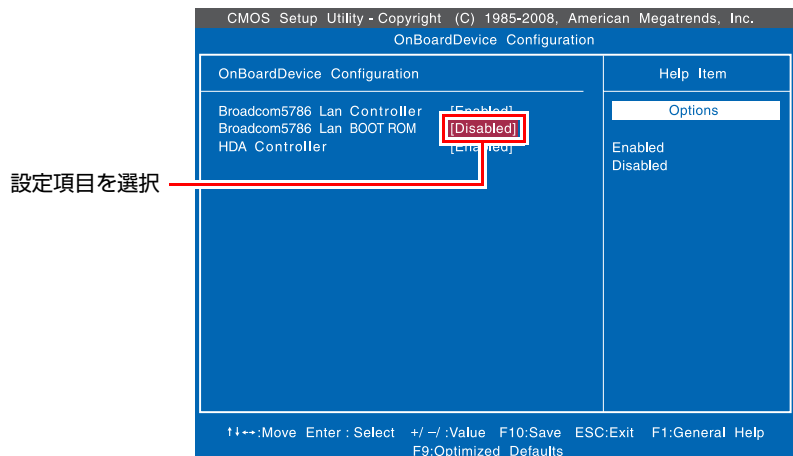


<メニュー画面 (イメージ) >

<▶のある項目の場合>

▶のある項目の場合、←を押すとサブメニュー画面が表示されます。

↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

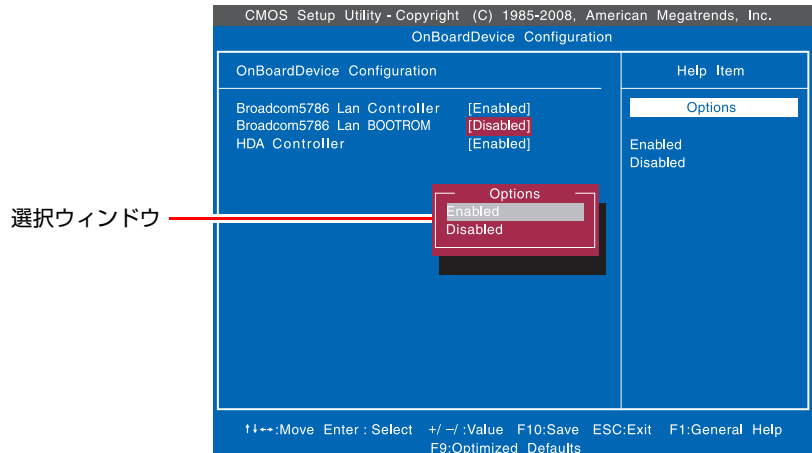


<サブメニュー画面 (イメージ) >

サブメニュー画面から戻るには [Esc] を押します。

3 設定値を変更します。

◀を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓で値を選択し、◀で決定します。



キー操作

BIOS画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
Esc	<ul style="list-style-type: none"> ● 変更した設定値を破棄して終了します。 ● サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
←, →	処理メニューを選択します。
↑, ↓	<ul style="list-style-type: none"> ● 処理メニューを選択します。 ● 設定を変更する項目を選択します。
-, +	項目の値を変更します。
◀	<ul style="list-style-type: none"> ● メニュー画面中の▶のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。 ● 選択項目の選択ウィンドウを表示します。 ● 設定値を選択します。
F9	全設定項目の値を初期値に戻します。
F10	変更した設定値を保存して終了します。

▶ BIOS Setupユーティリティの終了

「BIOS Setupユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save & Exit Setup (変更した設定値を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **F10** を押す、またはメニュー画面で「Save & Exit Setup」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save configuration changes and exit setup? [Ok] [Cancel]

- 2 [Ok] を選択し、**↵** を押します。

Exit Without Saving (変更した設定値を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **Esc** を押す、またはメニュー画面で「Exit Without Saving」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard changes and exit setup? [Ok] [Cancel]
--

- 2 [Ok] を選択し、**↵** を押します。

▶ 設定値を元に戻す

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一本機の動作が不安定になってしまった場合などには、BIOS Setupユーティリティの設定を初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Optimal Defaults (初期値に戻す)

BIOS Setupユーティリティの設定を初期値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 **F9** を押す、またはメニュー画面で「Load Optimal Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Load Optimal Defaults? [Ok] [Cancel]

- 2 [Ok] を選択して、**↵** を押します。

Load Optimal Defaults実行後の作業

次の場合は、Load Optimal Defaultsを実行したあとに、BIOSの設定値を設定しなおしてください。

<サウンドボードを搭載している場合>

「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「OnBoardDevice Configuration」－「HDA Controller」を「Disabled」に設定します。
マザーボード上のサウンド機能を無効にします。


<ネットワークボード（無線LANボードは除く）を搭載している場合>

「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「OnBoardDevice Configuration」－「Broadcom5786 LAN Controller」を「Disabled」に設定します。
マザーボード上のネットワーク機能を無効にします。

<RAID機能を使用している場合>

「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「IDE Configuration」－「Configure SATA#1 as」を「RAID」に設定します。

設定を行ったら、変更した内容を保存して終了します。

 p.153 「Save & Exit Setup（変更した設定値を保存し終了する）」

▶パスワードを設定する

「BIOS Security Features」メニュー画面でBIOSのパスワードを設定すると、BIOSやWindowsの起動時にパスワードを要求されるようになります。


パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき

パスワードの種類


パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password（管理者パスワード）
コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードでBIOSにログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password（ユーザーパスワード）
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードでBIOSにログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます（権限は、設定変更することができます）。


 p.156 「ユーザーパスワードの権限設定」

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法は、次のとおりです。管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードを設定できるようになります。


- 1 「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password


- 2 パスワードを入力し、 を押します。


「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

- 3 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

Confirm New Password

同じパスワードを入力しないと、「Passwords do not match!」というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で  を押すと、BIOSのメニュー画面に戻ります。この場合、手順1からやりなおしてください。

- 4 「Password installed.」というメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で  を押します。

パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」または「User Password」項目の値が「Installed」に変わります。




制限

設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、BIOSの設定変更や、設定によってはWindowsの起動ができなくなります。万一、パスワードを忘れた場合は、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

続いて、「ユーザーパスワードの権限」や「どこでパスワードを要求するか」を決めて設定します。

ユーザーパスワードの権限設定

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードでBIOSにログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。


 p.165 「BIOS Security Featuresメニュー画面」－「User Access Level」

※ 管理者パスワードが設定されていないと権限変更はできません。

権限を変更するときは、あらかじめ管理者パスワードを設定しておいてください。

パスワード入力タイミングの設定

BIOS Setupユーティリティ起動時やWindows起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。


 p.165 「BIOS Security Featuresメニュー画面」－「Password Check」

※ 管理者パスワードが設定されているか、ユーザーパスワードで「User Access Level」が「Full Access」に設定されていないと権限変更はできません。


権限を変更するときは、あらかじめ管理者パスワードを設定するか、ユーザーパスワードで「User Access Level」を「Full Access」に設定しておいてください。

管理者パスワードの削除方法


管理者パスワードの削除方法は、次のとおりです。管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードでBIOSにログオンしてください。

- 1 「Change Supervisor Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter New Password

- 2 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。


Password uninstalled.
[Ok]

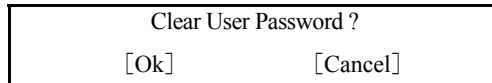
- 3 [Ok] が選択された状態で  を押します。


「Supervisor Password」の表示が「Not Installed」に変わります。
これで管理者パスワードが削除されました。

ユーザーパスワードの削除方法

ユーザーパスワードの削除方法は、次のとおりです。ユーザーパスワードを削除する場合は、管理者パスワードでBIOSにログオンしてください。

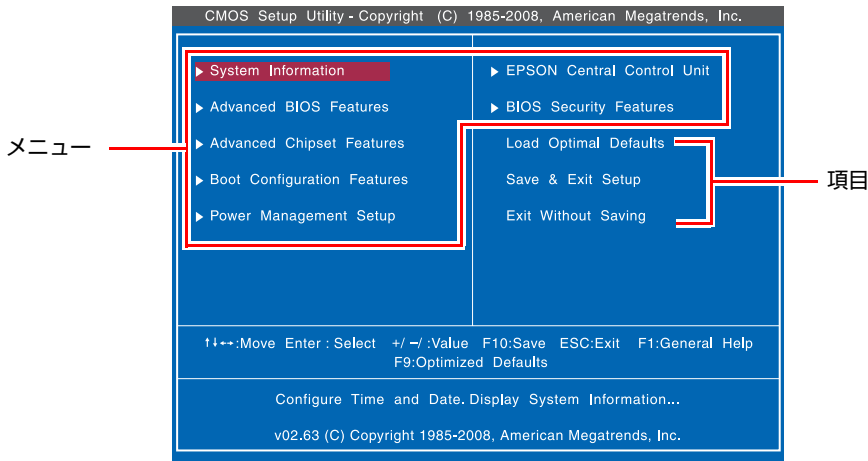
- 1 「Clear User Password」を選択して、を押すと、次の画面が表示されます。



- 2 [Ok] を選択して、を押します。
「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。
これでユーザーパスワードが削除されました。

BIOS Setupユーティリティーの設定項目

ここでは、「BIOS Setupユーティリティー」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。BIOS Setupユーティリティーのメニュー画面には、7つのメニューと3つの項目があります。



メニュー

7つのメニュー画面の内容は、次のとおりです。

- **System Informationメニュー画面**
BIOS、CPU、メモリー容量の表示や、日付、時間の設定を行います。
- **Advanced BIOS Featuresメニュー画面**
シリアルATAの設定やマザーボード上のデバイスの設定を行います。
- **Advanced Chipset Featuresメニュー画面**
チップセットに関する表示や、USBの動作の設定を行います。
- **Boot Configuration Featuresメニュー画面**
システムを起動するデバイスの設定などを行います。
- **Power Management Setupメニュー画面**
省電力機能に関する設定を行います。
- **EPSON Central Control Unitメニュー画面**
CPUに関する設定を行います。
- **BIOS Security Featuresメニュー画面**
セキュリティーに関する設定を行います。

項目

3つの項目では、BIOSの設定値を初期値に戻したり、BIOS Setupユーティリティーを終了したりします。

▶ System Informationメニュー画面

「System Information」メニュー画面では、BIOS、CPU、メモリー容量の表示や、日付、時間の設定を行います。

設定項目は次のとおりです。

____は初期値

*は項目表示のみ

System Overview	
AMIBIOS	
*BIOS Version	BIOSのバージョンを表示します。
*BIOS Build Date	BIOSのバージョンの制定日を表示します。
Processor	
*CPU name	CPUの名称を表示します。
*Speed	CPUの周波数を表示します。
*Count	CPUの数を表示します。
System Memory	
*System Memory Size	メモリーの容量を表示します。
System Time	時刻を設定します。(時間:分:秒)の順で表示されます。
System Date	日付を設定します。(曜日/月/日/年)の順で表示されます。
*MAC Address	MAC Addressを表示します。

▶ Advanced BIOS Featuresメニュー画面

「Advanced BIOS Features」メニュー画面では、シリアルATAの設定やマザーボード上のデバイスの設定を行います。

設定項目は次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ

Advanced Settings				
IDE Configuration シリアルATA装置の設定を行います。 ※表示される詳細項目は、選択するドライブにより異なります。	Configure SATA#1 as		シリアルATA HDDの動作モードを設定します。 IDE : IDE互換モードで動作します。通常は使用しません。 RAID : RAIDモードで動作します。 AHCI : シリアルATA Nativeモードで動作します。	
	AHCI Configuration ※「Configure SATA #1 as」を「AHCI」に設定すると表示されます。	AHCI Settings		
		AHCI Port0	Device	接続している装置の名称を表示します。
		AHCI Port1	Vendor	接続している装置の型番を表示します。
		AHCI Port2	Size	接続している装置の容量を表示します。
		AHCI Port3	Size	接続している装置の容量を表示します。
AHCI Port4	SATA PortX	接続している装置の仕様を設定します。Xの部分にはPort番号が入ります。 Auto : BIOSが自動的に装置の仕様を設定します。 Not Installed : 装置を使用しない場合に選択します。		
AHCI Port5	S.M.A.R.T.	初期値 [Disabled] のまま使用します。		
OnBoard Device Configuration マザーボード上のデバイスに関する設定を行います。	Broadcom5786 Lan Controller		マザーボード上のネットワーク機能を使用するかどうかを設定します。ネットワークボード使用時は、「Disabled」に設定します。 Enabled : 使用します。 Disabled : 使用しません。	
	Broadcom5786 Lan BOOTROM		リモートブート機能を使用するかどうかを設定します。 Enabled : 使用します。 Disabled : 使用しません。 「Enabled」に設定し、「Save & Exit Setup」で [Ok] を選択して再起動すると、「Boot Configuration Features」メニュー画面の「Boot Device Priority」の「4th Boot Device」に表示されます。RAID構成時は「Enabled」に設定しても使用できません。	
	HDA Controller		マザーボード上のサウンド機能を使用するかどうかを設定します。サウンドボード使用時は、「Disabled」に設定します。 Enabled : 使用します。 Disabled : 使用しません。	

▶ Advanced Chipset Featuresメニュー画面

「Advanced Chipset Features」メニュー画面では、チップセットに関する表示や、USBの動作の設定を行います。

設定項目は次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ

Advanced Chipset Settings	
*NB Revision	チップセットのリビジョンを表示します。
*Current QPI Frequency	バススピードを表示します。
USB Functions	初期値 [12 USB Ports] のままで使用します。
USB Port Configure	初期値 [6×6 USB Ports] のままで使用します。
*USB 2.0 Controller	USB2.0の転送速度で使用します。

▶ Boot Configuration Featuresメニュー画面

「Boot Configuration Features」メニュー画面では、システムを起動するデバイスの設定などを行います。設定項目は次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ


*Boot Settings		
Boot Settings Configuration	Quiet Boot	コンピューターの起動時に、EPSONロゴを表示するかどうかを設定します。 Enabled : ロゴを表示します。 Disabled : ロゴを表示しません。
Boot Device Priority システムを起動するデバイスの順番を設定します。	1st Boot Device	1番目に起動するドライブを設定します。初期値は、接続されている光ディスクドライブです。
	2nd Boot Device	2番目に起動するドライブを設定します。初期値は、接続されているHDDです。
	3rd Boot Device	3番目に起動するドライブを設定します。初期値は、接続されているリムーバブルディスクです。
	4th Boot Device	ネットワークから起動する場合に使用します。 「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「OnBoardDevice Configuration」－「Broadcom5786 Lan BOOTROM」を「Enabled」に設定してから「Save & Exit Setup」で[OK]を選択してBIOSを終了します。再度BIOSを起動すると表示されます。
Hard Disk Drives	1st Drive 2nd Drive 3rd Drive 4th Drive	HDDの型番を自動的に検出して表示します。初期値のまま使用します。大容量のリムーバブルディスクがこの項目に表示される場合があります。
Removable Drives	1st Drive 2nd Drive 3rd Drive 4th Drive	外付けの記憶装置（USB FDDなど）を接続すると型番を自動的に検出して表示します。初期値のまま使用します。
CD/DVD Drives	1st Drive 2nd Drive 3rd Drive	光ディスクドライブの型番を自動的に検出して表示します。初期値のまま使用します。
Network Drives	1st Drive 2nd Drive	ネットワークの型番を自動的に検出して表示します。初期値のまま使用します。

▶ Power Management Setupメニュー画面

「Power Management Setup」メニュー画面では、省電力機能に関する設定を行います。
設定項目は次のとおりです。

____は初期値

*は項目表示のみ

Power Management Setup	
Suspend mode	Windows上で「スリープ」にしたときの省電力の動作の設定をします。初期値 [S3 (STR)] のまま使用します。
USB Device Wakeup From S3	USBキーボードを操作してスリープ状態から復帰するかどうかを設定します。 Enabled : 復帰します。 Disabled : 復帰しません。
Resume On PME#	電源切断時、PCI Express接続のネットワークから起動 (Wakeup On Lan) するかどうかを設定します。この機能は、Windowsを正常に終了した状態でのみ使用可能です。 Enabled : 起動します。 Disabled : 起動しません。 [Enabled] に設定した場合、Windows上でも設定が必要です。  p.93 「Wakeup On LAN」
Resume by RTC	コンピューターを指定した時間に起動させるかどうかを設定します。 Enabled : 起動します。 Disabled : 起動しません。
RTC Alarm Date (Days)	「Resume by RTC」を「Enabled」に設定すると表示されます。起動させる日を設定します。
System Time	「Resume by RTC」を「Enabled」に設定すると表示されます。起動させる時間を設定します。
Power On after Power Fail	電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかどうかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピューターの同時起動を行うと、コンピューターの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 Power Off : 電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 Power On : 電源オフ時に電源が供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピューターが起動します。 Last State : コンピューターの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断されたあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピューターが起動します。コンピューターを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピューターは起動しません。

▶EPSON Central Control Unitメニュー画面

「EPSON Central Control Unit」メニュー画面では、CPUに関する設定を行います。
設定項目は次のとおりです。

___は初期値
*は項目表示のみ




EPSON Central Control Unit			
CPU Configuration 本機に搭載されているCPUに関する情報を表示します。	Configure advanced CPU settings		
	*Module Version	バージョンを表示します。	
	*Manufacturer	メーカーを表示します。	
	*CPU name	CPUの名称を表示します。	
	*Frequency	周波数を表示します。	
	*BCLK Speed	周波数のスピードを表示します。	
	*Cache L1	CPUのL1キャッシュ容量を表示します。	
	*Cache L2	CPUのL2キャッシュ容量を表示します。	
	*Cache L3	CPUのL3キャッシュ容量を表示します。	
	*Ratio Actual Value	ベースクロックに対する倍率を表示します。	
	Intel (R) Virtualization Tech	バーチャライゼーション機能の有効/無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled : 無効にします。	
	Intel (R) HT Technology	ハイパー・スレッディング機能の有効/無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled : 無効にします。	
	Intel PPM Configuration	Intel (R) SpeedStep (tm) tech	スピードステップ機能の有効/無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled : 無効にします。
		Intel (R) TurboMode tech	ターボ・モード機能の有効/無効を設定します。 Enabled : 有効にします。 Disabled : 無効にします。 ターボ・モード機能を持たないプロセッサを搭載している場合は、有効/無効の設定は反映されません。
Turbo Ratio Limit Program		「Intel (R) TurboMode tech」を「Enabled」に設定すると表示されます。各Coreの周波数の上限値を設定します。 Enabled : 設定します。 Disabled : 設定しません。	
1-Core Ratio Limit		「Turbo Ratio Limit Program」を「Enabled」に設定すると表示されます。1番目のCoreの、周波数の上限値を設定します。	
2-Core Ratio Limit		「Turbo Ratio Limit Program」を「Enabled」に設定すると表示されます。2番目のCoreの、周波数の上限値を設定します。	
3-Core Ratio Limit		「Turbo Ratio Limit Program」を「Enabled」に設定すると表示されます。3番目のCoreの、周波数の上限値を設定します。	
4-Core Ratio Limit	「Turbo Ratio Limit Program」を「Enabled」に設定すると表示されます。4番目のCoreの、周波数の上限値を設定します。		

▶ BIOS Security Featuresメニュー画面

「BIOS Security Features」メニュー画面では、セキュリティーに関する設定を行います。
設定項目は次のとおりです。

___は初期値

*は項目表示のみ

Security Settings	
*Supervisor Password/User Password	Supervisor PasswordとUser Passwordが設定されているかどうかを表示します。 Installed : パスワードが設定されています。 <u>Not Installed</u> : パスワードが設定されていません。
Change Supervisor Password	Supervisor Passwordを設定します。  p.155 「パスワードの設定方法」
User Access Level	Supervisor Passwordを設定すると表示されます。User PasswordでBIOSにログインしたときの制限を設定します。 No Access : BIOSにアクセスできません。 View Only : BIOSを見ることのみ許可されます。 Limited : 一部の設定変更のみ許可されます。 <u>Full Access</u> : Supervisorと同等の権限を許可されます。
Change User Password	Supervisor Passwordを設定すると表示されます。User Passwordを設定します。  p.155 「パスワードの設定方法」
Clear User Password	User Passwordを設定すると表示されます。 User Passwordの削除を行います。  を押すと、User Passwordの削除ウィンドウが表示されます。
Password Check	Supervisor Passwordを設定すると表示されます。アクセス制限の種類を選択します。 <u>Setup</u> : BIOSへのアクセスを制限します。BIOS起動時にパスワード入力を要求されるようになります。 Always : BIOS、システムへのアクセスを制限します。 BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求されるようになります。

▶ Load Optimal Defaults/Save & Exit Setup/Exit Without Saving

「BIOS Setupユーティリティ」のメニュー画面には、3つの項目が表示されています。3つの項目では、BIOSの設定値を初期値に戻したり、BIOS Setupユーティリティを終了したりします。設定項目は次のとおりです。

Load Optimal Defaults	BIOS Setupユーティリティの設定値を、BIOSの初期設定値に戻します。
Save & Exit Setup	変更した内容（設定値）を保存してから、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Exit Without Saving	変更した内容（設定値）を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。

▶BIOSの設定値

BIOS Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくとう便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

Advanced BIOS Featuresメニュー画面

項目			購入時の設定		変更内容				
IDE Configuration	Configure SATA#1 as		IDE	RAID	AHCI	IDE	RAID	AHCI	
	*AHCI Configuration	AHCI Port0	SATA Port0	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed
		AHCI Port1	SATA Port1	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed
		AHCI Port2	SATA Port2	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed
		AHCI Port3	SATA Port3	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed
		AHCI Port4	SATA Port4	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed
		AHCI Port5	SATA Port5	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed	Auto	Not Installed
Onboard Device Configuration	Broadcom5786 Lan Controller		Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	
	Broadcom5786 Lan BOOTROM		Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	
	HDA Controller		Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	

* 「Configure SATA#1 as」を「AHCI」に設定すると表示されます。

4

Boot Configuration Featuresメニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
Boot Settings Configuration	Quiet Boot	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled
Boot Device Priority	1st Boot Device	()	Disabled	()	Disabled
	2nd Boot Device	()	Disabled	()	Disabled
	3rd Boot Device	()	Disabled	()	Disabled
	4th Boot Device	()	Disabled	()	Disabled

Power Management Setupメニュー画面

項目	購入時の設定			変更内容		
USB Device Wakeup From S3	Enabled	Disabled		Enabled	Disabled	
Resume On PME#	Enabled	Disabled		Enabled	Disabled	
Resume by RTC	Enabled	Disabled		Enabled	Disabled	
Power On after Power Fail	Power Off	Power On	Last State	Power Off	Power On	Last State

EPSON Central Control Unitメニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容		
CPU Configuration	Intel (R) Virtualization Tech	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	
	Intel (R) HT Technology	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled	
	Intel PPM Configuration	Intel (R) SpeedStep (tm) tech	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled
		Intel (R) TurboMode tech	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled
		*1 Turbo Ratio Limit Program	Enabled	Disabled	Enabled	Disabled
		*2 1-Core Ratio Limit	()	()	()	()
		*2 2-Core Ratio Limit	()	()	()	()
		*2 3-Core Ratio Limit	()	()	()	()
*2 4-Core Ratio Limit	()	()	()	()		

*1 ターボ・モード機能を持つプロセッサを搭載している場合に、「Intel (R) TurboMode tech」を「Enabled」にすると表示されます。

*2 「Turbo Ratio Limit Program」を「Enabled」に設定すると表示されます。

BIOS Security Featuresメニュー画面

項目	購入時の設定		変更内容	
Supervisor Password/User Password	Installed	Not Installed	Installed	Not Installed
*User Access Level	No Access Limited	View Only Full Access	No Access Limited	View Only Full Access
*Password Check	Setup	Always	Setup	Always

* 「Supervisor Password」(管理者パスワード)を設定すると表示されます。

第5章 ソフトウェアの 再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

「再インストールする前に必ずお読みください」	170
「ソフトウェアの再インストールを行う」	172

再インストールする前に必ずお読みください

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に知っておいていただきたい情報について記載しています。

HDDをフォーマットして、Windowsや本体ドライバーなどをインストールしなおす作業のことを、本書では「再インストール」と記載します。

再インストールは「リカバリ」とも言います。


▶再インストールが必要な場合

再インストールは次のような場合に行います。通常は必要ありません。

- なんらかの原因でWindowsが起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合
- HDD領域の構成を変更したい場合

Windowsを修復する

なんらかの原因でWindowsが起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows回復環境」でWindowsの修復を行ってみてください。再インストールをしなくても、問題が解決する場合があります。

 p.219 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

▶重要事項


再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

当社製以外のBIOSへのアップデート禁止

当社製以外のBIOSへのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外のBIOSにアップデートすると、再インストールができなくなります。

セキュリティソフトウェアの更新サービス

本機に添付のセキュリティソフトウェア「Norton Internet Security 90日版」で、90日経過後に更新サービスの延長キーを購入して更新サービスを継続している場合、再インストールを行うと更新サービスの延長が無効になります。更新サービスの延長が無効になってしまった場合は、シマンテックストアまでお問い合わせください。

 『セキュリティソフトウェアをご使用前に』（別冊）

Webフィルタリングソフトウェアの継続利用（32ビット版のみ）

本機に添付のWebフィルタリングソフトウェア「i-フィルター 30日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windowsを再インストールすると利用期限が30日に設定されてしまいます。

この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアルIDを利用してインストールを行ってください。

詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

http://www.daj.jp/cs/ifpe/sup_dl.htm

最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業をすすめてください。

マニュアルびゅーわのバックアップ

電子マニュアル閲覧ツール「マニュアルびゅーわ」は、再インストールをすると消えてしまいます。

再インストールの前に、必ずバックアップをとってください。



p.226 「マニュアルびゅーわのバックアップ」

ソフトウェアの再インストールを行う

ここでは、ソフトウェアの再インストール方法について記載しています。


▶必要なメディア

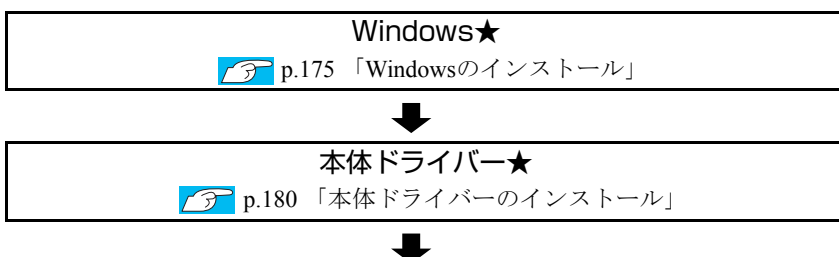
再インストールには、次のメディアが必要です。

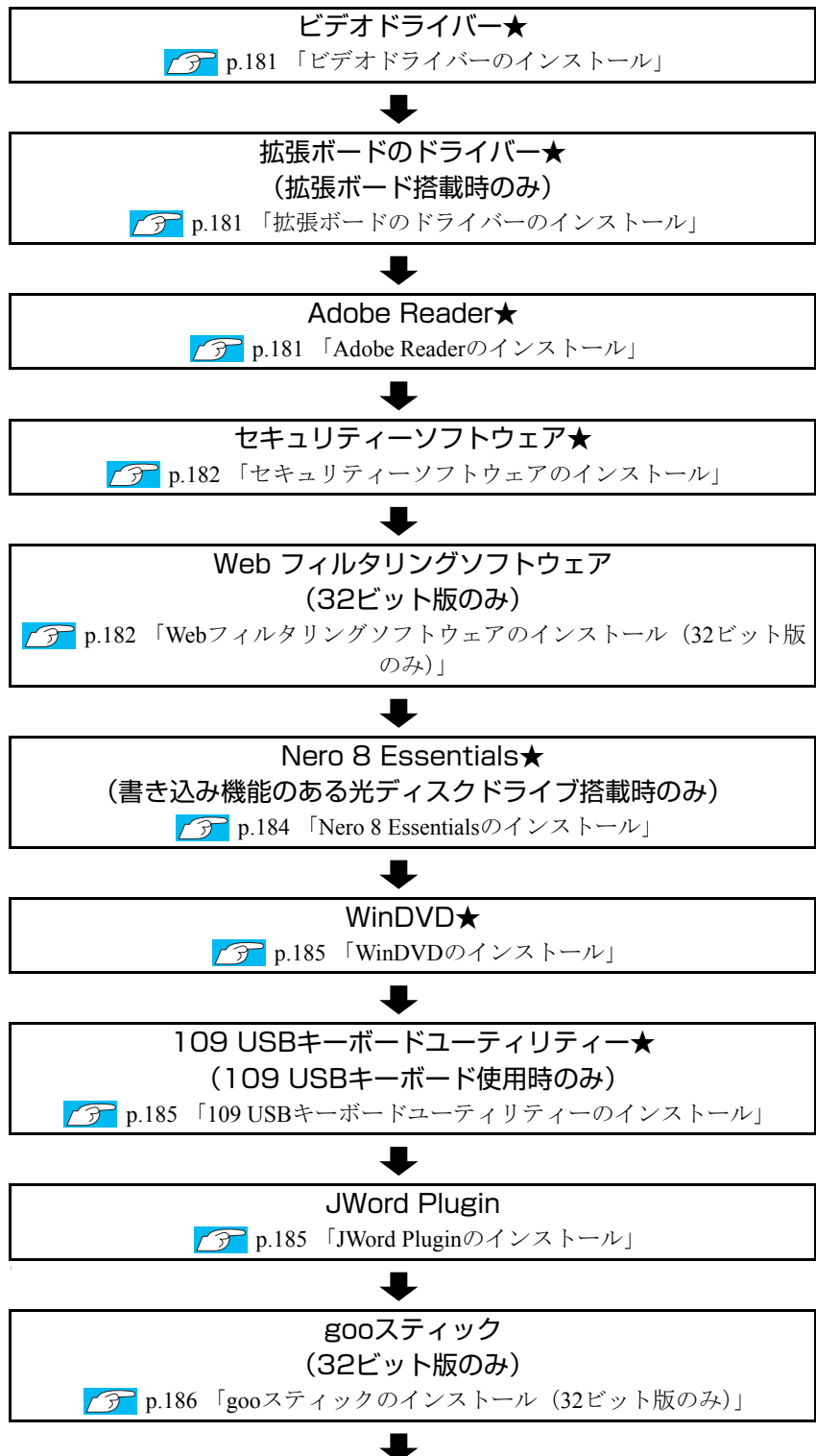
- WindowsリカバリDVD
Windowsが収録されているDVD-ROMです。
- ドライバー CD
本体ドライバー、Adobe Reader、セキュリティーソフトウェアなどが収録されているCD-ROMです。
- ビデオドライバー CD
ビデオボードを使用するためのドライバーが収録されているCD-ROMです。
お使いのビデオボードにより、CDの名称は異なります。
- Nero 8 Essentials CD-ROM (書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時のみ)
光ディスクドライブのライティングソフトウェアが収録されているCD-ROMです。
- WinDVD CD-ROM
DVD VIDEOを再生するソフトウェアが収録されているCD-ROMです。
DVD-ROMドライブを搭載している場合、購入時の選択によっては添付されていません。
- 109 USBキーボードユーティリティ CD (109 USBキーボード使用時のみ)
109 USBキーボードのホットキーを使用するためのユーティリティーが収録されているCD-ROMです。
- そのほか必要なメディア
お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

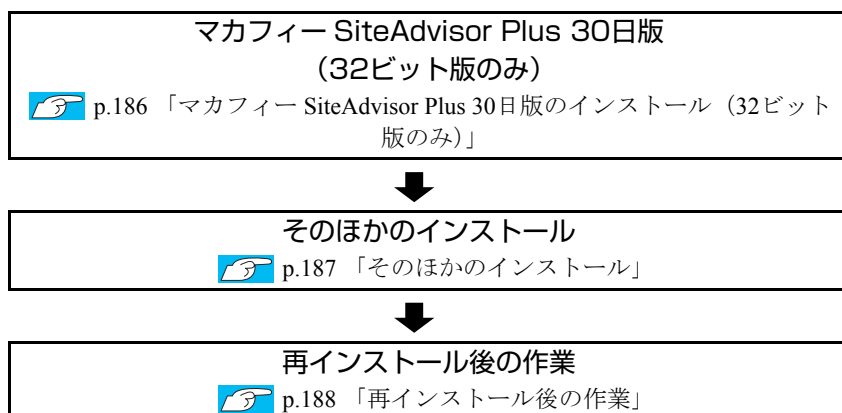
▶インストールの順番

再インストールは、次の順番で行います。★が付いているソフトウェアは必ずインストールしてください。

購入時のインストール状態は、 p.22 「添付されているソフトウェア」で確認してください。







▶インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、下記の点をご確認ください。

管理者 (Administrator) のアカウントでログオン

インストール作業は、管理者 (Administrator) のアカウントでログオンして行ってください。

システム構成

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOSの設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。

ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。実際の光ディスクドライブのドライブ名は、HDD領域の数によって異なります。

Cドライブ : HDD
Dドライブ : 光ディスクドライブ

各種設定やデータのバックアップ

再インストールを行うと、設定した事項が元に戻ってしまったり、データが消去されたりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。

👉 p.176 「バックアップを取る」


初期設定ツール

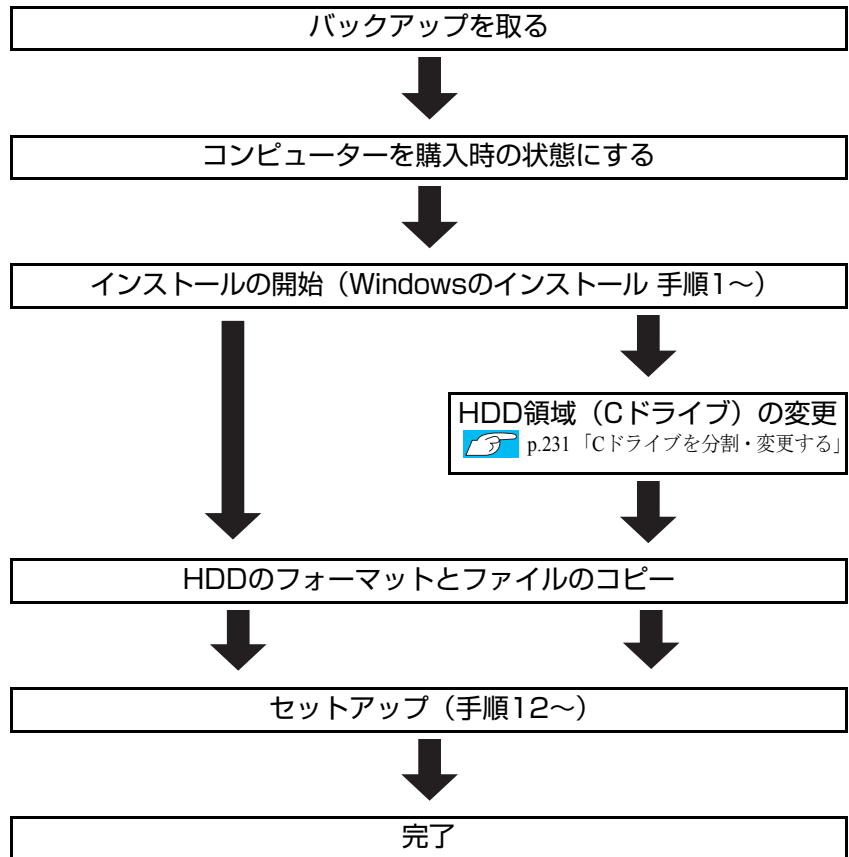
初期設定ツールは、Windowsを再インストールすると消去されます。初期設定ツールでインストールした「セキュリティーソフトウェア」などのソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

▶Windowsのインストール

インストールの流れ


Windowsのインストールの主な流れは次のとおりです。

インストール作業は、 p.176 「Windowsをインストールする」以降の手順に従って行ってください。



HDD領域 (Cドライブ) を変更するには

Windowsのインストール中にCドライブ (Windowsがインストールされている領域) のサイズを変更したり、分割したりすることができます。

HDD領域の変更や、分割についての詳しい説明は、 p.228 「HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成」をご覧ください。

▶Windowsをインストールする

バックアップを取る

Cドライブの設定やデータは、Windowsの再インストールを行うと消えてしまいます。再インストールの前に、次の設定やデータのバックアップを行ってください。*


- マニュアルびゅうわ

 p.226 「マニュアルびゅうわのバックアップ」

- ネットワークやモデムの設定


接続に関する設定を書き写しておいてください。

- Internet Explorerの「お気に入り」・Windowsメールの「連絡先」「メールデータ」

 p.225 「データのバックアップ」

このほかのWeb閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

- 重要なデータ

 p.225 「データのバックアップ」

*再インストール中にHDD領域の変更を行うと、Cドライブ以外のドライブ（DやEなど）のデータも消えてしまいますので、バックアップを行ってください。HDD領域の変更を行わない場合でも、念のためバックアップすることをおすすめします。

コンピューターを購入時の状態にする

周辺機器が接続されていたり、BIOSの設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

Windowsのインストール

Windowsのインストール方法は、次のとおりです。

- 1** HDDを2台以上装着している場合（RAID構成時は除く）は、本機の電源を切り、2台目以降のHDDを全て取り外します。


Windowsの再インストール時に、HDDの認識順位が実際の順番と異なる場合があるため、2台目以降のHDDは取り外しておきます。

 p.141 「HDDの装着」

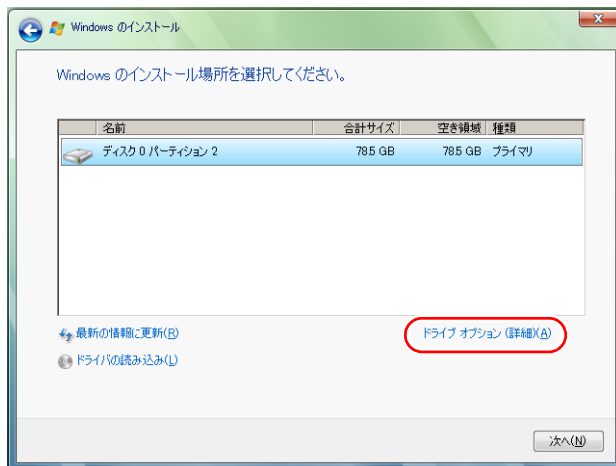
- 2** 本機の電源を入れて、Windowsが起動するか確認します。

接続されているHDDが、これからWindowsを再インストールするHDDであるかを確認します。

- 3** 「WindowsリカバリDVD」を光ディスクドライブにセットします。

「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックし、画面を閉じてください。ここからはインストールを行いません。

- 4 「スタート」 - 「▶」 - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 5 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。
一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。Windowsが起動してしまった場合は、手順4へ戻ります。
- 6 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。
ここでHDD内のWindowsのチェックが行われます。Windowsの修復を促す画面が表示された場合は、画面の指示に従って修復を行ってください。
- 7 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で「次へ」をクリックします。
- 8 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windowsの再インストール」をクリックします。
- 9 「Windowsの再インストールを行います。」と表示されたら、「再インストール」をクリックします。
- 10 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「条項に同意します」にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。
- 11 「Windowsのインストール場所を選択してください。」と表示されたら、次のとおり作業を続けます。
<領域変更を行わない場合（通常）>
(1) 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。



- (2) 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。
Windows Vista Ultimateの場合は「ディスク0パーティション3」(Cドライブ) を選択します。


(3) 「このパーティションをフォーマットすると…」と表示されたら、[OK] をクリックします。
フォーマットが開始されます。

(4) フォーマットが終了すると、[次へ] がクリックできる状態になります。「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で [次へ] をクリックします。


Windows Vista Ultimateの場合は「ディスク0パーティション3」(Cドライブ) が選択された状態で [次へ] をクリックします。

Windowsのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分～40分かかります。手順12の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。


<領域変更を行う場合>

 p.231 「Cドライブを分割・変更する」の手順に従ってください。

12 「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、ユーザー名、パスワード（任意）を入力し、画像一覧からお好みの画像をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。

 p.39 「ユーザー名と画像の選択」

13 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、コンピュータ名を入力し、背景一覧からお好みの背景をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。

 p.39 「コンピュータ名を入力してデスクトップの背景を選択してください」

14 「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、保護の設定をクリックして選択します。


「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

15 「時刻と日付の設定の確認」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、[次へ] をクリックします。

16 ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。

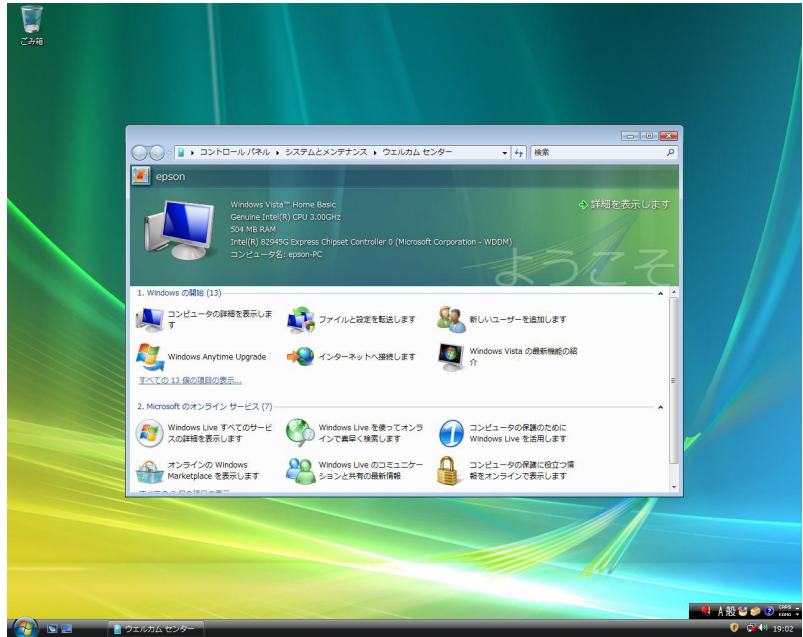
17 「ありがとうございます」と表示されたら、[開始] をクリックします。

設定が行われます。設定には約5分かかります。

18 手順 12 でパスワードを設定した場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して、 を押します。

19 Windowsのデスクトップ（下記の画面）が表示されたら、「WindowsリカバリDVD」を取り出します。


デスクトップの背景は、手順13で選択した背景が表示されます。



これでWindowsのインストールは完了です。

20 手順11で領域変更を行った場合は、「未割り当て領域」に領域（パーティション）を作成します。

領域（パーティション）の作成は、ドライバーやソフトウェアのインストールが終了してから行ってもかまいません。

 p.232 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」

21 手順1で2台目以降のHDDを取り外した場合は、再度取り付けます。

 p.141 「HDDの装着」

▶本体ドライバーのインストール

本機のマザーボード上に搭載されているデバイスのドライバー類を、一括してインストールします。

本体ドライバーのインストールで、インストールするドライバー類は次のとおりです。


- チップセットドライバー
- Intel Matrix Storage Manager
- Java2 Runtime Environment
(32ビット版のみ)
- ネットワークドライバー
- サウンドドライバー
- インフォメーションメニュー

上記以外のデバイスは、Windows標準ドライバーで動作します。

Windows標準ドライバーとは、Windowsをインストールすると自動的にインストールされるドライバーです。

インストール

インストールの手順は、次のとおりです。


- 1** 「ドライバー CD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可] をクリックします。
- 4** 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。
- 5** 「インストール確認」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、[OK] をクリックします。
各ドライバーが自動的にインストールされます。
インストールには数分かかります。
- 6** 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
- 7** 「インストール処理」画面が表示されたら、インストールが正常に完了したかを確認し、[PC再起動] をクリックします。
RAID構成時は、Windows が再起動したら本体ドライバーのインストールは完了です。次の手順は必要ありません。
- 8** Windowsが再起動した後、「ウェルカムセンター」画面が表示されたら、 をクリックして画面を閉じます。

- 9 「これらの変更を適用するには・・・」と表示された画面で、[今すぐ再起動する] をクリックします。

Windows が再起動したら、本体ドライバーのインストールは完了です。

▶ビデオドライバーのインストール

ビデオボードのビデオドライバーをインストールします。

 ビデオボードに添付のマニュアル

▶拡張ボードのドライバーのインストール

<拡張ボード搭載時>

FAXモデムボードなどの拡張ボードをお使いの場合は、拡張ボードのドライバをインストールします。

インストールは、拡張ボードに添付のディスクを使用して行います。インストール方法は、拡張ボードに添付のマニュアルをご覧ください。

▶Adobe Readerのインストール

「Adobe Reader」は、PDF形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。

インストール

Adobe Readerのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、「スタート」－「コンピュータ」－「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「許可」をクリックします。
- 4 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「Adobe Reader」をクリックします。
- 5 「インストール先のフォルダ」と表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 6 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、「インストール」をクリックします。

インストールにはしばらく時間がかかります。

7 「セットアップ完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。

これで、Adobe Readerのインストールは完了です。
続いて、Adobe Readerのセットアップを行います。

セットアップ

インストールが完了したら、続いてセットアップを行います。Adobe Readerのセットアップ手順は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「Adobe Reader」アイコンをダブルクリックします。**
- 2 「使用許諾契約書」が表示されたら、「使用許諾契約書」に同意するかしないかを選択します。**
同意する場合は、[同意する] をクリックします。[同意しない] を選択すると、Adobe Readerは使用できません。
これで、Adobe Readerのインストールは完了です。

▶セキュリティソフトウェアのインストール

本機に添付のセキュリティソフトウェア「Norton Internet Security 90日版」をインストールします。『セキュリティソフトウェアをご使用前に』（別冊）をご覧ください。

市販のセキュリティソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧になり、インストールを行ってください。

▶Webフィルタリングソフトウェアのインストール（32ビット版のみ）

本機に添付の「i-フィルター 30日版」をインストールします。i-フィルター 30日版は、有害サイトをブロックするためのWebフィルタリングソフトウェアです。

市販のWebフィルタリングソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧になり、インストールを行ってください。

i-フィルター 30日版のインストール

i-フィルター 30日版のインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を光ディスクドライブにセットします。**
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。**
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可] をクリックします。**
- 4 表示された項目から「i-フィルター 30日版」をクリックします。**

- 5 「i-フィルター…インストール」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「使用許諾契約」と表示されたら、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ] をクリックします。
- 7 「セットアップタイプ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 8 「インストール準備の完了」と表示されたら、[インストール] をクリックします。
 デスクトップ上に「i-フィルター」アイコンが表示されたら、i-フィルター 30日版のインストールは完了です。続いて、i-フィルター 30日版のユーザー登録を行います。

i-フィルター 30日版のユーザー登録

i-フィルター 30日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。
 ユーザー登録はインターネット接続後に行います。
 ユーザー登録の方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。
 Windowsを再起動した場合は、「i-フィルター・・・」画面が自動的に表示されます。
- 2 「i-フィルター…」画面が表示されたら、使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、[「i-フィルター」を使ってみる] をクリックします。
- 3 [「i-フィルター」の開始] と表示されたら、次の作業を行います。
 <初回ユーザー登録時>
 - (1) [次へ] をクリックします。
 - (2) 「無料お試し版ダウンロード お申し込み」と表示されたら、「お申し込みの入力」で「E-Mailアドレス」、「お名前」、「管理パスワード」、「管理パスワード【確認入力】」を入力します。
 「管理パスワード」は設定画面を開くときに必要になりますので、忘れないようにしてください。
 - (3) 「情報メール配信設定」で情報メールの配信を希望するかどうかを選択します。
 - (4) [同意して確認画面へ] をクリックします。
 - (5) 「お申し込み内容の確認」と表示されたら、内容を確認し、[登録する] をクリックします。
 - (6) [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
 - (7) 「お客様情報登録完了」と表示されたら、「登録内容」に記載されている「シリアルID」と「利用期限」を確認しておきます。
 同時に、登録したE-Mailアドレスにも「シリアルID」と「利用期限」が記載された登録完了メールが配信されます。
 一度登録を行うと、同じE-Mailアドレスでの再登録はできません。2回目以降のユーザー登録は登録完了メールに記載されている「シリアルID」を使用して登録を行いますので、「シリアルID」は必ず控えておいてください。

(8) [完了] をクリックします。

<2回目以降のユーザー登録時>

(1) [シリアルIDを持っているお客さま] をクリックします。

(2) [シリアルIDのご確認] で、初回セットアップ時に配信された「シリアルID」を入力します。

(3) [管理パスワードの設定] で「管理パスワード」と「管理パスワード [確認入力]」を入力します。

「管理パスワード」は設定画面を開くときに必要になりますので、忘れないようにしてください。

(4) [次へ] をクリックします。

(5) [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

(6) [シリアルIDを確認しました] と表示されたら、[完了] をクリックします。

これで、i-フィルター 30日版のユーザー登録は完了です。

▶ Nero 8 Essentialsのインストール

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

「Nero 8 Essentials」は、光ディスクドライブで書き込みを行うためのソフトウェアです。

Nero 8 Essentialsのインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「Nero 8 Essentials CD-ROM」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Setupx.exeの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 4** 「Neroマルチインストーラ」画面が表示されたら、[Nero 8 Essentials] をクリックします。
- 5** 「Nero 8 Essentialsインストールウィザードへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

▶ WinDVDのインストール

「WinDVD」は、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。
DVD-ROMドライブを搭載している場合、購入時の選択によっては添付されていません。

WinDVDのインストール手順は、次のとおりです。


- 1 「WinDVD CD-ROM」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「SETUP.EXEの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。
- 4 「InstallShield Wizard」画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

▶ 109 USBキーボードユーティリティのインストール

<109 USBキーボード使用时>

「109 USBキーボードユーティリティ」は、109 USBキーボードのホットキーを使用するためのユーティリティです。

本機に添付の「109 USBキーボードユーティリティCD」を光ディスクドライブにセットし、画面の指示に従ってインストールを行ってください。ホットキーの設定は、すべてのインストール作業が完了してから行います。

 p.61 「ホットキーを使用する」

▶ JWord Pluginのインストール

「JWord Plugin」は、Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索できるソフトウェアです。

JWord Pluginのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可]をクリックします。
- 4 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「JWord Plugin」をクリックします。

- 5 「JWordプラグイン…へようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

▶gooスティックのインストール（32ビット版のみ）

「gooスティック」は、Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するソフトウェアです。

gooスティックのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] – 「コンピュータ」 – 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可]をクリックします。
- 4 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「gooスティック」をクリックします。
- 5 「インストールが完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。これで、gooスティックのインストールは完了です。

▶マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版のインストール（32ビット版のみ）

「マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版」はWebサイトの安全性を表示し、危険なサイトへのアクセスを防ぐWebセーフティツールです。

インストール

マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版のインストール手順は次のとおりです。

- 1 「ドライバー CD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] – 「コンピュータ」 – 「EPSON_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可]をクリックします。
- 4 表示された項目から「マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版」を選択して[インストール]をクリックします。
- 5 「McAfee SecurityCenter」画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。インストールが完了したら、続いてユーザー登録を行います。

ユーザー登録

マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録の方法は、次のとおりです。

- 1 Internet Explorerを起動します。
- 2 Internet Explorerのツールバーに表示される [McAfee SiteAdvisor] の▼をクリックして、表示された一覧から「今すぐ登録」をクリックします。



- 3 表示された画面に従ってユーザー登録を行います。

ユーザー登録が完了すると、マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版が使用可能になります。

▶そのほかのインストール

必要に応じて次のインストールを行ってください。

各種ドライバーのインストール

お使いになるシステム構成によって、ドライバーやユーティリティー、ソフトウェアなどのインストールが必要です。インストールは、オプション機器類に添付されているメディアを使用して行います。詳しくは、本機でお使いになるオプション機器類に添付のマニュアルをご覧ください。

参考

インストールが必要なドライバーの例

お使いになるシステム構成によって、次のようなドライバーやユーティリティーが必要になります。

- USB対応機器を使用する場合：USB機器に添付のドライバー
- プリンターを使用する場合：プリンターに添付のドライバー

そのほかのソフトウェアのインストール


「Office」など、そのほかに使用するソフトウェアがある場合は、インストールします。インストール方法はソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

▶再インストール後の作業

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。

領域の作成

Windowsのインストール中にHDD領域を変更した場合、「未割り当て領域」はそのままでは使用できません。Windowsの「ディスクの管理」を使用して、領域の作成を行います。


 p.234 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

ネットワークやモデムの設定

再インストールを行う前に書き写しておいた設定を元に、ネットワークやモデムの設定を行います。

バックアップしたデータの復元

再インストールを行う前にバックアップしたデータを復元します。

 p.225 「データのバックアップ」

- マニュアルびゅうわ
- Internet Explorer、Windowsメールの設定
- 重要なデータ

バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

Windows Update

Windowsの再インストールを行うと、今までに行った「Windows Update」のプログラムがインストールされていない状態に戻ります。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、Windowsが最新の状態になります。

 p.100 「Windows Update」

第6章 こんなときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。


「トラブルが発生したら」	190
「困ったときに」	191
「システム診断ツールを使う」	216
「トラブル時に役立つ機能」	217
「警告メッセージが表示されたら」	222

トラブルが発生したら

本機をご使用時にトラブルが発生した場合は、次の場所から対処方法を確認してください。

- 困ったときに

トラブルが発生した場合の確認事項と対処方法を記載しています。

 p.191 「困ったときに」

- とらぶる解決ナビ

当社ユーザーサポートページの「サポート情報検索」から、技術的なトラブルの解決方法をピックアップして収録しています。



「インフォメーションメニュー」を開き、「とらぶる解決ナビ」をクリックします。



トラブルが起きた場合の対処の流れ

参考

サポート・サービスのご案内

『サポート・サービスのご案内』（別冊）には、当社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。

困ったときや万一の場合に備えてご覧ください。

困ったときに

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合に参考にしてください。対処方法が見つからない場合は、「インフォメーションメニュー」の「とらぶる解決ナビ」や「サポート情報検索」もあわせてご覧ください。



不具合が解消しない場合は

対処を行っても不具合が解消しない場合は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。「カスタマーサービスセンター」までご連絡ください。

不具合一覧

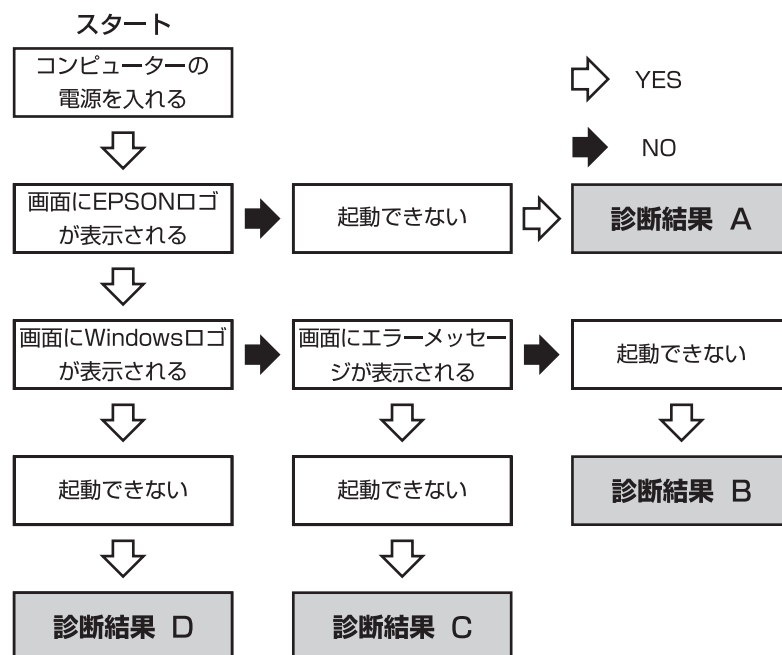
コンピューター本体（起動時）	p.192
● 起動	p.192
● そのほか	p.199
コンピューター本体	p.200
● 省電力機能	p.200
● 装置の増設・交換	p.201
● そのほか	p.201
メモリー	p.202
● メモリー	p.202
記憶装置	p.203
● HDD	p.203
● 光ディスクドライブ	p.204
入力装置	p.207
● キーボード	p.207
● マウス	p.208
表示装置	p.209
● ディスプレイ	p.209
サウンド	p.211
● スピーカー	p.211
ソフトウェア	p.211
● ソフトウェア	p.211
● インストール	p.214

▶コンピューター本体の不具合（起動時）

コンピューターが起動できないときの対処方法を説明します。

起動時の不具合

シャットダウン状態からコンピューターが起動できない場合は、次の診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってみてください。



診断結果 A

次の対処を順番に行ってみてください。

(1) コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

(2) ディスプレイの電源ランプを確認する

ディスプレイの取扱説明書をご覧になり、ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。

(3) ディスプレイケーブルを接続しなおす

コンピューター本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。

(4) ディスプレイの電源コードを接続しなおす

ディスプレイの電源コードの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイの電源コードを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

(5) コンピューター本体の電源コードを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

(6) 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

(7) CMOS RAMの初期化を行う

CMOS RAMの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAMの初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。



p.240 「CMOS RAMの初期化」

(8) 電源保護回路を解除する

過電流によってコンピューターが不安定になっている可能性があります。周辺機器や増設機器類（キーボード、マウス、ディスプレイを含む）を外して電源コードを抜いたあと、1分程度放置し、問題が解決されるかどうか確認してください。

診断結果 B


次の対処を順番に行ってみてください。

(1) 周辺機器や増設した装置を取り外す


本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

(2) セーフモードで起動し、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.217 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、「システムの復元」機能を使用して以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。システムの復元を行ってみてください。

 p.217 「システムの復元」


(3) 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

1. シャットダウン状態からコンピューターの電源を入れます。
2. 「EPSON」と表示され、消えた直後に **[F5]** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
3. 「Windowsブートマネージャ」が表示されたら、**[F8]** を押します。
4. 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**[↑]** または **[↓]** を押して、「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、**[↵]** を押します。

(4) BIOSの設定を初期値に戻す

BIOSの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOSの設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前にBIOSの設定をメモしておいてください。

 p.153 「Load Optimal Defaults（初期値に戻す）」


(5) CMOS RAMの初期化を行う

CMOS RAMの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAMの初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。


 p.240 「CMOS RAMの初期化」

(6) Windowsを再インストールする

HDD内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.172 「ソフトウェアの再インストールを行う」

診断結果 C

まず、 p.222 「警告メッセージが表示されたら」をご覧ください、メッセージに応じた対処を行ってください。あてはまるメッセージがない場合は、下記をご覧ください、対処を行ってください。

- 「S.M.A.R.T Failure Predicted on HDD / WARNING: Immediately back-up your data and replace your HDD」というメッセージが表示された場合

(1) カスタマーサービスセンターへ連絡する

HDDに問題がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、カスタマーサービスセンターへご連絡ください。

- 「Hardware Monitor found an error, Enter Power setup menu for details」というメッセージが表示された場合

次の対処を順番に行ってみてください。

(1) コンピューター本体の電源を入れなおす

コンピューターの電源を切ってから、電源コードを抜き、コンピューター内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてみてください。

(2) 壁のコンセントに直接接続する

電源タップなどにコンピューターの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピューターの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。

(3) 消費電力の大きい機器を停止する

大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。

- 「NTLDR is missing」、「DISK BOOT FAILURE」、「Invalid system disk」、「Missing Operating System」、「Operating System Not Found」などのメッセージが表示された場合

次の対処を順番に行ってみてください。


(1) しばらく放置する

急激な温度変化があった場合は、HDDの表面が結露してしまっている可能性があります。乾くまで、しばらく放置しておいてから、再度電源を入れてみてください。

(2) HDDの認識と接続を確認する（RAID構成時以外）

BIOSでHDDを認識できていない可能性があります。次の手順でBIOSを確認してください。

1. 「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。


 p.149 「BIOS Setupユーティリティの起動」

2. 「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「IDE Configuration」－「AHCI Configuration」で「AHCI Port0」の表示を確認します。

- 「AHCI Port0」が「Hard Disk」と表示されているか。

「Not Detected」と表示される場合は、HDDが正常に認識されていません。HDDがHDDベイにしっかりと装着されているか、HDDベイとマザーボードを接続しているケーブル類はきちんと接続されているか、ケーブルに損傷はないか確認してください。

 p.141 「HDDの装着」

- 「AHCI Port0」を選択して  を押し、「SATA Port0」が「Auto」になっているか。

「Not Installed」と表示されている場合、HDDが無効に設定されています。「Auto」に設定してみてください。

(3) BIOSの設定を初期値に戻す

BIOSの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOSの設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前にBIOSの設定をメモしておいてください。

 p.153 「Load Optimal Defaults（初期値に戻す）」

(4) Windowsを再インストールする

HDD内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.175 「Windowsのインストール」

● そのほかのメッセージが表示された場合

次の対処を順番に行ってみてください。

(1) 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

(2) BIOSの設定を初期値に戻す

BIOSの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOSの設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前にBIOSの設定をメモしておいてください。

 p.153 「Load Optimal Defaults (初期値に戻す)」


(3) CMOS RAMの初期化を行う

CMOS RAMの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAMの初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.240 「CMOS RAMの初期化」

(4) Windowsを再インストールする

HDD内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.175 「Windowsのインストール」

診断結果 D


次の対処を順番に行ってみてください。

(1) 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。


(2) セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.217 「セーフモードでの起動」


セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼働中、常に稼働しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

※常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

1. [スタート] - 「検索ボックス」に「msconfig」と入力して、 を押します。
2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
3. 「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、[OK] をクリックします。
4. 「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。






常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

 p.217 「システムの復元」


(3) 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

1. シャットダウン状態からコンピューターの電源を入れます。
2. 「EPSON」と表示され、消えた直後に  を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
3. 「Windowsブートマネージャ」が表示されたら、 を押します。
4. 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、 または  を押し、
「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、 を押します。

(4) Windowsを再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。







 p.169 「ソフトウェアの再インストール」

起動時の不具合（そのほか）**現象**

起動時に次のようにパスワードの入力が要求される。また、パスワードを入力しても起動しない。

Enter CURRENT Password:


確認と対処

- 「BIOS Setupユーティリティ」でパスワードが設定されています。正しいパスワードを入力してください。
 p.154 「パスワードを設定する」
- パスワードを正しく入力しているか確認してください。 の状態により数値が正しく入力されていない場合があります。
 p.58 「キーロック表示ランプ」
- パスワードを忘れてしまった場合には、強制的に解除することができます。
 p.240 「CMOS RAMの初期化」
強制的に解除した場合、BIOSの設定が初期化されるので、BIOSを再度設定する必要があります。「BIOSの設定値」に変更内容を記入している場合は、「BIOSの設定値」をご覧になり、設定してください。
 p.167 「BIOSの設定値」
- パスワード入力後に次のようなメッセージが表示された場合は、間違ったパスワードを入力しています。
Password check failed
Press F1 to Resume
メッセージのとおり  を押して、先に進めてください。

現象

Windowsが起動せず、「システム回復オプション」画面が表示された。

確認と対処

- Windowsに不具合が起きると、HDD内に設定されている「Windows回復環境（Windows RE）」が自動的に起動します。「システム回復オプション」画面はWindows REの画面です。Windows REの機能を使用して、不具合を修復してください。Windows REの概要は、 p.219 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」をご覧ください。

▶コンピューター本体の不具合


コンピューター本体の不具合に対する対処方法を説明します。

省電力機能に関する不具合

現象

正しく省電力状態に移行できない。または省電力状態から復帰できない。

確認と対処

- 使用しているソフトウェアや常駐ソフト、増設している周辺機器の影響により省電力機能が正常に働かない可能性があります。ソフトウェアの削除や常駐ソフトの解除、周辺機器の一時的な取り外しを行い、省電力機能が正常に働くか確認してください。
- スリープ状態や休止状態のときは、キーボードやマウスの操作では、省電力状態から復帰できない場合があります。この場合は、電源スイッチを押して本機を復帰させてください。
 p.114 「省電力状態からの復帰方法」
- 省電力状態から復帰できない場合は、**Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押して本機を再起動してください。ただし、省電力状態移行前に作成した未保存のデータはすべて消失します。
- 周辺機器の状態が変わると、省電力状態から復帰できないことがあります。周辺機器を省電力状態に入る前と同じ状態にしてみてください。

装置の増設・交換に関する不具合

現象

拡張ボード、周辺機器を増設したら、コンピューターの動作がおかしくなった。

確認と対処

- 増設した機器が、対応する拡張スロットおよびコネクタに、正しく装着されているか、確認してください。
- 周辺機器を追加するために拡張ボードを装着した場合、周辺機器と拡張ボードの接続が正しいか、正しいケーブルを使用しているかを確認してください。
- 拡張ボードによっては、拡張スロットに装着するだけでなく、マザーボードやコンピューターのコネクタとの接続が必要なものがあります。拡張ボードのマニュアルを確認してください。
- 拡張ボード、周辺機器のドライバーがインストールされているか、確認してください。詳しくは拡張ボード、周辺機器のマニュアルを確認してください。
- 拡張ボード、周辺機器を取り外して問題が解決されるかどうか、確認してください。
- 上記の処置を行っても改善が見られない場合は、拡張ボード、周辺機器の販売元にお問い合わせください。

そのほかの不具合

現象

ハングアップしてしまい何も反応しない。

確認と対処

- 応答のないソフトウェアをタスクマネージャで終了させます。ソフトウェアを終了させることができない場合には、電源スイッチを5秒以上押し続けて電源を切ってください。


 p.55 「ハングアップしたときは」

現象

「BIOS Setupユーティリティ」の情報、日付、時間などの設定が変わってしまう。

確認と対処

- 本体内部のリチウム電池の残量が少なくなり、データを保持できなくなっている可能性があります。リチウム電池を交換してください。

 p.237 「リチウム電池の交換」

現象

BitLockerでドライブを暗号化した状態でBIOSのアップデートやBootの順番の変更を行ったとき、BitLockerのパスワード入力やパスワードを保存してあるUSBフラッシュの挿入を求められた。

(BitLockerは、Windows Vista UltimateおよびWindows Vista Enterpriseの機能です。)

確認と対処

- パスワードを入力するか、パスワードを保存してあるUSBフラッシュを挿入してください。BIOSのアップデートやBootの順番の変更を行うときは、BitLockerのドライブ暗号化を解除した状態で行ってください。

現象

終了処理をしても電源が切れない。

確認と対処

- Windows Vistaでは、[スタート] - [⏻] を押すと、本機は「スリープ状態」になります。電源を切りたい場合は、[スタート] - [▶] - 「シャットダウン」で電源を切ってください。
- 正しい処理を行っても電源が切れない場合は、電源スイッチを5秒以上押し続けてください。

▶メモリーの不具合

メモリーの不具合に対する対処方法を説明します。


メモリーの不具合

現象

メモリーチェックで表示されるメモリー容量が実際の容量と違っている。


確認と対処

- 起動時のメモリーチェックやWindows上では、メモリー容量が正しく表示されないことがあります。「BIOS Setupユーティリティ」を起動し、「System Information」メニュー画面 - 「System Memory」 - 「System Memory Size」で総メモリー容量を確認してください。

 p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」

 p.159 「System Informationメニュー画面」

- メモリーを増設した場合は、メモリーのタイプが合っているか、スロットの奥までしっかりと差し込まれているか確認してください。

 p.123 「メモリーの装着」

▶ 記憶装置の不具合

記憶装置の不具合に対する対処方法を説明します。

HDDの不具合

現象

HDD容量がWindows上で、少なく表示される。




確認と対処

- 本機に搭載されているHDD容量をWindows上で確認すると、少なく表示されます。
これは、Windows上では容量を計算や表示する場合に「2進法」(0と1の2つの数字を用いる表記法)を使用しているのに対して、マニュアルではHDDなどの仕様を表記する際に用いられている「10進法」(0～9の数字を用いる表記法)を使用していることによる違いです。
2進法で表記した1KB(キロバイト)は「1024Byte」になるのに対し、10進法で表記した場合には「1000Byte」となります。そのため、WindowsなどのOS上で表示されるHDD容量は、マニュアルに記載されている容量よりも少なく表示されます。

現象

増設したHDDが使用できない。

確認と対処

- HDDがHDDベイにしっかりと装着されているか、HDDベイとマザーボードを接続しているケーブル類(シリアルATAケーブル、電源ケーブル)は正しく接続されているか、また、ケーブルに損傷はないか確認してください。
- 新しいHDDを使用する場合には、装着後にHDDの領域作成とフォーマットを行う必要があります。
 p.228 「HDD領域(ドライブ)の分割・変更・作成」
- 「BIOS Setupユーティリティ」でHDDの設定を確認します(RAID構成時を除く)。「BIOS Setup ユーティリティ」－「Advanced BIOS Features」メニュー画面－「IDE Configuration」－「AHCI Configuration」で、増設したHDDが接続されている「AHCI PortX(Xは数字の0～3)」の「SATA PortX(Xは数字の0～3)」が「Not Installed」になっている場合は「Auto」に変更します。
 p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」
 p.160 「Advanced BIOS Featuresメニュー画面」

現象

Windowsの再インストールをしたら、HDDの空き容量が大幅に減ってしまった。

確認と対処

- p.176 「Windowsのインストール」手順11で、Cドライブのフォーマットを行わずにWindowsのインストールをしてしまうと、以前のWindowsのデータがWindows.oldフォルダーに保存されるため、HDDの空き容量が大幅に減ってしまいます。Windows.oldフォルダーが不要な場合は、削除してください。Windows.oldフォルダーは次の場所にあります。
[スタート] - 「コンピュータ」 - 「Cドライブ」
通常は、手順どおりにCドライブをフォーマットしてからWindowsのインストールをしてください。

光ディスクドライブの不具合

現象

光ディスクドライブがコンピューターに認識されない。

確認と対処

- 光ディスクドライブにシリアルATAケーブル、電源ケーブルが正しく接続されているか、またケーブルに損傷はないか確認してください。



p.133 「ドライブ装置とコネクタの接続」

現象

オーディオCDやDVD VIDEO再生時に、音声が出力されない。

確認と対処

- 本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、アンプ内蔵スピーカーを本機背面のサウンドコネクタ（サウンドボードを装着している場合はサウンドボードのコネクタ）に接続してください。



p.34 「スピーカーを接続する」



p.87 「サウンド機能を使う」

- ボリュームコントロールが「ミュート」または「音量0」に設定されていないか確認します。

現象

セットしたメディアにアクセスできない。

確認と対処

- メディアが正しくセットされているか、確認してください。
- メディアを挿入した直後、アクセスランプ点灯中は、読み込み準備のためアクセスできません。この場合は、アクセスランプの消灯を待って、もう一度アクセスしてください。
- メディアの表面にキズなどがないか、確認してください。
- 別のメディアにアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできないメディアに問題がある可能性があります。
- 特殊なフォーマット形式のメディアの場合、アクセスできない可能性があります。
- セットしたメディアが書き込み済みのメディアの場合、光ディスクドライブとの相性によりアクセスできない可能性があります。

現象

セットしたメディアが取り出せない。



確認と対処

- コンピューターの電源が入っているか、確認してください。
- ソフトウェアによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくは、お使いのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。


現象

メディアへの書き込みができない。


確認と対処

- DVD-ROMドライブの場合、メディアへの書き込みはできません。
- 書き込みソフト「Nero 8 Essentials」がインストールされていない場合は、インストールをしてください。
 p.184 「Nero 8 Essentialsのインストール」
- メディアのフォーマットに関する不具合や、書き込みに関する不具合については、『Neroユーザーズガイド』を参照してください。
 「マニュアルびゅーわ」 - 『Neroユーザーズガイド』

- お使いの光ディスクドライブ対応のメディアを使用しているかどうか確認してください。

 「マニュアルびゅーわ」

- Windowsが省電力状態に切り替わると、書き込み可能なメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力状態に移行しないように設定してください。



 p.112 「時間経過で移行させない」

- メディアが正しくセットされているかどうか、確認してください。
- メディアの表面に汚れやキズなどがいないか、確認してください。
- メディアの残量があるか、確認してください。
- ヘッドレンズの汚れによって、書き込みができない場合があります。
- 光ディスクドライブとの相性によって、セットしたメディアに書き込めない場合があります。

現象

DVDの再生ができない。

確認と対処

- DVD-ROMドライブを搭載している場合、購入時の選択によっては、DVD VIDEO再生ソフトウェアは添付されていません。
- DVD VIDEO再生ソフト「WinDVD」が添付されている場合、DVD VIDEO再生に関する不具合については、WinDVDのヘルプを参照してください。
- 解像度や色数、リフレッシュレートを変更してみてください。
 p.85 「表示に関する各種設定」
 p.86 「リフレッシュレートの設定」
- ディスプレイを2台接続して、クローン表示をしていると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断される場合があります。その場合は、クローン表示を無効にしてください。

▶入力装置の不具合



入力装置の不具合に対する対処方法を説明します。


キーボードの不具合

現象

数値キーを押しても数値が入力されない。

確認と対処

- 数値キーは  の状態により機能が変わります。 を押して、オンの状態にします。


 p.60 「キーロック表示ランプ」

現象

どのキーを押しても応答がない。

確認と対処

- キーボードが正しく接続されているか確認します。PS/2 キーボードの場合、接続は、本機の電源を入れる前に行ってください。

 p.32 「キーボードを接続する」

- マウスを操作してみてください。マウスで操作できる場合もあります。
- ソフトウェアが時間のかかる処理を実行している可能性もあります。しばらく待ってみてください。

- ソフトウェアがハングアップしている可能性もあります。しばらく待っても反応がない場合は、タスクマネージャでソフトウェアを終了してください。


 p.55 「ハングアップしたときは」

現象

キートップにある文字や記号が入力できない。

確認と対処

- 直接入力モードで日本語を入力することはできません。日本語入力モードに切り替えてください。

 p.58 「キーボードを使う」

現象

Uボタンが使用できない。

確認と対処

- 画面右下の通知領域に「Hotkey Setup」アイコンが表示されていない場合は、キーボードユーティリティーが起動していないため、Uボタンを使用することができません。キーボードユーティリティーを起動してください。



p.63 「キーボードユーティリティーの起動」

- キーボードユーティリティーがインストールされていない場合は、インストールを行います。



p.185 「109 USBキーボードユーティリティーのインストール」

マウスの不具合

現象

マウスを動かしても、マウスポインターが動かない。

確認と対処

- マウスが正しく接続されているか確認します。



p.33 「マウスを接続する」

- キーボードを操作してみてください。キーボードで操作できる場合もあります。

- ソフトウェアが時間のかかる処理を実行している可能性もあります。しばらく待ってみてください。

- ソフトウェアがハングアップしている可能性もあります。しばらく待っても反応がない場合は、タスクマネージャでソフトウェアを終了してください。



p.54 「再起動」



p.55 「ハングアップしたときは」

- オプティカルマウスの場合、表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用すると、マウスの動きがコンピューターに伝わりません。

▶表示装置の不具合


表示装置の不具合に対する対処方法を説明します。

ディスプレイの不具合

現象

起動時にディスプレイに何も表示されない。

確認と対処


- ディスプレイの電源ランプが点灯しているか確認してください。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- ビデオボードのコネクタにディスプレイのケーブルが接続されているか確認します。
 p.30 「ディスプレイを接続する」
- ディスプレイの画面の明るさやコントラストを調節してください。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- コンピューターの電源を切ってから20秒以内に電源を入れると、システム管理機能が電源を異常と判断する場合があります。一度電源を切って、20秒以上待ってから電源を入れてみてください。
- 警告音（ビープ音）が鳴った場合は、起動時の自己診断テストにて異常が発見された可能性があります。音の種類、音の長さなどを確認した上で、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

現象


使用中に何も表示されなくなった。

確認と対処

- 省電力状態になっている可能性があります。キーボードやマウスを操作してみてください。それでも表示されない場合は、電源スイッチを押してみてください。

 p.114 「省電力状態からの復帰方法」

- ディスプレイの画面の明るさやコントラストを調節してください。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- ディスプレイの仕様を確認して、該当するコネクタにディスプレイのケーブルが正しく接続されているか確認してください。本機で使用できるディスプレイの接続ケーブルは次をご覧ください。

 p.30 「ディスプレイを接続する」


- ディスプレイの故障の場合には、ディスプレイの販売元にご確認ください。

現象

画面がちらつく、文字がにじむ。

確認と対処

- リフレッシュレートを変更してみてください。


 p.86 「リフレッシュレートの設定」

現象

画面の解像度などを変更した後、画面が乱れたり何も表示されなくなった。

確認と対処

- ディスプレイの選択を誤っている可能性があります。ディスプレイのマニュアルを参照して確認してください。
- 使用中のディスプレイでは表示できない解像度を選択した可能性があります。セーフモードで起動して、解像度を変更してみてください。

 p.217 「セーフモードでの起動」

▶サウンドの不具合



サウンドの不具合に対する対処方法を説明します。

スピーカーの不具合

現象

音が鳴らない。

確認と対処

- 本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、アンプ内蔵スピーカーを本機背面のサウンドコネクタに接続してください。
 p.34 「スピーカーを接続する」
- ボリュームコントロールが「ミュート」または「音量0」に設定されていないか確認してください。
 p.87 「サウンド機能を使う」

▶ソフトウェアの不具合


ソフトウェアの不具合に対する対処方法を説明します。

ソフトウェアの不具合

現象

ソフトウェアの使用中に突然停止（ハングアップ）した。

確認と対処

- 過度の電源ノイズ、瞬時電圧低下などが発生した可能性があります。電源ノイズによる現象には、ディスプレイのノイズ、Windowsの再起動、停止（ハングアップ）などが含まれます。ソフトウェアを再度実行してみてください。
- ケーブルの接続不良や、キーボード内のゴミやホコリ、電源の出力不安定、または、そのほかの部品の不良によって不具合が発生する場合があります。点検を行ってみてください。
- HDDに対するデータの読み書きの最中に振動が加わると、Windowsがハングアップする場合があります。
- 応答のないプログラムを強制終了してから本機を再起動してください。
 p.55 「ハングアップしたときは」

現象

ソフトウェアやプログラムが停止し、「データ実行防止」画面が表示される。

確認と対処

- ソフトウェアやプログラムがウイルスに感染している可能性があります。セキュリティソフトウェアでウイルスの検索・駆除を行ってください。
- 安全なソフトウェアを実行して「データ実行防止」画面が表示される場合は、ソフトウェアの製造元へお問い合わせください。
- 問題が解決しない場合は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧になり、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

現象

ソフトウェアが起動しない。

確認と対処

- ソフトウェアの起動に必要とされるシステムリソース（メモリー容量やHDDの使用可能な容量など）が整っているか確認してください。エラーメッセージなどが表示される場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照して必要な対処を行ってから、再度ソフトウェアを起動してみてください。
- ソフトウェアを正しい方法でインストールしたか、ソフトウェアの起動手順を正しく実行しているか確認してください。
- 実行しようとしているディレクトリーが正しいか確認してください。FD や CD-ROMなどから起動しようとしている場合は、ドライブおよびディレクトリーの指定が正しく行われているか確認してください。
- ソフトウェアの使用許諾を受けていない場合（違法コピーなど）、ソフトウェアが動作しないことがあります。ソフトウェアの正式版を使用してください。
- ソフトウェアの使用方法をもう一度確認してください。それでもソフトウェアの不具合が解決できないときは、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

現象

Internet Explorerを使用時、情報バーに警告が表示される。

確認と対処

- Internet Explorerは、購入時、セキュリティー強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう、設定されています。Internet Explorer使用時に情報バーに警告が表示されたら、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処を選択してください。

現象

WindowsメールでHTMLメールの画像が表示されない、または添付ファイルが開けない。

確認と対処

- メール添付のファイルや送信元の不明なメールによるウイルスの侵入から、コンピューターを保護するための設定が購入時にされています。HTMLメールの画像を見る場合は、送信元を確認して、件名の下にある情報バーをクリックします。添付ファイルについての設定は、次の場所で確認できます。Windowsメールの [ツール] - 「オプション」 - 「セキュリティ」 タブ - 「ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない」

現象

インストールしたネットワークアプリケーションが動作しない。

確認と対処

- ファイアウォールが有効に設定されていると、ネットワークアプリケーションが正常に動作しない場合があります。



p.103 「ファイアウォール」

詳細についてはソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

現象

「インフォメーションメニュー」の「マニュアルびゅーわ」がグレーになって使用できない。


確認と対処

- Windowsの再インストール前にバックアップした「マニュアルびゅーわ」を復元してください。



p.226 「マニュアルびゅーわのバックアップ」

- 「マニュアルびゅーわ」を使用できない場合、当社のユーザーサポートページから当社作成の電子マニュアルをダウンロードすることができます。ユーザーサポートページからダウンロードした電子マニュアルは、マニュアルごとにファイルを開いてご覧ください。

 p.227 「電子マニュアルのダウンロード」

インストール時の不具合

現象

Windowsの再インストール画面で、HDDの順番が実際の接続と異なる。

確認と対処


- Windowsを再インストールする場合に、HDDの認識順位が、実際の接続と再インストール時の画面表示で異なる場合があります。HDDを2台以上装着している場合（RAID構成時は除く）は、2台目以降のHDDを全て取り外してから再インストールを行ってください。

 p.176 「Windowsのインストール」

現象

Windowsの再インストールがマニュアルどおりにできない。

確認と対処

- 本書の手順は、 p.18 「本製品の仕様とカスタマイズ」で記載している製品仕様でインストールすることを前提に説明しています。周辺機器を増設している場合は、手順が異なることがあります。各機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。
- 本書の手順は、HDDのフォーマット後にインストールを行うことを前提に記載しています。それ以外の場合は、手順が異なることがあります。不明な点は『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。
- インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認してみてください。

現象

WindowsリカバリDVDを光ディスクドライブにセットして再起動しても、「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されない。

確認と対処

- 光ディスクドライブの起動順位を HDD よりも下に設定している可能性があります。「BIOS Setupユーティリティ」を実行して、起動順位を変更してください。



p.149 「BIOS Setupユーティリティの操作」



p.162 「Boot Configuration Featuresメニュー画面」





システム診断ツールを使う

ここでは、「システム診断ツール」について説明します。

システム診断ツールとは、本機の調子が悪いときに、不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを診断するためのツールです。システム診断ツールは、本機に添付の「ドライバー CD」に収録されています。

▶システム診断を実行する

システム診断の実行方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、ドライバー CDを光ディスクドライブにセットします。「自動再生」画面が表示された場合は、をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - [再起動] をクリックして、本機を再起動します。Windowsが起動できないときは、 +  +  を押して、コンピューターを再起動します。
- 3** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えた後、「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4** 診断が終了したら、診断結果を確認します。「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。
- 5** 光ディスクドライブからドライバー CDを取り出し、電源を切ります。
これでシステム診断は完了です。

トラブル時に役立つ機能

ここでは、トラブルが発生した場合に役立つWindowsの機能について説明します。

▶セーフモードでの起動

本機が起動できない場合や、ディスプレイで表示できない解像度を選択して表示ができなくなってしまった場合などには、セーフモードで起動してみてください。

セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を切り、20秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **[F5]** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
- 3 「Windowsブートマネージャ」が表示されたら、**[F8]** を押します。
- 4 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**[↑]** または **[↓]** を押して、「セーフモード」を選択し、**[↵]** を押します。

セーフモードで起動できた場合は、不具合に対する対処を行ってください。

▶システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行ってWindowsを以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に、自動的に作成されますが、手動で作成しておくこともできます。

システムを復元する

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。システムの復元を行う前に、HDDのデータをほかのメディアにバックアップしておくことをおすすめします。

- 1 [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システムの復元」を選択します。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「システムの復元」画面が表示されたら、「推奨される復元」を選択し、[次へ] をクリックします。

復元ポイントを指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択して [次へ] をクリックし、ポイントを選択して [次へ] をクリックします。

- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をクリックします。
- 5** 「システムの復元を開始すると…」と表示されたら、[はい] をクリックします。
コンピューターが再起動します。
- 6** 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。
これでシステムの復元は完了です。

復元ポイントを手動で作成する

復元ポイントを手動で作成する方法は次のとおりです。

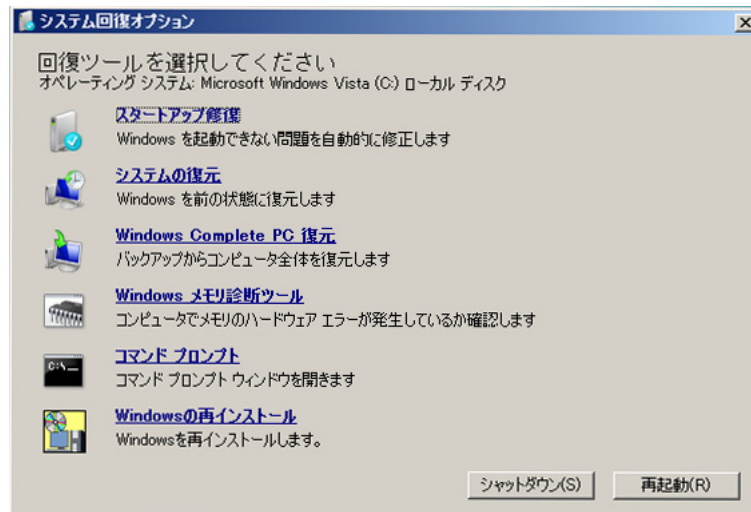
- 1** [スタート] – 「すべてのプログラム」 – 「アクセサリ」 – 「システムツール」 – 「システムの復元」を選択します。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3** 「システムの復元」画面が表示されたら、「システムの保護」をクリックします。
- 4** 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、復元ポイントを作るドライブ（ローカルディスク）にチェックを付けて、[作成] をクリックします。
- 5** 「復元ポイントの作成」と表示されたら、説明を入力し、[作成] をクリックします。
- 6** 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
これで復元ポイントの作成は完了です。

▶ Windows回復環境 (Windows RE) を使う

本機のHDD内の「消去禁止領域」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、不具合に対する対処を行うことができます。

Windows REの項目

Windows REには、次の項目があります。



<イメージ>

- **スタートアップ修復**
Windowsを起動できない問題を自動的に修正します。Windowsが起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。
- **システムの復元**
コンピューターの状態を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。
- **Windows Complete PC復元**
バックアップしてあったデータを使用してコンピューター全体を復元します。
Windows Vista Home Premium、Windows Vista Home Basicには、Windows Complete PC復元のためのバックアップ機能はありません。
- **Windowsメモリー診断ツール**
メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。
- **コマンドプロンプト**
コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら

Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、「システム回復オプション」画面が表示されます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら、次の手順でWindows REの項目を表示させ、対処を行います。

- 1 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 2 「回復オプションにアクセスするには・・・」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には「パスワード」にパスワードを入力して [OK] をクリックします。
- 3 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

HDD内のWindows REを手動で起動する

HDD内のWindows REは、手動で起動することもできます。


手動で起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を切り、20秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F5** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
- 3 「Windowsブートマネージャ」が表示されたら、**F8** を押します。
- 4 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピュータの修復」を選択し、**↵** を押します。
- 5 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 6 「回復オプションにアクセスするには・・・」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には「パスワード」にパスワードを入力して [OK] をクリックします。
- 7 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

DVDのWindows REを使用する

Windows REは本機に添付の「WindowsリカバリDVD」にも収録されています。HDD内に設定されているWindows REを誤って消去してしまった場合などに使用してください。

DVDに収録されているWindows REの起動方法は、次のとおりです。

- 1** コンピューターの電源を入れ、Windowsが起動したら、「WindowsリカバリDVD」を光ディスクドライブにセットします。
「自動再生」画面が表示されたら  をクリックし、画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。
一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。Windowsが起動してしまった場合は、手順2へ戻ります。
- 4** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 5** 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 6** 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

警告メッセージが表示されたら

本機は、起動時に本体内蔵の自己診断テストを行い、内部ハードウェアの状態を診断します。起動時に次の警告メッセージが表示された場合には、各警告メッセージに応じた処置を行ってください。処置を行ってもなおらない場合には、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

警告メッセージ	説明および対処法
CPU temperature too high	CPUが高温になっています。コンピューターの電源を切り、コンピューター内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。
CPU voltage out of range	CPUの電源電圧が異常です。コンピューターの電源を切り、コンピューター内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。

付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

「お手入れ」	224
「データのバックアップ」	225
「電子マニュアルのダウンロード」	227
「HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成」	228
「リチウム電池の交換」	237
「CMOS RAMの初期化」	240
「コンピューター内部のケーブル接続」	242
「コンピューターを廃棄するときは」	243
「機能仕様一覧」	245

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

▶本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。

キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。


通風孔

コンピューター本体前面や背面上の通風孔（吸気用）にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。

通風孔のホコリは、定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

コンピューター本体内部

本体内部にホコリなどがたまっている場合は、エアスプレーで吹き飛ばしてください。

 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」



- 作業するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火災の原因となります。
- 電源ユニットは絶対に分解しないでください。けがや感電・火災の原因となります。



- 作業時は、誤って本体内部の部品を傷つけないよう注意してください。
- 水分を含ませたティッシュや化学ぞうきんなどは、使わないでください。水分や化学物質により故障の原因となります。

データのバックアップ

Windowsを再インストールすると、Windowsがインストールされるドライブ（通常Cドライブ）に保存しているデータはすべて消去されます。Windowsを再インストールする前に、必要なデータのバックアップを取っておいてください。

▶バックアップ方法

作成したファイルやInternet Explorerの「お気に入り」など、HDD内のデータをバックアップする方法やバックアップしたデータを復元する方法は、本機の「インフォメーションメニュー」にある「PCお役立ち情報」で詳しく紹介しています。

「PCお役立ち情報」から見る

バックアップ方法や復元方法は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」－「正しく安全に使う！」項目の「Windowsシステム」



見たい情報を
クリック

<画面は予告なく変更される場合があります>

マニュアルびゅうわのバックアップ

マニュアルびゅうわのデータは、Cドライブの「お知らせ」フォルダーにあり、Windowsを再インストールすると削除されます。Windowsを再インストールする前に、Cドライブの「お知らせ」フォルダーをほかのメディアなどに必ずコピーして保存してください。

ほかのメディアなどに保存した「お知らせ」フォルダーは、Windowsを再インストールした後にCドライブにコピーして元に戻します。

電子マニュアルのダウンロード

当社のユーザーサポートページからは、お使いのコンピューターや周辺機器の電子マニュアル（PDF・HTMLなど）をダウンロードすることができます。紙マニュアルをなくしてしまった場合や「マニュアルびゅーわ」のデータを削除してしまった場合などにご利用ください。

電子マニュアルのダウンロードは、次の場所から行います。

「インフォメーションメニュー」－「ユーザーサポート」－「ダウンロード」－「マニュアル」



製造番号を入力して検索

<画面の内容は予告なく変更される場合があります>



制限

ユーザーサポートページからダウンロードした電子マニュアルは、「マニュアルびゅーわ」で見ることができません。マニュアルごとにファイルを開いてご覧ください。

▶ダウンロードできるそのほかのデータ

「ユーザーサポート」－「ダウンロード」からは、次のデータもダウンロードすることができます。必要に応じてご利用ください。ダウンロードできるデータはお使いの機種により異なります。

- 最新のBIOS
- ドライバー
- ユーティリティ
- お問い合わせ情報
- 壁紙

HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成

ここでは、HDD領域（ドライブ）を分割・変更して使用方法について説明します。

▶HDD領域を分割して使用する（概要）

HDD領域（ドライブ）の分割

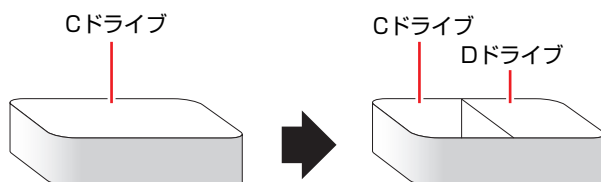
HDD領域は、いくつかに分けて、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

HDDを分割したひとつひとつを「HDD領域」または「パーティション」とも言います。

また、Windowsで使えるHDD領域が、「ドライブ」になります。

<1台のHDDを分割する>


例：1つのHDD領域（Cドライブ）を、2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割します。



消去禁止領域とBitLocker領域

HDD領域には、「消去禁止領域」と「BitLocker領域（Windows Vista Ultimateのみ）」が作成されています。

「消去禁止領域」には、「Windows回復環境（Windows RE）」が設定されています。

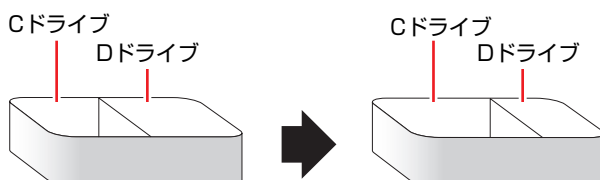
 p.219 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

HDD領域（ドライブ）のサイズの変更

すでに分割されているHDD領域のサイズ（容量）を変更することもできます。

<ドライブのサイズを変更する>

例：Cドライブのサイズを大きくします。



この場合は、CドライブとDドライブを削除して、分割しなおす必要があります。

▶Cドライブを分割・変更する

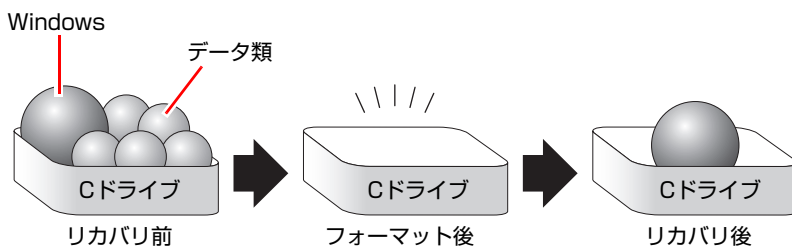
Cドライブ分割のメリットとデメリット

Cドライブを分割すると、次のようなメリット・デメリットがあります。
Cドライブを分割する場合は、これらをよく理解した上で行ってください。

●メリット

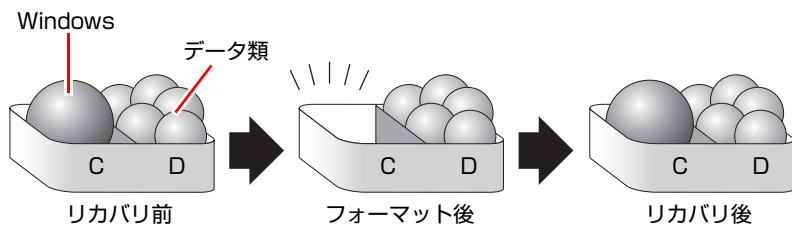
HDD領域を分割してデータの保存先を分けておくことで、リカバリ時に最小限の作業で元の環境に復帰することができます。

<HDD領域が1つの場合>



リカバリ（Windowsの再インストール）を行うと、Cドライブのデータはすべて消去されます。

<HDD領域を分割した場合>



たとえば、WindowsやソフトウェアはCドライブに、作成したデータなどはDドライブに保存しておきます。

この状態でリカバリ（Windowsの再インストール）を行うと、消去されるのはCドライブのみとなるため、Dドライブのデータは、リカバリ後、すぐにそのまま使用することができます。



制限


HDDが分割されている状態でリカバリを行うときは、万が一に備えてCドライブ以外のドライブの重要なデータをバックアップしてください。

● デメリット

- Cドライブ（Windowsの入っているドライブ）の分割を行うには、リカバリ（Windowsの再インストール）が必要です。
- HDD 領域を変更すると、変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。
- HDD 領域を分割して使用すると、それぞれ分けられた領域の最大容量までしか使用できないため、それぞれの領域により、容量が制限されます。


Cドライブの分割・変更の流れ

Cドライブの分割・変更は、リカバリ（Windowsの再インストール）中に行います。サイズ（容量）を変更するには、まず変更するドライブを削除してからサイズを指定して再作成します。


Cドライブ以外のドライブの変更方法は、 p.232 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。

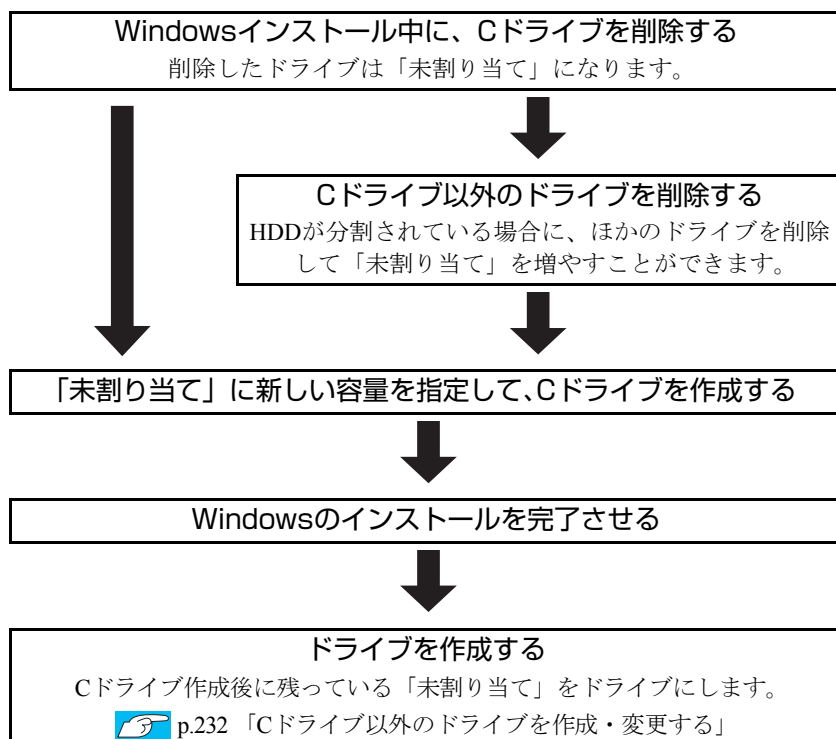


ドライブを分割・変更すると、分割・変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。必要に応じてバックアップを取っておいてください。

 p.225 「データのバックアップ」


Cドライブの分割・変更の流れは次のとおりです。

作業は  p.231 「Cドライブを分割・変更する」に従ってください。



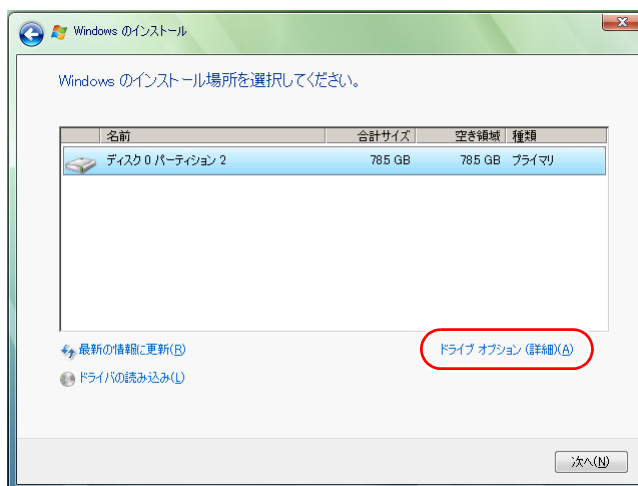
Cドライブを分割・変更する

Cドライブの分割・変更をする場合は、Windowsの再インストールが必要です。

 p.176 「Windowsのインストール」の手順11を次の手順に読み替えて、Windowsのインストールを行ってください。

<p.176 「Windowsのインストール」の手順11の読み替え>

1 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。



2 「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で「削除」をクリックします。

Windows Vista Ultimateの場合は「ディスク0パーティション3」（Cドライブ）を選択します。

3 「このパーティションを削除すると…」と表示されたら、[OK] をクリックします。

削除したパーティション（Cドライブ）が「未割り当て領域」となります。

4 次のとおり作業を続けます。

<Cドライブを分割したい場合>

(1) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。
手順5に進みます。

<Cドライブの容量を増やしたい場合>

すでにHDDが分割されている場合は、Cドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

(1) そのほかのパーティションもCドライブと同様に削除し、「ディスク0未割り当て領域」を増やします。

Windows Vista Ultimateの場合は「ディスク0パーティション2」（BitLocker）を削除しないでください。


(2) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。
手順5に進みます。

5 Cドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。
Cドライブには、40GB (40000MB) 程度を割り当てることをおすすめします。

6 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で、[次へ] をクリックします。

Windows Vista Ultimateの場合は「ディスク0パーティション3」(Cドライブ) を選択します。

Windowsのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分～40分かかります。

続いて  p.176 「Windowsのインストール」手順12に進みます。


手順12の画面が表示されるまで、キーボードやマウスは操作しないでください。

▶Cドライブ以外のドライブを作成・変更する

ここでは、Cドライブ以外のドライブを作成・変更する方法について説明します。


次のような場合にご覧ください。

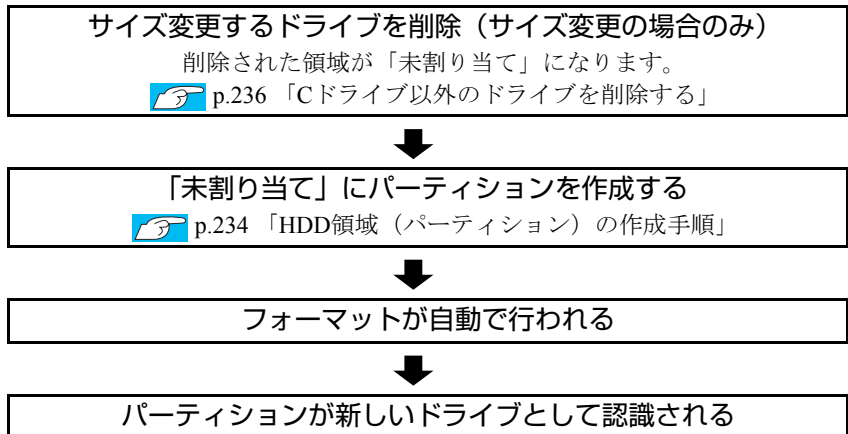
- Cドライブ以外のドライブのサイズを変更する場合
- Windowsの再インストール中にCドライブを分割して作成・変更された「未割り当て」をドライブにして使用する場合
- HDDを増設・交換した場合
- 2つめのRAIDを作成し、使用する場合

Cドライブ (Windowsの入っているドライブ) の分割・変更を行う場合は、 p.229 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

ドライブ作成・変更の流れ

ドライブの作成の流れは次のとおりです。

作業は  p.234 「HDD領域(パーティション)の作成手順」に従ってください。



※ HDD内の「未割り当て」にパーティションを作成すると、パーティションは、Windows上でドライブ (DやEなど) として利用できるようになります。

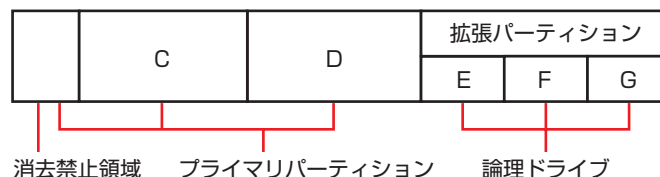
参考

パーティションとは

ドライブの作成・変更を行う画面 (ディスクの管理) では、HDD領域のことを「パーティション」と言います。パーティションには、「プライマリパーティション」と「拡張パーティション」があります。

- 1つのHDDに作成できるパーティションは最大で4つです。消去禁止領域やBitLocker領域もパーティションの1つです。
- パーティションを作成すると、自動的に3つ目まではプライマリパーティションとなり、4つ目は拡張パーティションとなります。
- Windows Vista Ultimateの場合は、DドライブにBitLocker領域が設定されているため、新たに作成できるのは拡張パーティションのみです。
- 拡張パーティションには、論理ドライブをいくつも作成できます。

<パーティションの組み合わせの例>

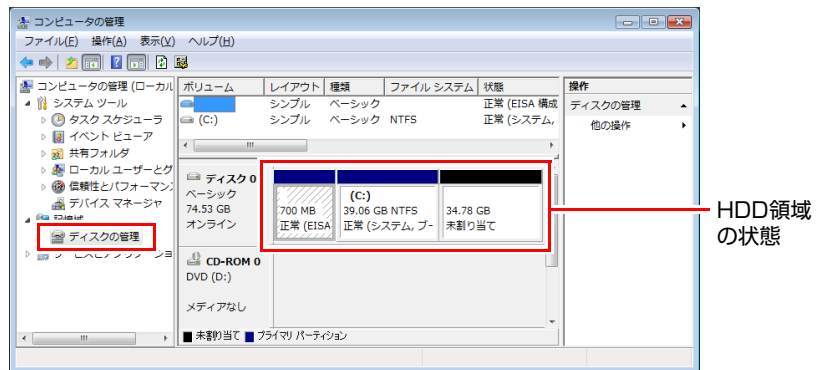


HDD領域（パーティション）の作成手順

HDD領域（パーティション）を作成する手順は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「管理ツール」 - 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。

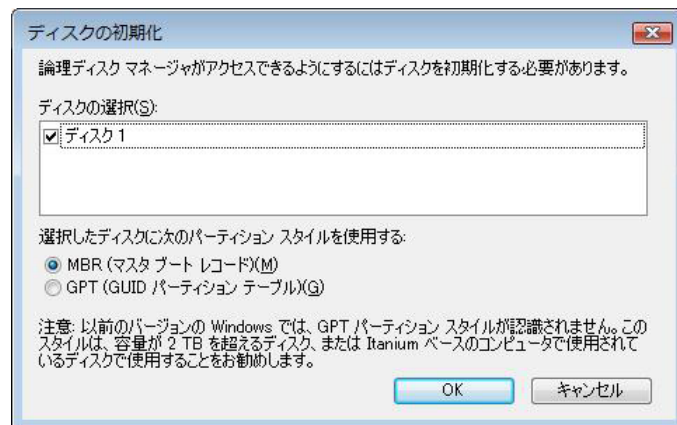
HDD領域の状態が表示されます。



<イメージ>

<新しいHDDを増設した場合>

「ディスクの初期化」画面が表示されます。[OK] をクリックして、ディスクの初期化を行ってください。



- 4 パーティションを作成したい「未割り当て」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
- 5 「新しいシンプルボリュームウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

- 6** 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ]をクリックします。
- 7** 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。
- 8** 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 9** 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。
フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、HDD領域（パーティション）の作成は完了です。

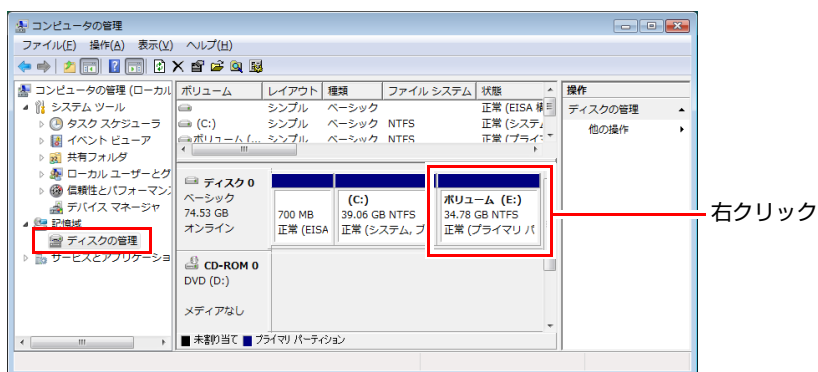
▶Cドライブ以外のドライブを削除する

Cドライブ以外のドライブ（DやEなど）のサイズを変更するには、変更するドライブを削除してから、作成しなおします。

ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。ドライブ内の重要なデータは、CドライブやCD-Rメディアなどにあらかじめバックアップを行ってください。

ドライブを削除する手順は、次のとおりです。


- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「管理ツール」 - 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。
HDD領域の状態が表示されます。



<イメージ>

- 4 削除したいドライブ（パーティション）の領域を右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」をクリックします。
- 5 「・・・続行しますか？」と表示されたら [はい] をクリックします。

パーティションを削除すると、「未割り当て」になります。「未割り当て」をパーティションとして使用したい場合は、パーティションの作成を行います。

 p.234 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

リチウム電池の交換

「BIOS Setupユーティリティー」で設定した情報は、マザーボード上のリチウム電池により保持されます。

本機で使用するリチウム電池は、次のとおりです。

- CR2032（または同等品）

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、寿命は約3年です。

日付や時間がおかしくなったり、BIOSで設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- コンセントに電源プラグを接続したままで作業をしないでください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。



- 内蔵リチウム電池の交換は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。




リチウム電池の交換を行うと、現在の BIOS の設定情報は初期値に戻ります。リチウム電池の交換を行う前に、BIOS の設定値を記録しておくことをおすすめします。

 p.167 「BIOS の設定値」

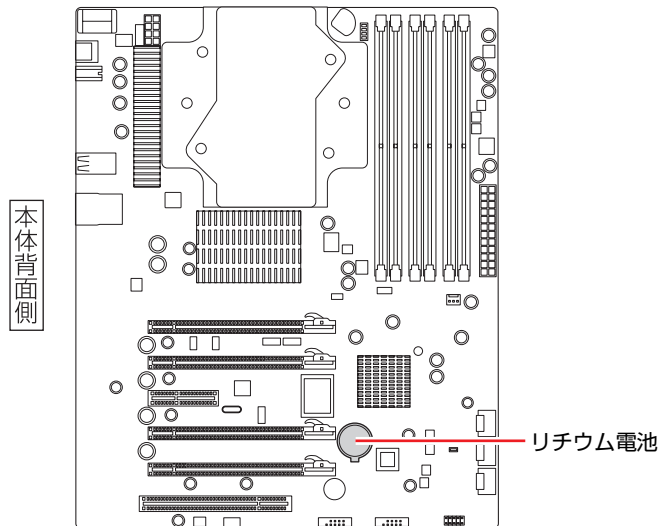
リチウム電池を交換する手順は、次のとおりです。作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

- 1 コンピューター本体および接続している周辺機器の電源を切ります。**
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2 コンピューター本体に接続しているケーブル類（電源コードなど）を、すべて外します。**
- 3 本体左側の本体カバーを取り外します。**


 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」

4 リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、マザーボード上の次の位置にあります。



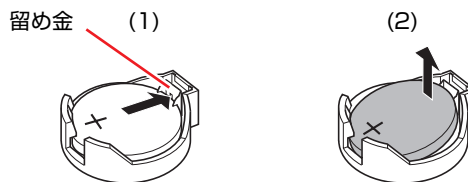
5 作業の妨げになる拡張ボードがあれば、取り外します。

 p.129 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

6 リチウム電池を抜きます。

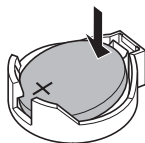
(1) 電池ホルダーの留め金を押します。

(2) リチウム電池が浮き上がったら、電池を抜きます。




7 新しいリチウム電池を取り付けます。


刻印面（+側）が表側になるようにして、新しいリチウム電池を取り付けます。取り付けると「カチッ」と音が鳴ります。







8 手順5で拡張ボードを取り外した場合は、元どおりに取り付けます。

 p.129 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

9 本体カバーを取り付けます。

 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」

- 10** コンピューターを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 11** コンピューターの電源を入れます。
- 12** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「CMOS Settings Wrong」と表示されたら、 を押して、BIOS Setupユーティリティを起動します。
 p.149 「BIOS Setupユーティリティの起動」
- 13** 「Load Optimal Defaults（初期値に戻す）」を実行します。
 p.153 「Load Optimal Defaults（初期値に戻す）」
- 14** 日付、時刻やそのほか変更する必要がある項目の再設定を行います。
- 15** 「Save & Exit Setup」で  を選択してBIOS Setupユーティリティを終了します。

CMOS RAMの初期化

CMOS RAMには、「BIOS Setupユーティリティ」で設定した各種情報などが保存されています。通常は、CMOS RAMを初期化する必要はありません。BIOS Setupユーティリティで設定したパスワードを忘れていたり、BIOSの設定を誤ったりして本機が起動しなくなった場合には、CMOS RAMを初期化することで動作が可能になります。



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- コンセントに電源プラグを接続したままで作業しないでください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。






- CMOS RAMの初期化は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。









CMOS RAM を初期化すると、現在の BIOS の設定情報は初期値に戻ります。CMOS RAM を初期化する前に、BIOS の設定値を記録しておくことをおすすめします。

 p.167 「BIOS の設定値」

CMOS RAMの初期化の手順は、次のとおりです。作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

- 1** コンピューター本体および接続している周辺機器の電源を切ります。
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピューター本体に接続しているケーブル類（電源コードなど）を、すべて外します。
- 3** 本体左側の本体カバーを取り外します。
 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 4** 拡張の妨げになる拡張ボードがあれば、取り外します。
 p.129 「拡張ボードの取り付け・取り外し」
- 5** リチウム電池を取り外します。
 p.237 「リチウム電池の交換」手順6

- 6** 約1分間放置します。
- 7** リチウム電池を取り付けます。
 p.237 「リチウム電池の交換」手順7
- 8** 手順4で拡張ボードを取り外した場合は、元どおりに取り付けます。
 p.129 「拡張ボードの取り付け・取り外し」
- 9** 本体カバーを取り付けます。
 p.120 「本体カバーの取り外し・取り付け」
- 10** コンピューターを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 11** コンピューターの電源を入れます。
- 12** 「EPSON」と表示後、「CMOS Settings Wrong」と表示されたら、 を押して、BIOS Setupユーティリティーを起動します。
 p.149 「BIOS Setupユーティリティーの起動」
- 13** 「Load Optimal Defaults（初期値に戻す）」を実行します。
 p.153 「Load Optimal Defaults（初期値に戻す）」
- 14** 日付、時刻やそのほか変更の必要のある項目の再設定を行います。
- 15** 「Save & Exit Setup」で [Ok] を選択してBIOS Setupユーティリティーを終了します。

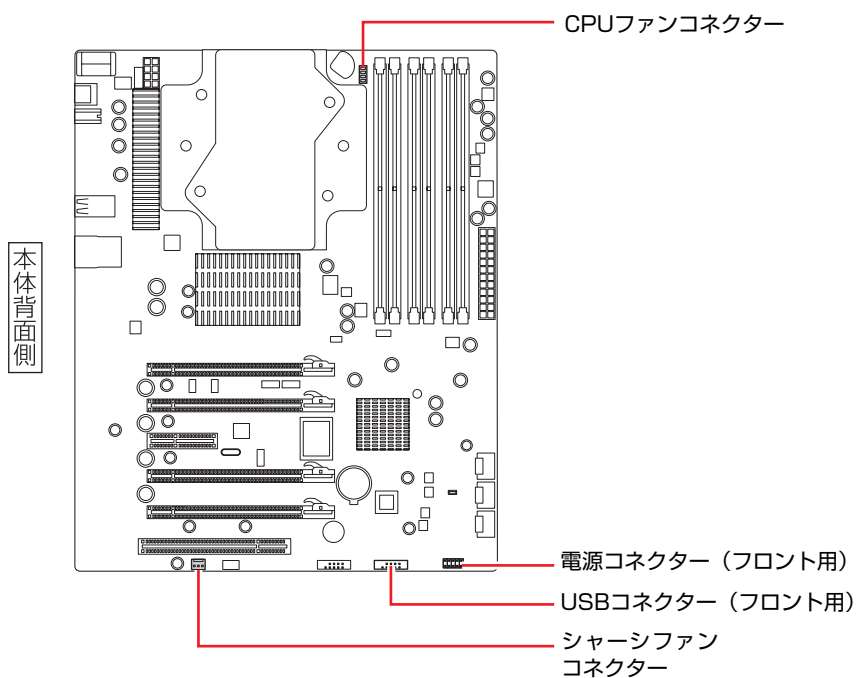
コンピューター内部のケーブル接続

本機の内部には何本かのケーブルがあり、マザーボードに接続されています。通常はこれらのケーブルを外したり接続したりする必要はありません。誤って外してしまった場合には、次の図を参照して、正しく接続してください。



各種ケーブルは、本書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、ケーブルが焼損する場合があります。

コネクタ位置 (マザーボード上)



コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄するときは『サポート・サービスのご案内』（別冊）の「コンピューターの廃棄・譲渡について」をご覧ください。

▶HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前にHDDのデータを消去してください。

ドライバー CDに収録されている「システム診断ツール」では、HDD内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、HDDのデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。



データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

消去されるデータ

<複数のHDDを接続している場合>

シリアルATAコネクタ0に接続されているHDDのデータのみが消去されます。2台目以降のHDDのデータを削除したいときは、HDDをシリアルATAコネクタ0に対応しているスロット1にHDDを入れ替えてからデータの消去を行ってください。スロット1の位置は、次の場所で確認できます。






 p.141 「取り付け」手順4

<RAID機能を使用している場合>

RAIDを構成しているすべてのHDDのデータが消去されます。

データの消去

HDD内のデータを消去する手順は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、ドライバー CDを光ディスクドライブにセットします。「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - [再起動] をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面の左下に「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4**  +  を押して診断を中止した後、どれかキーを押します。
- 5** 選択項目画面が表示されたら、 で「HD Erase」を選択して  を押します。

- 6** 選択項目画面が表示されたら、で「Full Erase」を選択してを押します。
- 7** 選択項目画面が表示されたら、「No Verify」を選択してを押します。
「!!WARNING!!」画面が表示されます。
消去が開始されると、途中で止めることはできません。
消去を中止する場合は、を押すと、「システム診断ツール」画面に戻ります。
- 8** キーボードで「Yes」と入力します。
消去が始まります。
消去には、しばらく時間がかかります。かかる時間はHDDの容量によって異なります（40GBのHDDの場合で約30分）。
- 9** 「Erase of HD0 :Passed Press any key to continue.」と表示されたら、ドライバー CDを光ディスクドライブから取り出して、コンピューターの電源を切ります。
これでデータの消去は完了です。

機能仕様一覧

型番	Pro7000	
CPU	プロセッサ	インテル Core i7 プロセッサ
	ソケット	LGA1366 Socket
チップセット	インテルX58 Express + ICH10R	
BIOS	AMI BIOS	
メインメモリー	メモリー	PC3-8500 (DDR3-1066 SDRAM) を使用して Windows Vista 32ビット版の場合最大3GB、 Windows Vista 64ビット版の場合最大12GB まで搭載可能
	スロット	DIMMスロット (240ピン) ×6 (同容量3枚1組で使用の場合、 トリプルチャネルで動作)
ビデオ機能	コントローラー/ メモリー	選択したビデオボードによる
HDD	シリアルATA対応 3.5型HDD (容量、台数は購入時の選択による)	
光ディスクドライブ	シリアルATA対応 5.25型光ディスクドライブ (種類は購入時の選択による)	
サウンド機能	インテルハイ・デフィニション・オーディオ対応 Realtek製ALC889コントローラー	
ネットワーク機能	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T対応 Broadcom製BCM5786KMLGコントローラー	
マウス/キーボード	購入時の選択による	
インターフェース	USB	10 (前面×2、背面×8) : USB2.0
	LAN	1 : RJ-45
	サウンド	前面 : ヘッドフォン出力×1、マイク入力×1 背面 : 光デジタルオーディオ出力 (S/P DIF) ×1、同軸デジタルオーディオ出力 (S/P DIF) ×1、サイドスピーカー出力×1、 センタースピーカー/サブウーファー出力×1、リアスピーカー出力×1、マイク入力×1、フロントスピーカー/ライン出力×1、 ライン入力×1
	ディスプレイ	選択したビデオボードによる
	キーボード	1 : PS/2互換 ミニDIN 6ピン
	シリアル (オプション)	1 : RS-232準拠 D-SUB 9ピン
ドライブベイ	3.5型ドライブベイ	1
	5.25型ドライブベイ	3
	HDDベイ	4
拡張スロット	PCI Express x16	2 : ボード長312mmまで
	PCI Express x8	2 : 上側のボード長312mm、下側のボード長240mmまで
	PCI Express x4	1 : ボード長312mmまで
	PCI	1 : ボード長240mmまで
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	209×490×498mm (ハンドル含む)	
質量	約13.2kg (基本構成時)	
電源	AC100V~240V (50/60Hz) 容量 : 1000W	
消費電力	1250W (最大) /16.4W (スリープ時) /12.6W (電源OFF時)	
動作環境	動作温度 : 10~35°C、動作湿度 : 20~80% (ただし、結露しないこと)	

索引

数字

109 USBキーボード	58
109 USBキーボードユーティリティCD.....	22, 172
109 USBキーボードユーティリティ	22
インストール	185
3.5型ドライブベイ	25
5.25型ドライブ	
取り付け・取り外し	137
取り付け・取り外し後の作業	140
5.25型ドライブベイ	25, 118
7.1ch	87

A

Adobe Reader	22
インストール	181
セットアップ	182
ADSL.....	96
Advanced BIOS Featuresメニュー画面	160
Advanced Chipset Featuresメニュー画面	161

B

BIOS	147
BIOS Security Featuresメニュー画面	165
BIOS Setupユーティリティ	149
起動	149
終了	153
設定項目	158
設定値	167
設定値を元に戻す	153
操作	150
パスワードを設定する	154
BitLocker.....	66, 68, 228
Boot Configuration Featuresメニュー画面	162

C

Caps Lock.....	60
----------------	----

CATV.....	96
CDメディア	
読み込み・再生	79
CMOS RAMの初期化	240
COAラベル	21
COM	115
Cドライブ	174
分割・変更する	229
Cドライブ以外のドライブ	
削除する	236
作成・変更する	232

D

DDR.....	123
DIMM.....	123
DVDメディア	
読み込み・再生	80
DVI-Dケーブル	30
DVI-Iケーブル	30
DVI-Iコネクター	27, 30

E

EPSON Central Control Unitメニュー画面	164
Exit Without Saving.....	153, 166

G

gooスティック	23, 99
インストール	186

H

HDDアクセスランプ	25
HDD設定変更サービス	66
HDD(ハードディスクドライブ)	65
暗号化	68
購入時の状態	66
使う	65

データ消去	243	N	
取り付け後の作業	146	Nero 8 Essentials	22, 81
取り付け・取り外し	141	インストール	184
HDDベイ	118	使い方	82
装着	141	Nero 8 Essentials CD-ROM	22, 172
HDDベイ用キーロック	25	Norton Internet Security 90日版	23, 102
HDD領域		インストール	182
分割・変更・作成	228	ファイアウォール機能	103
I		NTFSファイルシステム	66
Intel Matrix Storage Manager	22	Num Lock	60
Internet Explorer	97	O	
情報バー	99	OS	15
追加機能	99	P	
ISDN回線	96	PCI Expressスロット	128
i-フィルター 30日版	23, 105	PCIスロット	128
インストール	182	PCお役立ち情報	46, 225
管理パスワード	106	Power Management Setupメニュー画面	163
ユーザー登録	183	R	
J		RAID	69
Java2 Runtime Environment	22	S	
JWord Plugin	23, 99	Save & Exit Setup	153, 166
インストール	185	Scroll Lock	60
L		SDRAM	123
LAN機能	92	Supervisor Password(管理者パスワード)	154
LANケーブル	34, 92	System Informationメニュー画面	159
接続	34	S-ビデオ出力端子	27
LANコネクタ	26, 34, 92	U	
Load Optimal Defaults	153, 166	USB	83
M		USB機器	83
MS-IME	59	接続と取り外し	83
		使う	83

USBコネクタ	25, 26	アース端子	35
USBハブ	63	アイコン	16
User Password(ユーザーパスワード)	154	アップデート	
Uボタン	61	BIOS	148
		Windows	100
		アナログ電話回線	96
V		い	
VGAケーブル	30	色	85
VGAコネクタ	27, 30	インストール	
		109 USBキーボードユーティリティ	185
W		Adobe Reader	181
Wakeup On LAN	93	gooスティック	186
Webフィルタリング	105	i-フィルター 30日版	182
Webフィルタリングソフトウェア	105	JWord Plugin	185
インストール	182	Nero 8 Essentials	184
Windows	22	Norton Internet Security 90日版	182
インストール	176	Webフィルタリングソフトウェア	182
強制的に電源を切る	55	WinDVD	185
セットアップ	39	拡張ボードのドライバー	181
ロック	51	セキュリティソフトウェア	182
Windows Complete PC復元	219	ビデオドライバー	181
Windows Defender	104	不具合	214
Windows Media Player	89	本体ドライバー	180
Windows RE	219	マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版	186
Windows Update	100	インターネット	95
Windows.oldフォルダ	204	インフォメーションボタン	45, 61
Windows回復環境	219	インフォメーションメニュー	22, 45
Windowsメール	97	お	
初期設定	98	オーディオ機器の接続	87
Windowsメモリー診断ツール	219	お手入れ	
WindowsリカバリDVD	22, 172	外装	224
WinDVD	22, 80	コンピューター本体内部	224
インストール	185	お問い合わせ情報シール	21
WinDVD CD-ROM	22, 172	オペレーティングシステム	15
あ			
アース線	35		

音量の調節 45, 89, 91

か

解像度 85

外部オーディオ機器 87

書き込み

 光ディスクメディア 81

拡張スロット 27, 118, 128

拡張パーティション 233

拡張ボード

 増設に関する不具合 201

 取り付け・取り外し 129

 取り付け・取り外し後の作業 132

各部の名称と働き 25

カスタマイズ 18

カテゴリーの表示 48

かな入力 59

管理者 50

管理者パスワード 154

管理パスワード

 i-フィルター 30日版 106

き

キーボード 58

 USBコネクタ 63

 接続 32

キーボードコネクタ 26

キーロック表示ランプ 58

記憶装置

 不具合 203

機能キー 58

機能仕様一覧 245

休止状態 110

 有効にする 111

強制終了 55

強制的に電源を切る 55

記録メディア 8

く

クラシック表示 48

クリック 37, 64

け

警告メッセージ 222

こ

高パフォーマンス 108

コピーコントロールCD 77

困ったときに 191

コマンドプロンプト 219

コントロールパネルの表示 48

コンピューターウイルス 97, 102

コンピューター内部のコネクタ 242

コンピューターの廃棄 243

コンピューター本体の不具合 192, 200

コンピューター名 39

コンピューターを購入時の状態にする 176

さ

再インストール 170

 必要なメディア 172

再起動 54

再生

 CDメディア 79

 DVDメディア 80

 音声 89

サイドスピーカー出力コネクタ 88

サウンド機能 87

サウンドコネクタ 26, 87, 88

サウンドドライバ 22

サウンドボード 91

サウンドユーティリティ 90

サウンドレコーダー	89	スタートメニュー	16
サポート情報検索	47	スピーカー	87
サポート・サービスのご案内	21	接続	34
		不具合	211
し		スリープ	51, 52
システム診断ツール	23, 216	スリープ状態	110
HDDのデータ消去	243	スリープボタン	61, 113
システムの拡張	117	スロットカバー	130
システムの復元	47, 217, 219	せ	
シャットダウン	51, 53	制御キー	58
周辺機器		製品保護上の注意	7
増設・交換に関する不具合	201	セーフモード	217
終了方法	51, 52	セキュリティソフトウェア	23, 102
消去禁止領域	66	インストール	182
使用できるマイク	88	セキュリティ対策	47
省電力	108	接続と取り外し	
省電力機能	48, 108	USB機器	83
不具合	200	設定値を元に戻す	153
省電力状態		セットアップ	
移行する	112	Adobe Reader	182
時間経過で移行させない	112	Windows	37, 39
種類	110	セットアップ完了後の作業	43
注意	109	センタースピーカー/サブウーファー	
復帰方法	114	出力コネクタ	26, 88
使用・保管時の注意	7	前面	25
初期設定ツール	41	そ	
シリアルATAケーブル	135	増設	
シリアルATAコネクタ	133	5.25型ドライブ	137
シリアルATA (Serial ATA)	65, 77	HDD	141
シリアルコネクタ	115	拡張ボード	129
す		メモリー	123
数値キー	58	ソフトウェアの強制終了	55
スクロール	64	ソフトウェアの不具合	211
スタートアップ修復	219		
スタートボタン	16		

た

ダウンロード	
電子マニュアル	227
タスクバー	16
タブ	16
ダブルクリック	64

ち

直接入力モード	59
---------	----

つ

通常の終了	51, 52
通知領域	16
通風孔	27

て

ディスクの管理	188
ディスプレイ	
接続	30
設定	86
ディスプレイの電源を切る	110
デスクトップ	16
電源コード	
接続	35
電源コネクタ	27
電源スイッチ	25
電源設定	108
電源の入れ方	38, 54
電源の切り方	53
電源プラン	108
内容変更	109
電源ランプ	25
表示	114
電源を切る	51, 53
電子マニュアル	
ダウンロード	227

電池ホルダー	238
添付されているソフトウェア	22

と

同軸デジタルオーディオ出力(S/P DIF)	
コネクタ	26, 88
ドライバーCD	22, 172
ドライブの装着	
5.25型ドライブ	137
HDD	141
ドライブベイ	118
ドライブ名	174
ドラッグアンドドロップ	64
とらぶる解決ナビ	46
トラブルが解決しなかったら	47
トラブルが発生したら	190
取り付け・取り外し	
5.25型ドライブ	137
HDD	141
拡張ボード	129
本体カバー	120
メモリー	125
取り付け・取り外し後の作業	
5.25型ドライブ	140
HDD	146
拡張ボード	132
メモリー	127
「取り外し」アイコン	83
トリプルチャネル	124

な

ナローバンド	95
--------	----

に

日本語入力システム	59
日本語入力モード	59

入力キー	58	表示装置	
入力装置		設定	86
不具合	207	不具合	209
ね		標準ユーザー	50
ネットワーク	92	ふ	
ネットワーク機能	92	ファイアウォール	103
使う	92	フィッシング詐欺検出機能	102
ネットワークドライバー	22	フォルダーメニュー	49
は		不具合	
パーティション	233	HDD	203
ハードディスクドライブ (HDD)	65	インストール	214
廃棄 (コンピューター)	243	キーボード	207
ハイブリッドスリープ	110	起動	192, 199
パスワード	154	コンピューター本体	192, 200
パスワードの設定	155	省電力機能	200
バックアップ	65, 176	スピーカー	211
バランス	108	装置の増設・交換	201
ハンダアップ	55	そのほか	201
ハンドル	25	ソフトウェア	211
ひ		ディスプレイ	209
光ディスクドライブ		光ディスクドライブ	204
使う	77	マウス	208
不具合	204	メモリー	202
光ディスクドライブイジェクトボタン	25	復元ポイントの作成	47, 218
光ディスクメディア		普通のスリープ	110
書き込み	81	復帰方法	52
製品保護上の注意	8	省電力状態	114
光デジタルオーディオ出力 (S/P DIF) コネクタ	26, 88	プライマリパーティション	233
光ファイバー (FTTH)	96	ブロードバンド	95
ビデオドライバー	22	プロバイダー	95
ビデオボード	27, 132	フロントスピーカー/ライン出力コネクタ	88
表示機能	85	へ	
		ヘッドフォン出力コネクタ	25, 87

ほ

ボタン	16
ホットキー	61
ボリューム	89, 91
本機でできること	24
本体カバー	
取り付け・取り外し	120
本体ドライバー	
インストール	180

ま

マイク使用時の音量調節	91
マイク入力コネクタ	25, 26, 87, 88
マウス	64
製品保護上の注意	9
接続	33
操作	64
使い方	37
不具合	208
マウスポインター	37
マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版	23
マニュアルびゅーわ	22, 46
バックアップ	226

み

右クリック	64
-------	----

め

メモリー	
仕様	123
増設・交換後の作業	127
装着	123
取り付け・取り外し	125
不具合	202

も

文字キー	58
文字を入力するには	59

ゆ

ユーザーアカウント	49
作成	49
種類	50
ユーザーアカウント制御画面	50
ユーザーサポート	47
ユーザー登録	
i-フィルター 30日版	183
マカフィー SiteAdvisor Plus 30日版	187
ユーザーパスワード	154
削除	157

よ

読み込み・再生	
CDメディア	79
DVDメディア	80

ら

ライセンス認証	40
ライティングソフト	81
ライン出力コネクタ	26, 88
ライン入力コネクタ	26, 88

り

リアスピーカー出力コネクタ	88
リカバリ	170
リチウム電池の交換	237
リフレッシュレートの設定	86
リモートブート	94
領域の作成	188

れ

冷却ファン 27

ろ

ローマ字入力 59

録音

音声 89

音量調節 91

ロック 51

論理ドライブ 233

Memo

Memo

Memo

使用限定について

本製品は、OA機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24時間稼動システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日約8時間、1ヶ月で25日間のご使用で約5年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2適合品

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/pcrecycle/>

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、ActiveX、BitLocker、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Core Insideはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- PS/2はInternational Business Machinesの登録商標です。
- Symantec、Symantec ロゴ、Norton Internet Security、LiveUpdateはSymantec Corporationの登録商標です。
- McAfeeおよびマカフィーは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関連会社の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

そのほかの社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。



shop.epson.jp